

2017 年 10 月分新聞書評

**夫婦の中のよそのもの**

エミール・クストリツァ、田中 未来 著

集英社

名作『アンダーグラウンド』などで数々の受賞歴を誇る映画監督が小説を初執筆！
少年の冒険や夫婦間の秘密、紛争下の恋...ユーゴスラヴィアを舞台にコミカルかつ
パワフルに描く、珠玉 6 編の短編集。

2017:6./ 269p

978-4-08-773488-1

本体 ¥2,100+税



産経新聞 2017/10/01

**笑福亭鶴瓶論(新潮新書 728)**

戸部田 誠 著

新潮社

老若男女に愛される最高の国民的芸人、笑福亭鶴瓶。その生い立ちから結婚、
「BIG3」との交遊、NHK「家族に乾杯」秘話まで、その長く曲がりくねった芸人人生
をたどり、運と縁を引き寄せるスケベで奥深い人生哲学に迫る。

2017:8./ 270p

978-4-10-610728-3

本体 ¥820+税



産経新聞 2017/10/01

**中村天風 悲運に心悩ますな**

広岡 達朗 著

幻冬舎

セ・パ両リーグで日本一を達成した指導者として知られる著者が直伝された、運命
を切り拓く哲学、天風流人生哲学「心身統一法」の一部を紹介する。怒らず、恐れ
ず、悲しまず、不確実な時代を生き抜くための 53 のヒント。

2017:6./ 191p

978-4-344-03130-2

本体 ¥1,100+税



産経新聞 2017/10/01

**私説大阪テレビコメディ史～花登筐と芦屋雁之助～**

澤田 隆治 著

筑摩書房

テレビの草創期から放送現場に携わった著者が、今や伝説となった昭和30年代
の喜劇ブームを作り出した人々の熱気あふれる姿を描く。

2017:8./ 238p

978-4-480-81839-3

本体 ¥2,200+税



産経新聞 2017/10/01

**満洲の土建王 榑谷仙次郎～土建国家「満洲国」の深層～**

岡田 和裕 著

潮書房光人社

満洲の国造り“インフラ建設”のために全精魂を傾注した榑谷仙次郎。荒ぶる大地
で技師として挑戦をかさね、「土建は人間社会の進歩のためにある」との初志を貫
徹し、満洲土建界のトップにまで上りつめた男の一代記。

:/ 484p

978-4-7698-1653-9

本体 ¥3,600+税



産経新聞 2017/10/01

- ご注文の際には、タイトル・出版社名・価格のほか、ISBN も併せてお知らせください。
- 原価の改定、為替相場の変動などの理由により価格を変更する場合がございます。予めご了承の程お願い申し上げます。
- ご注文、ご照会には弊社本・支店・営業部(課)までお申し付けください。
- 表示価格は 2017 年 11 月時点での税抜価格です。



神童は大人になってどうなったのか

小林 哲夫 著

太田出版

灘や開成、麻布、ラサールなどの名門校で伝説的といわれた子どもたちはどうなったのか。東大を主席で卒業した人は? 「神童」と呼ばれた人たちを追跡し、「神童」が社会に役に立ったのか否かを探る。

:/ 318p

978-4-7783-1587-0

本体 ¥1,500+税



産経新聞 2017/10/01



天皇の平和九条の平和～安倍時代の論点～

小川 榮太郎 著

産経新聞出版

内外からの挟み撃ちによる日本の安定・安全、成長の妨害をどうしたら防げるのか、あるいは今よりもはるかに危険な状況が日本を襲った場合にどうするか等、切実な問いを考える基盤となるような議論を展開する。

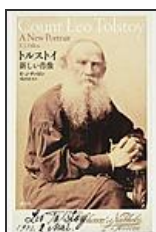
:/ 297p

978-4-8191-1318-2

本体 ¥1,600+税



産経新聞 2017/10/01



トルストイ新しい肖像

E.J.ディロン、成田 富夫 著

成文社

19世紀末葉、文学作品の翻訳から始まり、トルストイとの個人的関係を築いていった著者ならではの体験と、そこから育まれた観測。新たなトルストイ像を形造る試みを通じて、若くして一生の思いを懐き続けたロシアを語る。

:/ 342p

978-4-86520-024-9

本体 ¥3,400+税



産経新聞 2017/10/01



天女かあさん

ペク ヒナ、長谷川 義史 著

ブロンズ新社

ホホが熱を出して学校を早退した。会社においてすぐに家に帰れない母さんが助けを求めてあちこちに電話するうちに、天女に電話がつながって…。大雨の日に起きた、じんわりしみる奇蹟の物語。天女シリーズ第2弾。

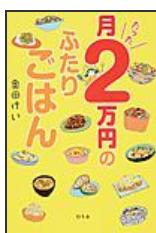
:/ 1冊(ページ付なし)

978-4-89309-636-4

本体 ¥1,400+税



産経新聞 2017/10/01



月たった2万円のふたりごはん

奥田 けい 著

幻冬舎

食材はまとめ買い。その日のうちに一口大に切って冷凍。ちくわ、きのこ、とうふ、キャベツ、もやしはいつも安くて大活躍! ふたり分の食費を月2万円に抑えるコツと、料理が苦手でもできるメニューを紹介する。

2017.8./ 143p

978-4-344-03162-3

本体 ¥1,000+税



産経新聞 2017/10/07



パパは脳研究者～子どもを育てる脳科学～

池谷 裕二 著

クレヨンハウス

子どもの脳って育てられるの? 脳研究者・池谷裕二が、娘の4歳までの成長を、脳の発達と機能の原理から分析し、子育てのコツとして惜しみなく紹介する。『月刊クーヨン』掲載に加筆修正し、書き下ろしを加え編集。

:/ 307p

978-4-86101-343-0

本体 ¥1,600+税



産経新聞 2017/10/07



きのうのおうちへようこそ!

ドロシア・ウォーレン・フォックス、おびか ゆうこ 著

偕成社

木の上のおうちで、いぬやくまたちと暮らすツイグリーさん。あるとき、大雨に襲われ、町が海のようになってしまった。ツイグリーさんは、町の人たちを助けようと奮闘し…。アメリカで50年間愛される絵本。

産経新聞 2017/10/08

2017:10./ 40p

978-4-03-348390-0

本体 ¥1,500+税



* 9 7 8 4 0 3 3 4 8 3 9 0 0 *



戦争と平和(新潮新書 731)

百田 尚樹 著

新潮社

日本は絶対に戦争をしてはいけない。日本人ほど、戦争に向かない民族はいないのだから-。「ゼロ戦」と「グラマン」の徹底比較から見えてきた、致命的な欠点とは。「永遠の0」に秘めた本当の想いとは。圧倒的説得力の反戦論。

産経新聞 2017/10/08

2017:8./ 220p

978-4-10-610731-3

本体 ¥760+税



* 9 7 8 4 1 0 6 1 0 7 3 1 3 *



こいいたべもの(文春文庫 も27-2)

森下 典子 著

文藝春秋

母手作りの、バターがとろける甘いホットケーキ、父の好物の少し焦げ目がついたビーフン、青春時代に食べた夜明けのペヤング…。心が温まる22の味の記憶を、イラストと共に綴る。

産経新聞 2017/10/08

2017:7./ 189p

978-4-16-790894-2

本体 ¥700+税



* 9 7 8 4 1 6 7 9 0 8 9 4 2 *



ロボットアニメビジネス進化論(光文社新書 900)

五十嵐 浩司 著

光文社

“オモチャ”がなければ、マジンガーZ もマクロスも存在しなかった? アニメーション研究の第一人者が、日本独自のビジネスであるロボットアニメとマーチャンダイジングの関係について論じる。

産経新聞 2017/10/08

2017:8./ 246p

978-4-334-04306-3

本体 ¥800+税



* 9 7 8 4 3 3 4 0 4 3 0 6 3 *



ディレクターズ・カット

歌野 晶午 著

幻冬舎

報道ワイド番組の人気コーナーで紹介される、若者たちの無分別な行動は、有能な突撃ディレクターのやらせだった。それを知らないネクラな若い美容師が若者たちと交錯し、殺人鬼へと変貌する…。『小説幻冬』連載を加筆・修正。

産経新聞 2017/10/08

2017:9./ 320p

978-4-344-03167-8

本体 ¥1,600+税



* 9 7 8 4 3 4 4 0 3 1 6 7 8 *



世界を見た幕臣たち〜幕末遣外使節団の軌跡〜(歴史新書)

榎本 秋 著

洋泉社

ペリー来航以降、欧米列強との関係が最大の懸案となるなかで、海を渡った幕府の遣外使節団。その体験と持ち帰った知識は、その後の日本に大きな影響を与えていた。明治維新の原動力となった「もうひとつの幕末史」を紹介する。

産経新聞 2017/10/08

./ 221p

978-4-8003-1313-3

本体 ¥950+税



* 9 7 8 4 8 0 0 3 1 3 1 3 3 *



ひふみんの将棋入門

加藤 一二三 著

産経新聞出版

現役勤続年数最長、公式戦対局数最多、18歳A級昇段最速の歴代1位記録を樹立した「将棋界のレジェンド」による、わかりやすい将棋の入門書。3手詰将棋など全50問を収録するほか、基本ルールや役立つ法則などを紹介する。

./ 205p

978-4-8191-1324-3

本体 ¥1,200+税



産経新聞 2017/10/08



山頭火意外伝

井上 智重 著

熊本日日新聞社

「分け入っても分け入っても青い山」行乞流転時代の代表作の舞台は、実は天草だったのか？新説を織り交ぜながら、種田山頭火の熊本時代を浮き彫りにする。中村汀女をはじめ、熊本の近現代文学の青春群像も描き出す。

./ 311p

978-4-87755-556-6

本体 ¥2,000+税



産経新聞 2017/10/08



竹の民俗誌～日本文化の深層を探る～(岩波新書)

沖浦和光 著

岩波書店

産経新聞 2017/10/15

1998:6./ 243p

978-4-00-430187-5

本体 ¥780+税



習近平と永楽帝～中華帝国皇帝の野望～(新潮新書 730)

山本 秀也 著

新潮社

血筋の良さ、権力掌握前の苦節、苛烈な政敵排除、対外拡張…。漢民族最後の帝国であった明の3代目・永楽帝と習近平には、意外なほど共通点がある。歴史を踏まえて現代中国の核心に迫る。

2017:8./ 223p

978-4-10-610730-6

本体 ¥760+税



産経新聞 2017/10/15



温泉手帳 増補改訂版

松田 忠徳 著

東京書籍

単純温泉、食塩泉、硫酸塩泉、炭酸泉、硫黄泉、ラジウム・ラドン泉…。泉質別に全国の温泉地を解説するほか、温泉の歴史や起源、和の趣が堪能できる湯宿なども紹介。データ:2017年7月現在。

2017:9./ 261p

978-4-487-81089-5

本体 ¥1,600+税



産経新聞 2017/10/15



かがみの孤城

辻村 深月 著

ポプラ社

部屋に閉じこもっていたころの目の前で、鏡が光り始めた。輝く鏡をくぐり抜けた先の世界には、似た境遇の7人が。秘めた願いを叶えるため、7人は城で隠された鍵を探す。『asta*』連載を大幅に加筆修正して単行本化。

./ 554p

978-4-591-15332-1

本体 ¥1,800+税



産経新聞 2017/10/15



日本殺人巡礼

八木澤 高明 著

亜紀書房

時代の折々に生じる凶悪殺人事件の内奥を探る旅。殺人者の郷里、生家、殺害現場、幼馴染みなどを訪ね歩くことで見えてきた日本の歪んだ相貌とは。『あき地』連載を大幅に加筆・改稿し単行本化。

./ 357p

978-4-7505-1519-9

本体 ¥1,700+税



産経新聞 2017/10/15



ボトルクリーク絶体絶命

ワット・キー、橋本 恵 著

あすなる書房

アラバマ州湾岸のハウスボートで父と2人暮らしの13歳の少年コート。腕利きのリバーガイドである父の仕事を手伝ううち、大人顔負けの知恵と技術を身につけていた。ある日、巨大ハリケーンが、アラバマ州を直撃して...

./ 255p

978-4-7515-2871-6

本体 ¥1,500+税



産経新聞 2017/10/15



大学の学科図鑑

石渡 嶺司、こきり みき、むらいっち 著

SBクリエイティブ

伝統ある定番の学科から新進気鋭の学科まで、158学科を収録した大学の学科図鑑。概要や就職事情をはじめ、学費、男女比、学科で取得可能な資格・検定などを紹介。代表的な学科の擬人化イラストも掲載する。

./ 191p

978-4-7973-9270-8

本体 ¥1,000+税



産経新聞 2017/10/15



性食考

赤坂 憲雄 著

岩波書店

「食べちゃいたいほど、可愛い」は内なる野生の呼び声なのか。食べる/交わる/殺すことに埋もれた不可思議な?がりとは何か。人間の深淵に向かい、いのちの根源との遭遇をめざす、知の試み。岩波書店 HP 連載をもとに書籍化。

2017.7./ 15p,334p

978-4-00-061207-4

本体 ¥2,700+税



産経新聞 2017/10/22



むーさんの自転車

ねじめ 正一 著

中央公論新社

長野と高円寺。2つの街で少年・正雄が大きく成長していく“平成版純情商店街”。一茶の句とともに物語が展開する小説。『福島民友新聞』他掲載を改題、加筆修正し単行本化。

2017.8./ 363p

978-4-12-004997-2

本体 ¥1,800+税



産経新聞 2017/10/22



小さな平屋に暮らす。

山田 きみえ 編

雨宮 秀也 著

平凡社

郊外の住宅地、あるいは里山の比較的広い敷地に、あえて小さな平屋を建てて暮らす日々を住み手が語り、設計者が設計手法を解説する。建てる際に知っておきたい「小さな平屋」基礎講座も掲載。

./ 126p

978-4-582-54460-2

本体 ¥1,800+税



産経新聞 2017/10/22



日本人とくじら〜歴史と文化〜(生活文化史選書)

小松 正之 著

雄山閣

日本人の生活に根付いた文化でもあったくじら。長崎・五島、豊後、北海道、新潟、能登、伊豆など、全国の捕鯨文化を訪ねた記録。インタビューや座談会、くじら食探訪、くじら年表なども収録する。

:/ 189p

978-4-639-02501-6

本体 ¥2,800+税



産経新聞 2017/10/22



?むひと逃すひと〜京都花街の芸舞妓は知っている〜

竹由 喜美子 著

すばる舎リンケージ

おもてなしの最高峰・京都花街芸舞妓。彼女たちが接する世界の REAL EXECUTIVE たちはどんなことを大切に、どんな視点を持っているのか。チャンス、商機、人の心を?んで離さない人になるための指南 48 を綴る。

:/ 223p

978-4-7991-0627-3

本体 ¥1,500+税



産経新聞 2017/10/22



アイスクリームが溶けてしまう前に〜家族のハロウィーンのための連作〜

小沢健二と日米恐怖学会 著

福音館書店

ロックの家族は、今年、青トンボの家族になってる。さあ、町の人たちは、わかってくれるかな? ロックと弟が、近所の家のドアをノックすると…。アメリカのハロウィーンを通して、家族のかけがえのない時間を描いた連作集。

:/ 62p

978-4-8340-8353-8

本体 ¥1,400+税



産経新聞 2017/10/22



十八番の噺〜落語家が愛でる噺の話〜

春風亭 昇太、桃月庵 白酒、柳家 喬太郎、立川 生志、林家 正蔵、三笑亭 夢丸、立川 こはる、春風亭 昇々、瀧川 鯉八、柳亭 小痴楽、柳家 わさび 著
フィルムアート社

春風亭昇太、桃月庵白酒、柳家喬太郎…。現代の落語界を牽引する実力派真打 5 人と、期待の若手真打・二ツ目 6 人が「十八番の噺」をあげ、独自の解釈や演じる上で心がけていることなどをつまびらかにする。

:/ 244p

978-4-8459-1702-0

本体 ¥1,700+税



産経新聞 2017/10/22



肉弾

河崎 秋子 著

KADOKAWA

心の通わぬ父子は、森へ入っていく。そこが獣の領域と知りながら。北海道のカルデラ地帯で孤立した青年が熊や野犬と戦い、人間の生きる本能を覚醒させてゆく。圧倒的なスケールで描く肉体と魂の成長物語。

2017.10./ 252p

978-4-04-105382-9

本体 ¥1,600+税



産経新聞 2017/10/22、読売新聞 2017/10/29



日本史の内幕〜戦国女性の素顔から幕末・近代の謎まで〜(中公新書 2455)

磯田 道史 著

中央公論新社

歴史の「本当の姿」は、古文書の中からしかみえてこない。小説や教科書ではわからない、日本史の面白さ、魅力がここにある! 豊臣秀頼出生の秘密、西郷隆盛の書状…。古文書の達人だけが知る歴史のウラ側を教える。

2017.10./ 4p,250p

978-4-12-102455-8

本体 ¥840+税



産経新聞 2017/10/28



鯉のはなシアター

榎本 壮志 著

ザメディアジョン

東京で仕事に行き詰まり広島に帰郷した奥崎愛未は、祖父が経営する映画館が閉館することを知る。そんなとき、ふらりと現れた謎の男が「映画館を残したいなら、広島カープを見習ったらどうです?」と言い出して…。

産経新聞 2017/10/28

./ 263p

978-4-86250-491-3

本体 ¥1,204+税



さよなら、スパイダーマン

アナベル・ピッチャー、中野 怜奈 著

偕成社

姉さんのローズがテロの犠牲になって、ばらばらになった家族。ぼくを救ってくれたのは、イスラム教徒の少女、スーニャだった…。テロによる家族の死を 10 歳の少年の視点から描く。あたたかなユーモアが読者を魅了する感動作。

産経新聞 2017/10/29

2017.10./ 309p

978-4-03-726900-5

本体 ¥1,700+税



てをつなぐ

鈴木 まもる 著

金の星社

ぼくから母さん、母さんから妹、妹から父さん。手がどんどんつながっていく。つないだ手と手は、世界中の人たち、地球上の生き物たちへとつながり広がって…。小さな手のなかにある大きな力と幸せを伝える絵本。

産経新聞 2017/10/29

2017.8./ [32p]

978-4-323-02464-6

本体 ¥1,300+税



韓国は消滅への道にある

李 度? 著

草思社

朴槿恵大統領を弾劾罷免し、親北・反米の文在寅を新大統領に選んだ韓国。米軍の撤収、北との統合をもくろむ果てには何が残るのか。韓国保守論壇の重鎮による憂国の書。親北人士・団体の解説リスト付き。

産経新聞 2017/10/29

./ 243p

978-4-7942-2299-2

本体 ¥1,700+税



宿場町旅情写真紀行(ノスタルジック・ジャパン)

清永 安雄 著

産業編集センター

日本各地に今なお点在する、江戸時代の名残を色濃くとどめた古い町並み。そんな宿場町から 22 カ所を厳選し、そのなりたちや魅力、情緒あふれる景観を、豊富なオールカラー写真で紹介する。

産経新聞 2017/10/29

./ 270p

978-4-86311-160-8

本体 ¥1,800+税



近影遠影～あの日あの人～

高橋 一清 著

青志社

高い識見と厳正さを持った昭和天皇、井上靖の最初で最後の文章、田中角栄のすさまじい磁力…。名作を担当し、作家の誕生に立ち合った編集者が綴る人物紹介記事。『毎日新聞』島根、鳥取両県版ほか掲載を書籍化。

産経新聞 2017/10/29

./ 230p

978-4-86590-050-7

本体 ¥1,300+税





日本文学全集<04> 源氏物語(上)

紫式部 著

河出書房新社

世に優れて魅力ある男の物語がたくさんの登場人物を連ねて際限なく広がる。その一方で人の心の奥へも深く沈んでゆく。いうまでもなく日本文学最大の傑作。

2017:9./ 689p

978-4-309-72874-2

本体 ¥3,500+税



産経新聞 2017/10/29、朝日新聞 2017/10/29



変節と愛国～外交官・牛場信彦の生涯～(文春新書 1141)

浅海 保 著

文藝春秋

戦前は「枢軸派」として日独伊三国同盟を強力に推進。戦後は「親米派」として外務次官、駐米大使を歴任した牛場信彦。激動の昭和を気概で駆け抜けた男の人生から、「愛国」の意味を考える。

2017:9./ 287p

978-4-16-661141-6

本体 ¥940+税



産経新聞 2017/10/29、読売新聞 2017/10/29



漫画君たちはどう生きるか

吉野 源三郎、羽賀 翔一 著

マガジンハウス

自分の生き方を決定できるのは、自分だけだ。人間としてあるべき姿を求め続ける、コペル君と叔父さん-。「子どもたちに向けた哲学書であり、道徳の書」として読み継がれてきた歴史的な名著を漫画化。テキスト版も同時刊行。

./ 334p

978-4-8387-2947-0

本体 ¥1,300+税



産経新聞 2017/10/29、読売新聞 2017/10/29



日中漂流～グローバル・パワーはどこへ向かうか～(岩波新書 新赤版 1658)

毛里 和子 著

岩波書店

「反日」デモや領土・領海をめぐる衝突など政治的な緊張感を増すなかで、日本は、新たなグローバル・パワーと化した中国とどう向き合うのか。現代中国外交の実像を多角的に読み解きながら、来たるべき日中関係を模索する。

2017:4./ 7p,272p

978-4-00-431658-9

本体 ¥860+税



朝日新聞 2017/10/01



マンボウのひみつ(岩波ジュニア新書 859)

澤井 悦郎 著

岩波書店

人気者なのに謎すぎる魚・マンボウ。夜光る、すぐ死ぬ、溺れる人を助けた、3億個産卵して生き残るのは2匹...伝説の真相は!? 古い文献探しから先端技術での生態調査、料理やサブカルまで、マンボウのひみつを解き明かす。

2017:8./ 187p,2p

978-4-00-500859-9

本体 ¥1,000+税



朝日新聞 2017/10/01



日中 2000 年の不理解～異なる文化「基層」を探る～(朝日新書)

王 敏 著

朝日新聞社

近いようで遠い日本と中国の文化の隔たりが思わぬ摩擦を生む。日中の行き違いを九尾狐の伝承、新美南吉や宮沢賢治の童話、日本の裸祭りの風習など豊富な事例から描く、驚きの日本文化論。こんなことに中国人は反応するのか!

2006:10./ 238p

978-4-02-273108-1

本体 ¥720+税



朝日新聞 2017/10/01



戦禍に生きた演劇人たち～演出家・八田元夫と「桜隊」の悲劇～

堀川 恵子 著

講談社

戦禍の中に自由を奪われ、手足を縛られ、重い枷をはめられ、それでも芝居の世界に生きた舞台人たちがいた。演出家・八田元夫の膨大な遺品をもとに、広島に散った桜隊をはじめとする戦前戦中戦後の演劇史を綴る。

朝日新聞 2017/10/01

2017:7./ 363p

978-4-06-220702-7

本体 ¥1,800+税



十角館の殺人 新装改訂版(講談社文庫)

綾辻 行人 著

講談社

朝日新聞 2017/10/01

2007:10./ 495p

978-4-06-275857-4

本体 ¥750+税



7人の名探偵～新本格 30 周年記念アンソロジー～(講談社ノベルス フ N-01)

綾辻 行人、歌野 晶午、法月 綸太郎、有栖川 有栖、我孫子 武丸、山口 雅也、麻耶 雄嵩、文芸第三出版部 編

綾辻 行人、歌野 晶午、法月 綸太郎、有栖川 有栖、我孫子 武丸、山口 雅也、麻耶 雄嵩 著

講談社

世界は謎解きに満ちている! 綾辻行人、歌野晶午、法月綸太郎、有栖川有栖、我孫子武丸…。7 人のレジェンド作家たちが「名探偵」をテーマに書き下ろした 7 編の物語を収録する。

朝日新聞 2017/10/01

2017:9./ 302p

978-4-06-299105-6

本体 ¥1,000+税



中村正義の世界～反抗と祈りの日本画～(集英社新書)

大塚 信一 著

集英社

画壇のエリートは、なぜ異形の舞妓を描いたのか? 生涯、病気がちで、舞妓をあたかも仏画のごとく描き続けた画家・中村正義。異端の画家の生涯を見直し、その作品を解説する。主要作品 116 点をオールカラーで掲載。

朝日新聞 2017/10/01

2017:8./ 222p

978-4-08-720894-8

本体 ¥1,400+税



ナチスの「手口」と緊急事態条項(集英社新書 0896)

長谷部 恭男、石田 勇治 著

集英社

自民党が加憲を狙う緊急事態条項。首相に権限を集中させるこの条項は、ナチスの独裁を許したワイマール憲法の条項と酷似する。ヒトラーの全権掌握のカラクリと緊急事態条項を比較し、条項の危うさを解明する。

朝日新聞 2017/10/01

2017:8./ 253p

978-4-08-720896-2

本体 ¥760+税



血の轍 1(ビッグコミックス)

押見 修造 著

小学館

朝日新聞 2017/10/01

2017:9./ 216p

978-4-09-189623-0

本体 ¥600+税





機巧のイヴ(新潮文庫 い-130-1)

乾 緑郎 著

新潮社

13 層の大楼閣に君臨するという噂の遊女・伊武。カラクリ千年の秘術を求めて彼女を追う、幕府配下の機巧師・久蔵。遷宮と幕府転覆計画が絡み合う中、魂の歯車たちが狂乱する! SF×伝奇の融合で生まれた歴史的傑作。

朝日新聞 2017/10/01

2017:8./ 378p

978-4-10-120791-9

本体 ¥630+税



〈反日〉からの脱却

馬 立誠、杉山 祐之 著

中央公論新社

2002 年、『人民日報』の著名な論説委員による衝撃の論文が中国で発表された...。日本批判が当たり前の中国で大論争を巻き起こしたこの「対日関係の新思考」をはじめ、現在中国の排外主義を徹底批判した 3 論文を所収。

朝日新聞 2017/10/01

2003:10./ 393p

978-4-12-003454-1

本体 ¥2,900+税



日中国交正常化〜田中角栄、大平正芳、官僚たちの挑戦〜(中公新書 2110)

服部 龍二 著

中央公論新社

アメリカを裏切らず、台湾を切り捨てず、どのように中国と接近するか。日中国交正常化交渉の過程を、外交記録、インタビューなどから掘り起こし、政治のリーダーシップに着目し、政治家、官僚たちの動きを精緻に追う。

朝日新聞 2017/10/01

2011:5./ 2,262p

978-4-12-102110-6

本体 ¥800+税



マネー・ボール 完全版(ハヤカワ文庫 NF 387)

マイケル・ルイス、中山 宥 著

早川書房

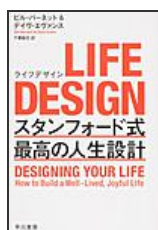
1990 年代末、弱小球団アスレチックスの新任ゼネラルマネジャー、ビリー・ビーンは、統計データを駆使した野球界の常識を覆す手法で球団を改革。チームを強豪へと導き...。全訳版。出版後日談なども収録。

朝日新聞 2017/10/01

2013:4./ 462p

978-4-15-050387-1

本体 ¥940+税



LIFE DESIGN 〜スタンフォード式最高の人生設計〜

ビル・バーネット、デイヴ・エヴァンス、千葉 敏生 著

早川書房

あらゆる年齢・職業の人たちの悩みを解決してきたスタンフォード大学の講義を書籍化。就職・キャリアアップ・転職・第 2 のキャリアといった、人生のあらゆるステージに応用できるライフデザインの方法を紹介する。

朝日新聞 2017/10/01

2017:9./ 314p

978-4-15-209708-8

本体 ¥1,600+税



かくて行動経済学は生まれり

マイケル・ルイス、渡会 圭子 著

文藝春秋

「人間の直感は間違う」ことを発見した 2 人のユダヤ人心理学者、ダニエルとエイモス。彼らがいかにして人の頭に潜むバイアスや錯覚を暴き出し、「合理的な人間像」を前提とした既存の経済学を打ち壊していったかを描く。

朝日新聞 2017/10/01

2017:7./ 429p

978-4-16-390683-6

本体 ¥1,800+税





本の未来を 探る旅 ソウル～BOOK REVOLUTION IN SEOUL～

内沼 晋太郎、綾女 欣伸、田中 由起子 著

朝日出版社

いま韓国のソウルは空前の「本屋」ブーム。なぜ彼らは「独立」するのか？書店主や編集者など、本の現場で果敢に実験に挑む、1980年代生まれを中心とした若い世代20人のロングインタビューを収録する。

2017:6./ 223p

978-4-255-01001-4

本体 ¥2,300+税



朝日新聞 2017/10/01



知日～なぜ中国人は、日本が好きなのか!～

毛 丹青、蘇 静、馬 仕睿、原口 純子 著

潮出版社

2011年1月に北京で創刊された月刊誌『知日』は、毎月テーマを絞り、日本のありのままの姿を中国人読者に紹介している。そんな『知日』のすべてがわかるダイジェスト版。内田樹、莫言らの特別寄稿も掲載。

2015:1./ 149p

978-4-267-02002-5

本体 ¥1,500+税



朝日新聞 2017/10/01



きょうの日は、さようなら

石田 香織 著

河出書房新社

かつて兄だったキョウスケが、勝手に私の人生へと戻って来た一大切な運命の物語。心揺さぶる最高のデビュー小説! 斎藤美奈子氏推薦。

2017:7./ 222p

978-4-309-02578-0

本体 ¥1,400+税



朝日新聞 2017/10/01



日本人と中国人～“同文同種”と思いきわ危険～(祥伝社新書 487)

陳 舜臣 著

祥伝社

日本人と中国人は「似て非なる存在」であり、中国の多様性を十分に理解しない日本人は誤解の陥穽に陥りやすい。両国の違いについて、歴史や古典を基に、具体的事例を用いて比較・検証する。中国を知り、日本を知る入門書。

2016:11./ 262p

978-4-396-11487-9

本体 ¥820+税



朝日新聞 2017/10/01



孤島の鬼(創元推理文庫)

江戸川乱歩 著

東京創元社

朝日新聞 2017/10/01

1987:6./ 400p

978-4-488-40101-6

本体 ¥660+税



ぬばたまおろち、しらたまおろち(創元推理文庫 Fし 2-1)

白鷺 あおい 著

東京創元社

古い祭りや妖怪の言い伝えが今も残る岡山の田舎で、サーカスから逃げたアナコンダに襲われた綾乃は、危ういところを箒に乗った魔女に助けられる。怪我を負った綾乃は、魔女の学校で治療を受け、そのまま入学することに…。

2017:9./ 478p

978-4-488-58802-1

本体 ¥1,000+税



朝日新聞 2017/10/01



他人をバカにしたがる男たち(日経プレミアシリーズ 348)

河合 薫 著

日本経済新聞出版社

駅やコンビニで暴言を吐く、反論してこない人にだけ高圧的…。他人をバカにして会社にしがみつく人=「ジジイ」に焦点を当て、健康社会学の視点からその生態を分析。70歳現役社会で男女が輝くヒントを紹介する。

朝日新聞 2017/10/01

./ 244p

978-4-532-26348-5

本体 ¥850+税



世界の茶文化図鑑

ティービッグズ、ルイーズ・チードル、ニック・キルビー、伊藤 はるみ 著

原書房

白茶、緑茶、ウーロン茶、プーアル茶、紅茶、ハーブティー…。世界で愛されるお茶についての総合的なヴィジュアルガイド。茶葉の種類や育て方、お茶を使った料理と飲み物、各地の生産者へのインタビューなどを収録する。

朝日新聞 2017/10/01

./ 208p

978-4-562-05403-9

本体 ¥5,000+税



「大学改革」という病～学問の自由・財政基盤・競争主義から検証する～

山口 裕之 著

明石書店

大学改革における論点を整理し、改革を推進する側と批判する側がそれぞれ前提としている考え方について、その根拠や正当性を再考。「大学とは何か・今後どうあるべきか」を考えるための手がかりを探る。

朝日新聞 2017/10/01

./ 294p

978-4-7503-4546-8

本体 ¥2,500+税



アリ対猪木～アメリカから見た世界格闘史の特異点～

ジョシュ・グロス、棚橋 志行、柳澤 健 著

亜紀書房

仕掛けたのは、全米の覇権を目論む WWF のビンス・マクマホン。ボクシング界のボブ・アラムは、革新的な衛星中継で巨利を狙った。14億人が目撃した異種格闘技戦「アリ対猪木」の裏側に迫る。米国発ノンフィクション。

朝日新聞 2017/10/01

./ 355p

978-4-7505-1510-6

本体 ¥1,800+税



悩める日本人～「人生案内」に見る現代社会の姿～(ディスカヴァー携書 183)

山田 昌弘 著

ディスカヴァー・トゥエンティワン

白熱する高齢者の性・恋愛、夫の知らない妻の不倫、中高年パラサイト・シングル…。『読売新聞』の名物連載「人生案内」に寄せられる悩み相談の数々を鋭く分析。多様化を極める価値観と、社会制度のあり方を考察する。

朝日新聞 2017/10/01

./ 206p

978-4-7993-2163-8

本体 ¥1,000+税



猫は宇宙で丸くなる～猫 SF 傑作選～(竹書房文庫 ん 1-1)

シオドア・スタージョン、フリッツ・ライバー、中村 融 編

シオドア・スタージョン、フリッツ・ライバー 著

竹書房

甘えるが媚びず、気まぐれだが頼りになる相棒。そんな不思議な生き物の名は猫。マシュマロを焼く天才猫、マスコットとして宇宙船に乗った猫など、奇妙で可愛い猫たちの物語 10編を収録した、猫 SF アンソロジー。

朝日新聞 2017/10/01

./ 438p

978-4-8019-1191-8

本体 ¥1,200+税





世界の特別な1日～未来に残したい100の報道写真～

マルゲリータ・ジャコーザ、ロベルト・モッタデリ、ジャンニ・モレッツィ、村田 綾子 著
日経ナショナルジオグラフィック社

1869年の大陸横断鉄道開通から、2015年のシリア難民まで、世界に衝撃を与えた有名な報道写真100点とともに、現代史をたどる。各写真ごとに、歴史的背景や撮影の瞬間のシチュエーションをわかりやすく解説する。

朝日新聞 2017/10/01

./ 219p
978-4-86313-385-3
本体 ¥3,200+税



往復書簡 初恋と不倫

坂元 裕二 著
リトル・モア

返事くださいと書いてあったので返事書きます。迷惑です。僕と君はただ同じクラスだというだけです。話したこともないし、君のことをなんにも知りません。往復書簡形式の舞台脚本を2編収録。

朝日新聞 2017/10/01

./ 187p
978-4-89815-461-8
本体 ¥1,600+税



松本圭二セレクション<第8巻> さらばボヘミヤン

松本 圭二 著
航思社

朔太郎賞詩人・松本圭二の全貌を明らかにするセレクション。第8巻は、『新潮』掲載の「さらばボヘミヤン」など、映画/フィルムと詩、その継承と転形をめぐる彷徨と冒険の小説全3篇を収録する。

朝日新聞 2017/10/01

./ 232p
978-4-906738-32-8
本体 ¥2,400+税



三遊亭円朝と民衆世界

須田 努 著
有志舎

文明開化の時代に生きた名人・三遊亭円朝。絶大な人気を博した様々な噺の内容と、彼の人生・思想を解析し、当時の民衆世界に分け入ってその心性を明らかにする。歴史学(民衆史)から怪談・人情話をとらえ直す試み。

朝日新聞 2017/10/01

./ 10p, 271p, 5p
978-4-908672-14-9
本体 ¥5,000+税



親鸞と日本主義(新潮選書)

中島 岳志 著
新潮社

“信仰”は、いかに“愛国”へと変化したのか。近代日本思想の“盲点”である「親鸞思想と国粋主義」の危険な関係に迫る評論。『考える人』掲載に加筆・修正し、書き下ろしを加え単行本化。

朝日新聞 2017/10/01、日本経済新聞 2017/10/14、毎日新聞 2017/10/29

2017.8./ 297p
978-4-10-603814-3
本体 ¥1,400+税



「なんとかする」子どもの貧困(角川新書 K-158)

湯浅 誠 著
KADOKAWA

貧困は減らせる、社会は根もとから変えられる!“子どもの貧困”に取り組む人たちと課題解決の最前線取材し、その諸相を紹介する。『Yahoo!ニュース個人』掲載に加筆し書籍化。

朝日新聞 2017/10/01、毎日新聞 2017/10/08

2017.9./ 241p
978-4-04-082173-3
本体 ¥800+税





憲法 第6版

芦部 信喜、高橋 和之 著

岩波書店

定評ある「芦部憲法学」のエッセンスを凝縮したテキスト。「ヘイトスピーチ」「インターネット上の表現の自由」など、近時重要性が増している論点を取り上げるほか、法令の改廃と新たな重要判例を追加補充した第6版。

2015:3./ 32p,410p,18p

978-4-00-022799-5

本体 ¥3,100+税



朝日新聞 2017/10/08



統治二論

ジョン・ロック 著

岩波書店

政治学の領域だけでなく、アメリカ独立革命をはじめとする現実の政治に対しても多大な影響を与えてきた古典の、ロック研究の第一人者による画期的新訳。神学的パラダイムをベースとした新しい統治の姿が浮かび上がる。

2007:9./ 407p,7p

978-4-00-024140-3

本体 ¥5,600+税



朝日新聞 2017/10/08



日本文化をよむ〜5つのキーワード〜(岩波新書 新赤版 1675)

藤田 正勝 著

岩波書店

西行の「心」、親鸞の「悪」、世阿弥の「花」など5つのキーワードから、日本文化の根底にある物の見かた、美意識のありかたを素描する。西田幾多郎の思想をヒントに、日本文化のひとつの“自画像”を描く試み。

2017:8./ 12p,202p

978-4-00-043167-6

本体 ¥780+税



朝日新聞 2017/10/08



日本一やさしい「政治の教科書」できました。

木村 草太、津田 大介、加藤 玲奈、向井地 美音、茂木 忍、朝日新聞社 編

木村 草太、津田 大介、加藤 玲奈、向井地 美音、茂木 忍 著

朝日新聞出版

「そもそも“政治”の意味がわかりません」「マスコミはどこまで信じていい？」AKB48の茂木忍、加藤玲奈、向井地美音が、憲法学者・木村草太とジャーナリスト・津田大介に学ぶ、日本一気軽に読める政治入門書。

2017:7./ 215p

978-4-02-251467-7

本体 ¥1,100+税



朝日新聞 2017/10/08



荒くれ漁師をたばねる力〜素人だった24歳の専業主婦が業界に革命を起こした話〜

坪内 知佳 著

朝日新聞出版

3 船団からなる合同会社「萩大島船団丸」の代表に就任したシングルマザーの著者。魚の販売先を開拓する営業、商品管理と配送業務をまとめあげ、漁業の6次産業化事業に挑む女性起業家の奮闘物語。

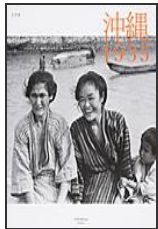
2017:9./ 215p

978-4-02-251473-8

本体 ¥1,400+税



朝日新聞 2017/10/08



沖縄 1935〜写真集〜

週刊朝日編集部 編

朝日新聞出版

糸満の漁師たちの日常、軌道馬車、活気あふれる那覇の市場-。1935(昭和 10)年の沖縄の人々の生き生きとした暮らしぶり、民俗、建築、産業、自然を鮮明に記録する写真の数々と、現地の古老らの証言などを収録。

2017:7./ 127p

978-4-02-258695-7

本体 ¥1,800+税



朝日新聞 2017/10/08



ニッポンの奇祭(講談社現代新書 2441)

小林 紀晴 著

講談社

諏訪の御柱祭、宮古島のパーントゥ、大分のケベス祭、秩父のテンゴウ祭、岩手の蘇民祭…。土着的な要素を感じる「奇祭」に惹かれた著者が、出身地・長野県諏訪地方を出発点に、日本全国の祭りを訪ねる。写真も多数掲載。

2017:8./ 262p 図版
16p

978-4-06-288441-9

本体 ¥900+税



朝日新聞 2017/10/08



文芸的な、余りに文芸的な | 饒舌録ほか〜芥川 vs.谷崎論争〜(講談社文芸文庫 あH3)

千葉 俊二 編

芥川 龍之介、谷崎 潤一郎 著

講談社

“筋のない小説”を巡る芥川龍之介と谷崎潤一郎の論争。2 人の文学観の披瀝と応酬を、雑誌発表順に配列し、発端となった『新潮』合評会とその組上に載った小説、論争中の昭和 2 年 7 月に自殺した芥川への谷崎の追悼文を収録。

2017:9./ 312p

978-4-06-290358-5

本体 ¥1,600+税



朝日新聞 2017/10/08



ワッハワッハハイのぼうけん〜谷川俊太郎童話集〜(小学館文庫 た34-1)

谷川 俊太郎、和田 誠 著

小学館

谷川俊太郎の都市的なユーモアとナンセンスが飛び跳ねる、初の文庫版傑作童話集。表題作をはじめ、「けんはへっちゃら」「ここからどこかへ」など、子どもから大人までが楽しめる傑作をまとめる。全篇に和田誠の絵を多数掲載。

2017:8./ 265p

978-4-09-406430-8

本体 ¥890+税



朝日新聞 2017/10/08



観応の擾乱〜室町幕府を二つに裂いた足利尊氏・直義兄弟の戦い〜(中公新書 2443)

亀田 俊和 著

中央公論新社

室町幕府を裂いた、骨肉の争いとは? 征夷大將軍・足利尊氏と幕政を主導する弟・直義との対立から起きた全国規模の内乱「観応の擾乱」。戦乱前後の動きも踏まえて、後世にも影響をおよぼした内乱の全貌を明らかにする。

2017:7./ 4p,269p

978-4-12-102443-5

本体 ¥860+税



朝日新聞 2017/10/08



五つの証言(中公文庫 マ 15-1)

トーマス・マン、渡辺 一夫 著

中央公論新社

第二次大戦前夜、戦闘的ユマニズムの必要を説いたトーマス・マン。空襲が激化するなか、マンへの共感から翻訳した渡辺一夫。この渾身の訳業によるマンの文章と、渡辺の代表的なエッセイ、中野重治との往復書簡をまとめる。

朝日新聞 2017/10/08

2017:8./ 217p

978-4-12-206445-4

本体 ¥800+税



対岸の彼女(文春文庫)

角田 光代 著

文芸春秋

朝日新聞 2017/10/08

2007:10./ 334p

978-4-16-767205-8

本体 ¥590+税



動物になって生きてみた

チャールズ・フォスター、西田 美緒子 著

河出書房新社

アナグマとなって森で眠り、アカシカとなって猟犬に追われてみる…。自然のなかで動物として生きるとはどんなことなのか、実際に動物になりきって暮らし、見て、嗅いで、聞いて、味わって、感じようとした経験を描く。

朝日新聞 2017/10/08

2017:8./ 295p

978-4-309-25369-5

本体 ¥1,900+税



ゴリオ爺さん(光文社古典新訳文庫 KA ハ 3-2)

バルザック 著

光文社

出世の野心を抱いてパリで法学を学ぶ貧乏貴族の子弟ラスティニャックは、場末の下宿屋に身を寄せながら、なんとか社交界に潜り込む。そこで目にした令夫人は、下宿のみすばらしいゴリオ爺さんの娘だというのが…。

朝日新聞 2017/10/08

2016:9./ 591p

978-4-334-75337-5

本体 ¥1,260+税



久米宏です。～ニュースステーションはザ・ベストテンだった～

久米 宏 著

世界文化社

「土曜ワイドラジオ TOKYO」「ぴったしカン・カン」「料理天国」「ザ・ベストテン」そして「ニュースステーション」…。テレビを変えた男・久米宏が、メディア人生 50 年の舞台裏を語り明かす。

朝日新聞 2017/10/08

2017:9./ 337p

978-4-418-17506-2

本体 ¥1,600+税



カフェでカフィを(集英社クリエイティブコミックス)

ヨコイ エミ 著

集英社クリエイティブ

朝日新聞 2017/10/08

2017:9./ 192p

978-4-420-22066-8

本体 ¥690+税





世界に広がる日本の職人～アジアでうけるサービス～(ちくま新書 1279)

青山 玲二郎 著

筑摩書房

アジアのグローバル都市で、日本発サービスが大人気な訳は? 増え続ける寿司店、美容室、バーなど、高度な技術とサービスで現地の消費欲求に応える、日本人海外移住者が働く現場を分析し、日本の仕事が生む価値を見つめ直す。

2017:9./ 248p

978-4-480-06983-2

本体 ¥820+税



朝日新聞 2017/10/08



政治行動論～有権者は政治を変えられるのか～(有斐閣ストウディア)

飯田 健、松林 哲也、大村 華子 著

有斐閣

データと実証例を豊富に盛り込み、初学者にもわかりやすく解説した「政治行動論」のテキスト。これまでの政治行動論の研究成果に基づいて、代表民主制における有権者の政治行動や、その結果を紹介する。

./ 9p,198p

978-4-641-15029-4

本体 ¥1,800+税



朝日新聞 2017/10/08



島に住む人類～オセアニアの楽園創世記～

印東 道子 著

臨川書店

大航海時代「楽園」と称賛されたオセアニアの生活風景。その「島の暮らし」はいかにして築かれたのか? 歴史的に変化してきた人類の島環境との向き合い方、生活技術などを豊富な図・写真とともに読み解く。

./ 276p,5p

978-4-653-04364-5

本体 ¥3,200+税



朝日新聞 2017/10/08



生涯未婚時代(イースト新書 090)

永田 夏来 著

イースト・プレス

2030年には男性3人に1人、女性4人に1人が生涯未婚に。結婚・出産を経て配偶者と添い遂げる、正社員で定年まで働くという人生設計が共有できなくなった時代の「結婚という選択肢」を、家族社会学の視点から再考する。

./ 198p

978-4-7816-5090-6

本体 ¥861+税



朝日新聞 2017/10/08



日本国憲法の制定過程～大友一郎講義録～

大友 一郎、庄司 克宏 編

大友 一郎 著

千倉書房

日本国憲法の制定過程を深く知ることなく、憲法改正を語るべきではない。大友一郎が日本国憲法の制定過程を繙いた、昭和60年度の慶應義塾大学法律学科の授業等の内容をまとめる。

./ 7p,314p

978-4-8051-1120-8

本体 ¥2,500+税



朝日新聞 2017/10/08



海に見える駅

村松 拓 著

雷鳥社

流水の見える北浜駅、天空に浮かぶ餘部駅…。国内の海に見える駅70を、地域や海ごとに分類し、海岸線をなぞるように配列。休日に停車する列車の一方方向の本数やアクセスなどの情報とともにカラー写真で紹介する。

./ 159p

978-4-8441-3724-5

本体 ¥1,500+税



朝日新聞 2017/10/08



巫者のいる日常～津軽のカミサマから都心のスピリチュアルセラピストまで～

村上 晶 著

春風社

イタコの消えゆく津軽地方で口寄せを行うカミサマ。その世界を成り立たせているものは何か。現代日本の巫者(シャーマン)の姿。

朝日新聞 2017/10/08

:/ 396p

978-4-86110-558-6

本体 ¥3,500+税



* 9 7 8 4 8 6 1 1 0 5 5 8 6 *



多田富雄コレクション<1> 自己とは何か

多田 富雄 著

藤原書店

世界的免疫学者にして能作者、詩人、そして珠玉の随筆を残した多田富雄。その膨大な著作を、テーマ別に厳選。1 は、「免疫論」の核心と、そこから派生する問題系の現代的意味を示す論考を収録する。

朝日新聞 2017/10/08

:/ 342p

978-4-86578-121-2

本体 ¥2,800+税



* 9 7 8 4 8 6 5 7 8 1 2 1 2 *



多田富雄コレクション<2> 生の歓び

多田 富雄 著

藤原書店

世界的免疫学者にして能作者、詩人、そして珠玉の随筆を残した多田富雄。その膨大な著作を、テーマ別に厳選。2 は、食・美・旅に関する名随筆を収録する。

朝日新聞 2017/10/08

:/ 318p 図版 10p

978-4-86578-127-4

本体 ¥2,800+税



* 9 7 8 4 8 6 5 7 8 1 2 7 4 *



多田富雄コレクション<3> 人間の復権

多田 富雄 著

藤原書店

世界的免疫学者にして能作者、詩人、そして珠玉の随筆を残した多田富雄。その膨大な著作を、テーマ別に厳選。3 は、脳梗塞で障害を負った新しい「自己」との出会い、リハビリ医療をめぐる闘争など最晩年の言葉の数々を収める。

朝日新聞 2017/10/08

:/ 309p

978-4-86578-137-3

本体 ¥2,800+税



* 9 7 8 4 8 6 5 7 8 1 3 7 3 *



新・風景論～哲学的考察～(筑摩選書 0148)

清水 真木 著

筑摩書房

なぜ「美しい風景」にスマホのレンズを向けるのか? 風景を眺めるとは何をすることなのか? 西洋精神史をたどり、哲学的な観点から考察する。風景に出会い、風景の秘密に到達する道をひらく。

朝日新聞 2017/10/08、読売新聞 2017/10/08

2017:8./ 222p

978-4-480-01653-9

本体 ¥1,500+税



* 9 7 8 4 4 8 0 0 1 6 5 3 9 *



<日中戦争>とは何だったのか～複眼的視点～

黄 自進、劉 建輝、戸部 良一 著

ミネルヴァ書房

日本・中国・台湾の研究者が「日中戦争」をさまざまな角度から分析。両国を戦争へと導いた力学、そして戦争の実態を明らかにし、日中戦争がその後、両国の発展にいかなる影響を与えてきたのかを検討する。

朝日新聞 2017/10/08、読売新聞 2017/10/08

:/ 9p,388p,11p

978-4-623-07995-7

本体 ¥6,500+税



* 9 7 8 4 6 2 3 0 7 9 9 5 7 *



ニュースクール～二〇世紀アメリカのしなやかな反骨者たち～

紀平 英作 著

岩波書店

学問の自由を求める知識人が立ち上げた「ニュースクール」。この小さな学校はやがて、独自の役割を果たしてゆく。デューイ、アーレントなど、学校に関わった人々の思想と行動を通して、20世紀アメリカのリベラリズムを描く。

2017:8./ 8p,227p,11p

978-4-00-061214-2

本体 ¥2,400+税



朝日新聞 2017/10/08、毎日新聞 2017/10/29



これがすべてを変える～資本主義 vs. 気候変動～<上>

ナオミ・クライン、幾島 幸子、荒井 雅子 著

岩波書店

人類の存続のかかる重大問題、気候変動の根本原因と解決法を探る。気候変動対策の遅れの原因について詳細に検証するとともに、化石燃料脱却を掲げる起業家の言行不一致や、化石燃料企業と結託する環境保護団体の偽善を暴く。

2017:8./ 12p,309p,55p

978-4-00-022956-2

本体 ¥2,700+税



朝日新聞 2017/10/15



これがすべてを変える～資本主義 vs. 気候変動～<下>

ナオミ・クライン、幾島 幸子、荒井 雅子 著

岩波書店

人類の存続のかかる重大問題、気候変動の根本原因と解決法を探る。化石燃料を基盤にした経済・社会のあり方にノーを突きつける草の根抵抗運動が世界各地で展開し、拡大しつつあることを、綿密な現地取材に基づき報告する。

2017:8./ 8p,p311?629

77p

978-4-00-022957-9

本体 ¥2,700+税



朝日新聞 2017/10/15



ショック・ドクトリン～惨事便乗型資本主義の正体を暴く～<上>

ナオミ・クライン 著

岩波書店

アメリカ政府とグローバル企業は、戦争、自然災害、政変などの危機につけこんで、あるいはそれを意識的に招いて、過激な経済改革を強行してきた。惨事便乗型資本主義=ショック・ドクトリンの全貌を暴く。

2011:9./ 8p,345p,46p

978-4-00-023493-1

本体 ¥2,500+税



朝日新聞 2017/10/15



ショック・ドクトリン～惨事便乗型資本主義の正体を暴く～<下>

ナオミ・クライン 著

岩波書店

大規模な民営化導入に災害や危機を利用するショック・ドクトリン。ソ連崩壊後のロシア、アパルトヘイト政策廃止後の南アフリカ、さらには最近のイラク戦争やアジアの津波災害などを通し、ショック・ドクトリンの全貌を暴く。

2011:9./ 8p,p357 ~

686,66p

978-4-00-023494-8

本体 ¥2,500+税



朝日新聞 2017/10/15



昆虫の交尾は、味わい深い....(岩波科学ライブラリー 264)

上村 佳孝 著

岩波書店

ワインの栓を抜くように、鯛焼きを鋳型で焼くように!-? 昆虫の交尾は奇想天外・摩訶不思議。その謎に魅せられた研究者が、徹底した観察と実験で真実を解き明かす。袋とじのおまけページあり。

2017:8./ 8p,113p,5p

978-4-00-029664-9

本体 ¥1,300+税



朝日新聞 2017/10/15



プラグマティズム(岩波文庫 青 640-1)

ウィリアム・ジェームズ、榊田啓三郎 著
岩波書店

プラグマティズムは、今日のアメリカ資本主義社会とその文化を築き上げてきた基調である。本書は、このような考え方を初めて体系づけ、ヨーロッパの伝統的な思考方法を打破した点で不朽の功績をもつ。

1957:5./ 236p
978-4-00-336401-7
本体 ¥900+税



朝日新聞 2017/10/15



イギリス現代史(岩波新書 新赤版 1677)

長谷川 貴彦 著
岩波書店

福祉国家体制の形成、「英国病」とサッチャリズム、そして現在へと続く、戦後イギリスのあゆみを描く通史。政治経済のみならず、国際関係、階級や文化をめぐる社会変容にも着目し、多角的で論争的な現代史像を提示する。

2017:9./ 3p,194p,20p
978-4-00-431677-0
本体 ¥780+税



朝日新聞 2017/10/15



原因と結果の法則～新訳～(角川文庫 iア 15-1)

ジェームズ・アレン、山川 紘矢、山川 亜希子 著
KADOKAWA

カーネギー、オグ・マンディーノらが大きな影響を受けたといわれるジェームズ・アレンの名著が山川夫妻の新訳で登場。自分の人生は自分に責任がある。自分が変わることによって環境は変わる。すべての自己啓発書の原点！

2016:7./ 105p
978-4-04-101791-3
本体 ¥440+税



朝日新聞 2017/10/15



アジア辺境論～これが日本の生きる道～(集英社新書 0893)

内田 樹、姜 尚中 著
集英社

アメリカ、欧州、ロシア、中国...その狭間で日本が生き残るために何が必要か。その鍵は日・台・韓の連携にあり。リベラルの重鎮ふたりが、韓国や台湾を視野に入れた緩やかな連帯の可能性を探る。

2017:8./ 219p
978-4-08-720893-1
本体 ¥740+税



朝日新聞 2017/10/15



妖怪ギガ<1>(少年サンデーコミックス)

佐藤 さつき 著
小学館

朝日新聞 2017/10/15

2017:9./ 168p
978-4-09-127690-2
本体 ¥600+税



長女たち(新潮文庫 し-38-9)

篠田 節子 著
新潮社

当てにするための長女と、慈しむための他の兄妹。それでも長女は、親の呪縛から逃れられない。親の変容と介護に振り回される女たちの苦悩と、失われたい希望を描く連作小説。

2017:10./ 403p
978-4-10-148420-4
本体 ¥670+税



朝日新聞 2017/10/15



この世の春<上>

宮部 みゆき 著

新潮社

美貌の青年藩主・重興が、突然隠居を強いられるという変事のあった北見藩。重興の押し込められた座敷牢からは、夜な夜な奇怪な声が。亡者たちの叫びか、それとも…。サイコ&ミステリー長編。『週刊新潮』掲載を単行本化。

朝日新聞 2017/10/15

2017:8./ 397p

978-4-10-375013-0

本体 ¥1,600+税



この世の春<下>

宮部 みゆき 著

新潮社

多紀の献身は、重興の身に一人の救世主を産み出す。だがその出現は、まつろわぬ者たちへのリベンジに油を注ぐことに。彼らの悪意が憑依した北見藩に活路はあるのか? サイコ&ミステリー長編。『週刊新潮』掲載を単行本化。

朝日新聞 2017/10/15

2017:8./ 399p

978-4-10-375014-7

本体 ¥1,600+税



能〜650年続いた仕掛けとは〜(新潮新書 732)

安田 登 著

新潮社

なぜ 650 年も続いたのか。義満、信長、秀吉、家康、歴代将軍、さらに芭蕉や漱石までもが愛した能。世阿弥の巧妙な「仕掛け」や偉人に「必要とされた」理由を、現役の能楽師が縦横に語る。

朝日新聞 2017/10/15

2017:9./ 223p

978-4-10-375012-0

本体 ¥760+税



遠い山なみの光(ハヤカワ epi 文庫)

カズオ・イングロ 著

早川書房

イギリスに暮らす悦子は、娘を自殺で失った。喪失感に苛まれる中、戦後混乱期の長崎で微かな希望を胸に懸命に生きぬいた若き日々を振り返る。新たな人生を求め、犠牲にしたものに想いを馳せる。『わたしの遠い夏』改題。

朝日新聞 2017/10/15

2001:9./ 275p

978-4-15-120010-6

本体 ¥700+税



わたしを離さないで(ハヤカワ epi 文庫)

カズオ・イングロ 著

早川書房

優秀な介護人キャシー・H は「提供者」と呼ばれる人々の世話をしている。生まれ育った施設ヘルシュラムの親友トミーやルースも「提供者」だった。キャシーは施設での奇妙な日々思いをめぐらす。

朝日新聞 2017/10/15

2008:8./ 450p

978-4-15-120051-9

本体 ¥800+税



忘れられた巨人(ハヤカワ epi 文庫 91)

カズオ・イングロ、土屋 政雄 著

早川書房

老夫婦は息子との再会を信じて、長年暮らした村を後にする。さまざまな人々に出会いながら荒れ野を渡り、森を抜け、謎の霧に満ちた大地を旅するふたりを待つものとは…。失われた記憶や愛、戦いと復讐のこだまを静謐に描く。

朝日新聞 2017/10/15

2017:10./ 490p

978-4-15-120091-5

本体 ¥980+税





彼の娘

飴屋 法水 著
文藝春秋

45歳で初めて父になった彼が、謎だらけのこの世界で、娘とともに考え、悩み、笑い…。未知なる記憶をめぐる大冒険がはじまった！演劇界の鬼才が描く、異色のドキュメント小説。『別冊文藝春秋』掲載を書籍化。

朝日新聞 2017/10/15

2017:8./ 252p
978-4-16-390696-6
本体 ¥2,400+税



ほしのこ

山下 澄人 著
文藝春秋

わたしは父に連れられ遠くの星から来たらしい。父がそういった。子どもとかつて子どもだった人に贈る、命の物語。カラー挿絵も収録。『別冊文藝春秋』連載を単行本化。

朝日新聞 2017/10/15

2017:8./ 209p
978-4-16-390705-5
本体 ¥1,800+税



煌(きらり)

志川 節子 著
徳間書店

「祝言は挙げられない」簪職人のおりよは、突然許婚の新之助にそう告げられた。目が見えないからか。悔しさを押し殺すおりよだったが…。『闇に咲く』など、市井の人情を掬い取る、珠玉の時代小説6編を収録。

朝日新聞 2017/10/15

2017:7./ 332p
978-4-19-864435-2
本体 ¥1,700+税



ミレニアル起業家の新モノづくり論(光文社新書 905)

仲 暁子 著
光文社

製造業とともに衰退する日本が蘇るためのヒントは、モノを持たない80?90年代生まれの行動にある。日本最大のビジネスSNSを運営する女性社長が、新しい労働と幸福の形を示す。

朝日新聞 2017/10/15

2017:9./ 253p
978-4-334-04311-7
本体 ¥900+税



少年小説大系<第20巻> 南洋一郎集

二上 洋一 編
南 洋一郎 著

三一書房

朝日新聞 2017/10/15

1992:9./ 595p
978-4-380-92549-8
本体 ¥6,796+税



この世は落語(ちくま文庫 な 19-4)

中野 翠 著
筑摩書房

人間の愚かさの種々相を、「ある、ある」と他人事ならず受け止め、笑ってしまう。そんな落語の奥深い魅力と聞きどころを、イラスト入りで紹介。京須偕充氏との対談も収録。

朝日新聞 2017/10/15

2017:9./ 344p
978-4-480-43461-6
本体 ¥880+税





100 語でわかる子ども(文庫クセジュ 1015)

ジャック・アンドレ 著

白水社

弟や妹というのは、遊び相手である前に、兄や姉に不満をもたらし、突き落とす存在-。「兄弟姉妹」「すねる」「ねんね」など、子どもに関する 100 の語彙を、14 人の専門家が実践家が精神分析に依拠してわかりやすく解説。

./ 193p,3p

978-4-560-51015-5

本体 ¥1,200+税



朝日新聞 2017/10/15



クマと森のピアノ(ポプラせかいの絵本 57)

デイビッド・リッチフィールド 著

ポプラ社

こぐまのブラウンは、森のなかでピアノを見つけて、やがて素敵な演奏ができるようになった。ブラウンの演奏を聴いた人間に、街に出るようにすすめられて…。夢をかなえること、そして大切な友達とのつながりを描いた絵本。

./ 33p

978-4-591-15508-0

本体 ¥1,400+税



朝日新聞 2017/10/15



おとえほん

エルヴェ・チュレ 著

ポプラ社

本を開いて、「あおいまる」を押してごらん。「ぼん!」という音とともに、「あおいまる」が、大きくなったり、小さくなったり、いっぱいふえたり…。ポップな色づかいがオシャレな、新感覚のフランス発の絵本。

./ 63p

978-4-591-15540-0

本体 ¥1,300+税



朝日新聞 2017/10/15



東京 23 話(ポプラ文庫 や3-1)

山内 マリコ 著

ポプラ社

生真面目な千代田区が思い出すビートルズが皇居を歩いた日のこと、洒落者の港区が語る魅力的な若者たち…。東京 23 区+武蔵野市+東京都が、「自分」という街の歴史とドラマを一人称で語る小説集。

./ 270p

978-4-591-15636-0

本体 ¥640+税



朝日新聞 2017/10/15



断は生きている~名作落語進化論~

広瀬 和生 著

毎日新聞出版

芝浜、富久、文七元結…。落語家たちはどう演目を分析し、アレンジを加え、ときに解体しながら演じてきたのか。昭和の名人から現役トップの落語家まで、演目の進化から落語の<本質>に迫る落語評論。

./ 317p

978-4-620-32459-3

本体 ¥1,600+税



朝日新聞 2017/10/15



キラリと、おしゃれ~キッチンガーデンのある暮らし~

津端 英子、津端 修一 著

ミネルヴァ書房

野菜を育て、機を織り、季節とともにていねいに暮らす素敵な夫婦の、明日へとつながるメッセージ。本物志向の食生活、手づくりのライフスタイルを日々細やかに送る夫婦の実践から、大地に根を下ろした豊かな暮らしを伝える。

./ 8p,256p

978-4-623-04912-7

本体 ¥1,000+税



朝日新聞 2017/10/15



テレンス・コンラン マイ・ライフ・イン・デザイン～成功するデザイナーの法則～

テレンス・コンラン、斎藤 栄一郎 著

エクスナレッジ

半世紀以上にわたり、幅広い領域で活躍してきた世界的デザイナー、テレンス・コンラン。巨匠が自らのキャリアを分野ごとに振り返りつつ、その情熱の源や、数々のブランド及びプロジェクトの誕生秘話を語る。

:/ 261p

978-4-7678-2354-6

本体 ¥3,200+税



朝日新聞 2017/10/15



ダークツーリズム入門～日本と世界の「負の遺産」を巡礼する旅～

風来堂 編

イースト・プレス

戦跡、被災地、産業遺産…。不幸な歴史を後世に伝えるために訪れておきたい「悲劇の現場」81カ所を網羅したダークツーリズムの入門書。追手門学院大学教授・井出明らのインタビューも収録。データ:2017年8月現在。

:/ 239p

978-4-7816-1582-0

本体 ¥1,500+税



朝日新聞 2017/10/15



父の逸脱～ピアノレッスンという拷問～

セリーヌ・ラファエル、林 昌宏 著

新泉社

わたしの物語に耳を傾けて。音楽の才能があると言われ、私はピアノを弾く家畜になり、父は私を拷問し続けた。周りの人たちは眼を背けた。お稽古地獄という虐待を生き延びた少女の告白。

:/ 273p

978-4-7877-1709-2

本体 ¥1,900+税



朝日新聞 2017/10/15



都市と野生の思考(インターナショナル新書 013)

鷲田 清一、山極 寿一 著

集英社インターナショナル

京都市立芸大学長、京都大学総長の頂上対談。「京都学派」に代表される「京都の知」を受け継ぐ二人がリーダーシップ、老い、衣食住などをテーマに語り合う。伝統と革新が共存する京都型思考を見よ!

:/ 220p

978-4-7976-8013-3

本体 ¥740+税



朝日新聞 2017/10/15



超訳 ニーチェの言葉 ギフト版～エッセンシャル版～

白取 春彦／フリードリヒ・ニーチェ 著

ディスカヴァー・トゥエンティワン

朝日新聞 2017/10/15

:/ 1冊(ペ)

978-4-7993-1805-8

本体 ¥1,000+税



自分の中に奇跡を起こす!(知的生きかた文庫)

ウエイン・W・ダイアー 著

三笠書房

朝日新聞 2017/10/15

:/ 269p

978-4-8379-0864-7

本体 ¥485+税





世界をまどわせた地図～伝説と誤解が生んだ冒険の物語～(NATIONAL GEOGRAPHIC)

エドワード・ブルック=ヒッチング 著

日経ナショナルジオグラフィック社

アトランティス、悪魔の島、朝鮮島…。神話や伝承として語り継がれたものから探検家の間違いや誤解、完全な「でっち上げ」まで、130点を超える美しい古地図と貴重な図版・写真とともに、幻の世界を読み解く。

./ 256p

978-4-86313-391-4

本体 ¥2,700+税



朝日新聞 2017/10/15



マスターの教え～「富と知恵と成功」をもたらす秘訣～

ジョン・マクドナルド 著

飛鳥新社

85年間、世界中で読み継がれている成功哲学の古典

./ 142p

978-4-86410-387-9

本体 ¥509+税



朝日新聞 2017/10/15



ふたりからひとり～ときをためる暮らし それから～

つばた 英子、つばた しゅういち、水野 恵美子、落合 由利子 著

自然食通信社

老いたら老いたなりに、楽しくなることを考え、実践してきた夫が他界。ふたりが積み重ねてきた半世紀の歳月は、いまでも妻が同じように営み続ける…。『ときをためる暮らし』から4年あまりの日々を書きとめる。

./ 256p

978-4-916110-46-6

本体 ¥1,800+税



朝日新聞 2017/10/15



モンテ・クリスト伯<1>(ワイド版岩波文庫 363)

アレクサンドル・デュマ、山内 義雄 著

岩波書店

無実の罪によって投獄された若者ダンテスは、14年間の忍耐と努力ののち脱出に成功。モンテ・クリスト島の宝を手に入れて報恩と復讐の計画を進めてゆく。200年の間、世界各国で人気をあつめてきた『巖窟王』の完訳。

2013:6./ 421p

978-4-00-007363-9

本体 ¥1,400+税



朝日新聞 2017/10/22



60歳からの外国語修行～メキシコに学ぶ～(岩波新書 新赤版 1678)

青山 南 著

岩波書店

ラジオ講座の挫折の果て、60歳にして決意したメキシコへの語学留学。若者にまじって授業を受け、大家さんのゴミ出しを手伝い、街角でタコスを買う…。翻訳家・エッセイストによるスペイン語修行奮闘記。

2017:9./ 5p,236p,10p

978-4-00-431678-7

本体 ¥820+税



朝日新聞 2017/10/22



ヒストリア

池上 永一 著

KADOKAWA

第二次世界大戦時の沖縄で家族を失い、魂(マブイ)を落としてしまった知花煉。一時の成功を収めるも米軍のお尋ね者となり、ボリビアへと逃亡。試練を乗り越え、自分を取り戻そうとするが…。『小説野性時代』連載を単行本化。

2017:8./ 629p

978-4-04-103465-1

本体 ¥1,900+税



朝日新聞 2017/10/22



友情〜平尾誠二と山中伸弥「最後の一年」〜

山中 伸弥、平尾 誠二、平尾 恵子 著

講談社

告げられた余命は 3 カ月。生還か、永遠の別れか。大人の男たちが挑んだ極限の闘い。2016 年に 53 歳で亡くなった平尾誠二の「最後の 1 年間」を、闘病生活を支えた山中伸弥と平尾夫人が語る。『週刊現代』の対談も収録。

2017:10./ 208p

978-4-06-220827-7

本体 ¥1,300+税



朝日新聞 2017/10/22



浮世絵細見(講談社選書メチエ 657)

浅野 秀剛 著

講談社

浮世絵のサイズはどう決まる? 絵師は舞台を見て役者絵を描いたの? 浮世絵師の収入や住まいは? 異版はなぜ生まれたの? 「そう言えば知らない」浮世絵の謎を解き明かす。浮世絵研究の現状や課題についても論じる。

2017:8./ 317p

978-4-06-258660-3

本体 ¥1,850+税



朝日新聞 2017/10/22



苦海浄土〜わが水俣病〜 新装版(講談社文庫)

石牟礼 道子 著

講談社

工場廃水の水銀が引き起こした文明の病・水俣病。この地に育った著者は、患者とその家族の苦しみを自らのものとして、壮絶かつ清冽(せいれつ)な記録を綴った。末永く読み継がれるべきくいのちの文学>の新装版。

2004:7./ 416p

978-4-06-274815-5

本体 ¥690+税



朝日新聞 2017/10/22



福島第一原発1号機冷却「失敗の本質」(講談社現代新書 2443)

NHK スペシャル『メルトダウン』取材班 著

講談社

吉田所長の英断「海水注入」で原子炉に届いた水は、ほぼゼロだった! 1000 人以上の関係者取材と AI 解析結果で浮かび上がってきた、数々の「1 号機冷却失敗」の謎に迫る。

2017:9./ 284p

978-4-06-288443-3

本体 ¥840+税



朝日新聞 2017/10/22



青春の門<筑豊篇 1>(モーニング KC)

五木 寛之、いわしげ 孝 著

講談社

朝日新聞 2017/10/22

2005:3./ 212p

978-4-06-372420-2

本体 ¥514+税



雪国 改版(新潮文庫)

川端 康成 著

新潮社

親譲りの財産で、きままな生活を送る島村は、雪深い温泉町で芸者駒子と出会う。許婚者の療養費を作るため芸者になったという、駒子の一途な生き方に惹かれながらも、島村はゆきずりの愛以上のつながりを持とうとしない。冷たいほどにすんだ島村の心の鏡に映される駒子の烈しい情熱を、哀しくも美しく描く。ノーベル賞作家の美質が、完全な開花を見せた不朽の名作。

2006:5./ 208p

978-4-10-100101-2

本体 ¥360+税



朝日新聞 2017/10/22

**ガーブの世界<上巻>(新潮文庫)**

ジョン・アーヴィング 著

新潮社

巧みなストーリーテリングで、暴力と死に満ちた世界をコミカルに描く、現代アメリカ文学の旗手 J・アーヴィングの自伝的長編。

1988:10./ 446p

978-4-10-227301-2

本体 ¥710+税



朝日新聞 2017/10/22

**ガーブの世界<下巻>(新潮文庫)**

ジョン・アーヴィング 著

新潮社

巧みなストーリーテリングで、暴力と死に満ちた世界をコミカルに描く、現代アメリカ文学の旗手 J・アーヴィングの自伝的長編。

1988:10./ 489p

978-4-10-227302-9

本体 ¥750+税



朝日新聞 2017/10/22

**ホテル・ニューハンプシャー<上巻>(新潮文庫)**

ジョン・アーヴィング 著

新潮社

朝日新聞 2017/10/22

1989:10./ 427p

978-4-10-227303-6

本体 ¥710+税

**ホテル・ニューハンプシャー<下巻>(新潮文庫)**

ジョン・アーヴィング 著

新潮社

朝日新聞 2017/10/22

1989:10./ 412p

978-4-10-227304-3

本体 ¥710+税

**孤独のすすめ～人生後半の生き方～(中公新書ラクレ 585)**

五木 寛之 著

中央公論新社

愁いがくっきり見えてくるのが高齢期の特徴だが、その愁いを逆手にとって、それを楽しむ生き方もあるのではないか。「孤独」を楽しむ、「前向きに」の呪縛を捨てる、シフトダウンして生きる…。人生後半の生き方の手引書。

2017:7./ 181p

978-4-12-150585-9

本体 ¥740+税



朝日新聞 2017/10/22

**社会人のための現代アフリカ講義(東大塾)**

関谷 雄一 編

東京大学出版会

援助対象地域からビジネスパートナー地域へと変貌したアフリカの現在を、最新の研究動向を踏まえ、あらゆる角度から分析する。2015年に東京大学で開催した社会人向け連続講座「グレーター東大塾」を書籍化。

2017:9./ 8p,271p

978-4-13-033074-9

本体 ¥3,900+税



朝日新聞 2017/10/22



重力波は歌う～アインシュタイン最後の宿題に挑んだ科学者たち～(ハヤカワ文庫 NF 509)

ジェンナ・レヴィン、田沢 恭子、松井 信彦 著

早川書房

重力波の直接観測に初めて成功するという偉業の陰には、天才の試行錯誤があり、人と人の確執があり、ビッグサイエンスならではの政治的駆け引きがあった。重力波を追い求めた人々が織りなす人間ドラマの全貌を明かす。

朝日新聞 2017/10/22

2017:9./ 334p
978-4-15-050509-7
本体 ¥780+税



一九八四年 新訳版(ハヤカワ epi 文庫 53)

ジョージ・オーウェル 著

早川書房

〈ビッグ・ブラザー〉率いる党が支配する超全体主義的近未来。ウィンストン・スミスは真理省記録局に勤務する党員で、歴史の改竄が仕事だった。しかし彼は、以前より完璧な屈従を強いる体制に不満を抱いていた。

朝日新聞 2017/10/22

2009:6./ 511p
978-4-15-120053-3
本体 ¥860+税



サイダーハウス・ルール<上>(文春文庫)

ジョン・アーヴィング 著

文藝春秋

朝日新聞 2017/10/22

1996:7./ 532p
978-4-16-730964-0
本体 ¥728+税



サイダーハウス・ルール<下>(文春文庫)

ジョン・アーヴィング 著

文藝春秋

朝日新聞 2017/10/22

1996:7./ 526p
978-4-16-730965-7
本体 ¥728+税



復興百年誌～石碑が語る関東大震災～

武村 雅之 著

鹿島出版会

慰霊碑・記念碑に刻まれたのは災害の記録だけでない。奇跡の復興を成し遂げた地域住民たちの姿が生き生きと描かれている。神奈川県における現地調査をもとに、関東大震災復興百年の歴史を住民目線で明らかにする。

朝日新聞 2017/10/22

2017:9./ 294p
978-4-306-09448-2
本体 ¥3,400+税



2084 世界の終わり

ブアレム・サンサル、中村 佳子 著

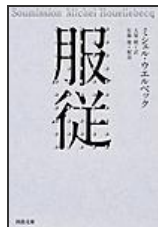
河出書房新社

すべてはまったくの?なのだ。偉大な神とその忠実な代理人を信奉する宗教国家アビスタン。自由と真実を求める2人の青年は秘密の旅に出る。「1984」「服従」のその先を描くディストピア小説。

朝日新聞 2017/10/22

2017:8./ 281p
978-4-309-20730-8
本体 ¥2,400+税





服従(河出文庫 ウ6-3)

ミシェル・ウエルベック 著

河出書房新社

2022 年仏大統領選で同時多発テロ。極右マリーヌ・ルペンと穏健イスラーム党首が決選に。世界の激動を予言した書。解説=佐藤優

朝日新聞 2017/10/22

2017:4./ 324p

978-4-309-46440-4

本体 ¥920+税



重力波とは何か～アインシュタインが奏でる宇宙からのメロディー～(幻冬舎新書 か-21-1)

川村 静児 著

幻冬舎

1916 年にアインシュタインが存在を予言した「重力波」が、2016 年、ついに観測された。人類永遠の謎「宇宙誕生の瞬間」に迫る可能性を秘めた「重力波天文学」の世界を、日本の重力波研究のフロントランナーが語る。

朝日新聞 2017/10/22

2016:9./ 196p

978-4-344-98426-4

本体 ¥780+税



言海(ちくま学芸文庫)

大槻 文彦 著

筑摩書房

朝日新聞 2017/10/22

2004:4./ 1,349p

978-4-480-08854-3

本体 ¥2,200+税



ビブリオ漫画文庫(ちくま文庫 や50-1)

山田 英生 編

筑摩書房

本がテーマの傑作漫画集。松本零士、水木しげる、楳図かずおら漫画界の巨匠たちが描く、本と古本をめぐる幻想怪奇譚をはじめ、山川直人「古本堂主人」、近藤ようこ「夢」など全 19 編を収録する。

朝日新聞 2017/10/22

2017:8./ 335p

978-4-480-43468-5

本体 ¥780+税



花びら供養

石牟礼 道子 著

平凡社

全集未収録のエッセイを中心に編む待望の1冊。3部構成で、個人的な書簡、短編小説など交えながら、水俣からのメッセージを伝える。

朝日新聞 2017/10/22

./ 294p

978-4-582-83764-3

本体 ¥2,500+税



日本人ときのこと(ヤマケイ新書 YS038)

岡村 稔久 著

山と溪谷社

なぜ人は、こんなにもきのこに魅了されるのか? 歴史書・説話集・日記・狂言・歌集・俳諧書・料理本・農業書・菌類図譜など、さまざまな分野の史料を通じて、日本人がきのこに親しんできた歴史をたどる。

朝日新聞 2017/10/22

./ 270p

978-4-635-51046-2

本体 ¥900+税





日本の最も美しい町～一度は訪れたい歴史と文化を今に伝える 119 の建築遺産群～

美しい町研究会 著

エクスナレッジ

日本全国の古くて美しい町並みが残るエリア“重要伝統的建造物群保存地区”。そのエリアとともに独自基準で選んだ全 119 カ所の美しい町並みを取り上げ、写真で紹介。町並みをかたちづくる建物の特徴をイラスト図解する。

朝日新聞 2017/10/22

./ 159p

978-4-7678-2336-2

本体 ¥1,800+税



国家がなぜ家族に干渉するのか～法案・政策の背後にあるもの～(青弓社ライブラリー 89)

本田 由紀、伊藤 公雄 著

青弓社

家族に関わる法律案や施策の現実化に向けての動きが、政府によって加速されている。家庭教育支援法案など個別の法案・制度の内実とその背景を詳細に分析する。2017 年 1 月開催のシンポジウムでの報告を中心にまとめる。

朝日新聞 2017/10/22

./ 172p

978-4-7872-3421-6

本体 ¥1,600+税



私の前衛短歌

永田 和宏 著

砂子屋書房

前衛短歌運動をリアルタイムで経験した最後の世代である著者が、これまでに書いてきた、前衛短歌に関する総論的なものや、前衛歌人論、彼らとの交流をつづったエッセイ的なものなどを、時系列にまとめる。

朝日新聞 2017/10/22

./ 319p

978-4-7904-1629-6

本体 ¥2,800+税



ゲノム解析は「私」の世界をどう変えるのか?～生命科学のテクノロジーによって生まれうる未来～

高橋 祥子 著

ディスカヴァー・トゥエンティワン

寿命がわかる? 体型は遺伝子で決まっている? 個人情報は大丈夫? 遺伝子操作につながるの? 第一線の研究者(東大博士)でもある注目の若手起業家・高橋祥子が、「生命科学で今何が起きているか?」を語る。

朝日新聞 2017/10/22

./ 231p

978-4-7993-2167-6

本体 ¥1,500+税



ブラックホールと時空の歪み～アインシュタインのとんでもない遺産～

キップ・S・ソーン 著

白揚社

何も抜け出せないのに蒸発していくブラックホール、時間が消滅し空間が泡になる特異点、謎に満ちたワームホール。宇宙物理学の最高権威が 15 年をかけて書き上げた現代宇宙論の決定版。全米ベストセラーの話題作。

朝日新聞 2017/10/22

./ 552p

978-4-8269-0077-5

本体 ¥5,500+税





差配さん

塩川 桐子 著

リイド社

江戸の人々の難題を機転で解決する「差配さん」は、とても人気もの。でも、実は猫なんです…。

朝日新聞 2017/10/22

./ 154p

978-4-8458-5121-8

本体 ¥830+税



言葉に命を〜ダーリの辞典ができるまで〜

ポルドミンスキイ、尾家 順子 著

群像社

「現用大ロシア語詳解辞典」全 4 巻を、ひとりで完成させた言葉の収集家ウラジーミル・ダーリ。言葉の意味や用法よりも、言葉そのものの深みと広がり伝える、独自の配列の辞書にたどりついたダーリの歩みを知る評伝。

朝日新聞 2017/10/22

./ 266p

978-4-903619-78-1

本体 ¥2,000+税



くすり・軟膏・毒物〜薬学の歴史〜

イヴァン・ブローアル、アクセル・カーン、日仏薬学会、日本薬史学会 著

薬事日報社

古代メソポタミアの時代から 20 世紀の現代までの、薬屋が薬剤師に至る歴史、素朴な治療薬が洗練された現代的な医薬品に変わりゆく歴史を解説。貴重な学術的・芸術的遺産である色鮮やかな絵画も多数掲載する。

朝日新聞 2017/10/22、毎日新聞 2017/10/22

./ 231p

978-4-8408-1408-9

本体 ¥5,000+税



淳子のてっぺん

唯川 恵 著

幻冬舎

2016 年 10 月に逝去した登山家・田部井淳子。男女差別が色濃い時代、女性として初めてエベレスト登頂に成功した彼女は、どのように生き、どのように山に魅入られたのか。“てっぺん”に至るまでの日々を描く、感動長篇。

朝日新聞 2017/10/27

2017:9./ 435p

978-4-344-03168-5

本体 ¥1,700+税



ひげじまん

こしだ ミカ 著

小学館

なが?いひげが自慢のおおなまず。住みなれた池を飛び出して、ひげじまんの旅にでた。行く先々で出会うひげじまんに勝負を挑むが…。予想もつかないラストが痛快な絵本。見返しに本文あり。

朝日新聞 2017/10/28

2017:10./ 1 冊(ページ付なし)

978-4-09-726744-7

本体 ¥1,400+税



オオカミを森へ(Sunnyside Books)

キャサリン・ランデル、ジェルレヴ・オンビーコ、原田 勝 著

小峰書店

ロシアの森深く、母親とオオカミたちと暮らす少女フェオ。ある日、残忍なラーコフ将軍が現れ、オオカミを保護した罪で母を連れ去ってしまう。少女はオオカミを連れ、元兵士の少年と共に、母を取り戻すため旅に出る。

朝日新聞 2017/10/28

2017:9./ 333p

978-4-338-28715-9

本体 ¥1,700+税





いっこさんこ

及川 賢治、竹内 繭子 著
文溪堂

「いっこ」のかぼちゃと、「さんこ」のかぼちゃ。「いっこ」の鳥の巣と、「さんこ」の鳥の巣…。いろいろな「いっこ」と「さんこ」で、数と言葉のリズムに触れてみよう。シンプルな言葉と色鮮やかな絵で、感性を育む絵本。

朝日新聞 2017/10/28

:/ [24p]

978-4-7999-0183-0

本体 ¥860+税



ゴースト

中島 京子 著
朝日新聞出版

鬱蒼とした原宿の館に出没する女の子、20 世紀を生き抜いたミシン、おじいちゃんの繰り返す謎の言葉、廃墟と化した台湾人留学生寮…。温かいユーモアに包まれた 7 つの幽霊連作集。『小説トリッパー』連載を加筆修正。

朝日新聞 2017/10/29

2017:8./ 219p

978-4-02-251483-7

本体 ¥1,400+税



くらしの昭和史～昭和のくらし博物館から～(朝日選書 962)

小泉 和子 著
朝日新聞出版

昭和は史上、くらしがもっとも充実した時代だった-。「昭和のくらし博物館」が行ってきた、17 年に及ぶ企画展示の成果をまとめ、敗戦から経済成長による奇跡の発展を遂げた昭和史の変化と画期を鮮やかに描き出す。

朝日新聞 2017/10/29

2017:8./ 8p,311p

978-4-02-263062-9

本体 ¥1,700+税



職業としての地下アイドル(朝日新書 631)

姫乃 たま 著
朝日新聞出版

テレビに出ないアイドル=地下アイドル。彼女たちを取り巻く経済や人間関係は、日本の社会問題の「縮図」である。現役地下アイドルでありライターでもある著者が、「身近な偶像」に群がるヒトとカネを赤裸々に明かす。

朝日新聞 2017/10/29

2017:9./ 269p

978-4-02-273731-1

本体 ¥780+税



黄昏のブッシャリオン(ガドカワ BOOKS M-ろ-2-1-1)

碌星 らせん、タカヤマ トシアキ 著
KADOKAWA

末法の世界で、採掘屋の 2 人ガンジーとクーカイは莫大なエネルギーを秘めた仏舎利を求めて荒野を走る。出会うのは、徳を生む少女、舍利ボーグ、ブッシャリオン…。荒唐無稽な事象に満ちた徳パンク SF が、今開幕!

朝日新聞 2017/10/29

2017:9./ 252p

978-4-04-072367-9

本体 ¥1,200+税



宗教改革の物語～近代、民族、国家の起源～

佐藤 優 著
KADOKAWA

近代、民族、国家、ナショナリズムの起源となった宗教改革。中世末期のボヘミアの宗教改革者ヤン・フスと、彼が活躍した 15 世紀のヨーロッパについて論じる。佐藤優が全精力を注いで、現代の危機の源泉に挑んだ大型論考。

朝日新聞 2017/10/29

2014:4./ 444p

978-4-04-110736-2

本体 ¥3,300+税





新編中原中也全集<第1巻> 詩(新編中原中也全集 1)

中原中也、大岡昇平 著

角川書店

朝日新聞 2017/10/29

2000:3./ 2冊

978-4-04-574001-5

本体 ¥7,800+税



ニンジャスレイヤー〜ネオサイタマ炎上〜<1>

ブラッドレー・ボンド／フィリップ・ニンジャ・モーゼズ 著

角川グループパブリッシング

ニンジャ抗争で妻子を殺され、自身も死の淵にあったフジキド・ケンジに、謎のニンジャソウルが憑依。一命をとりとめた彼は「ニンジャスレイヤー」となり、復讐の戦いに挑む!『ツイッター』で連載された翻訳小説を書籍化。

2012:10./ 458p

978-4-04-728331-2

本体 ¥1,200+税



朝日新聞 2017/10/29



攻殻機動隊<1>(ヤングマガジンKCDX)

士郎 正宗 著

講談社

朝日新聞 2017/10/29

1991:10./ 346p

978-4-06-313248-9

本体 ¥971+税



ブラックロッド(電撃文庫)

古橋 秀之 著

メディアワークス

朝日新聞 2017/10/29

1997:4./ 228p

978-4-07-306035-2

本体 ¥490+税



ART GALLERY〜テーマで見る世界の名画〜<1> ヴィーナス

集英社

世界の名画をテーマ別に編集した、まったく新しい美術全集。1 は、「ヴィーナス」というテーマに沿って選定した全 65 点について解説する。また、そのテーマがどのように描かれてきたのかを美術史的視点から考察する。

2017:9./ 99p

978-4-08-157071-3

本体 ¥5,000+税



朝日新聞 2017/10/29



ART GALLERY〜テーマで見る世界の名画〜<2> 肖像画

集英社

世界の名画をテーマ別に編集した、まったく新しい美術全集。2 は、「肖像画」というテーマに沿って選定した全 65 点について解説する。また、そのテーマがどのように描かれてきたのかを美術史的視点から考察する。

2017:9./ 99p

978-4-08-157072-0

本体 ¥5,000+税



朝日新聞 2017/10/29



さよなら、田中さん

鈴木 るりか 著

小学館

田中花実は小学 6 年生。ビンボーな母子家庭だけれど、底抜けに明るいたくましいお母さんと、毎日大笑い、大食らいで生きている…。母娘を中心とした日常の事件を、鮮やかな筆致で描いた連作短編集。全 5 編を収録。

2017:10./ 253p

978-4-09-386484-8

本体 ¥1,200+税



朝日新聞 2017/10/29



小太郎の左腕(小学館文庫 わ 10-3)

和田 竜 著

小学館

朝日新聞 2017/10/29

2011:9./ 381p

978-4-09-408642-3

本体 ¥657+税



* 9 7 8 4 0 9 4 0 8 6 4 2 3 *



アナログ

ビートたけし 著

新潮社

全てがデジタル化する世界で悟とみゆきが交わした、たったひとつの不器用な約束。素性も連絡先も知らないまま、なぜか強烈に惹かれあう 2 人の「アナログ」な関係が始まり…。誰かを大切にするとはい何かを問いかける恋愛小説。

2017:9./ 171p

978-4-10-381222-7

本体 ¥1,200+税



* 9 7 8 4 1 0 3 8 1 2 2 2 7 *

朝日新聞 2017/10/29



プロテスタンティズム～宗教改革から現代政治まで～(中公新書 2423)

深井 智朗 著

中央公論新社

宗教改革からはじまったプロテスタンティズムは世界に広まる中で、政治や文化にも大きな強い影響を及ぼしている。プロテスタンティズムについて歴史的背景とともに解説し、その内実を明らかにする。

2017:3./ 9p,221p

978-4-12-102423-7

本体 ¥800+税



* 9 7 8 4 1 2 1 0 2 4 2 3 7 *

朝日新聞 2017/10/29



ニューロマンサー(ハヤカワ文庫)

ウィリアム・ギブソン、黒丸尚 著

早川書房

朝日新聞 2017/10/29

1986:7./ 523p

978-4-15-010672-0

本体 ¥960+税



* 9 7 8 4 1 5 0 1 0 6 7 2 0 *



パインズ～美しい地獄～(ハヤカワ文庫 NV 1303)

ブレイク・クラウチ、東野 さやか 著

早川書房

川沿いの芝生で目覚めた男。病院で記憶が回復し、みずからが捜査官だと思い出した男は、町の保安官や住民に助けを求めた。だが、この美しい町パインズはどこか狂っていた。住民は男が町から出ようとするのを執拗に阻み…。

2014:3./ 439p

978-4-15-041303-3

本体 ¥900+税



* 9 7 8 4 1 5 0 4 1 3 0 3 3 *

朝日新聞 2017/10/29



ウェイワード～背反者たち～(ハヤカワ文庫 NV 1334)

ブレイク・クラウチ 著

早川書房

山間にたたずむ小さな町、ウェイワード・パインズで初めての殺人事件が起こる。保安官イーサンが捜査を始めると、そこには被害者の意外な正体と偽りの町に潜む闇が浮かびあがり…。「パインズ」の続篇。

2015:3./ 504p

978-4-15-041334-7

本体 ¥980+税



* 9 7 8 4 1 5 0 4 1 3 3 4 7 *

朝日新聞 2017/10/29



ラスト・タウン〜神の怒り〜(ハヤカワ文庫 NV 1354)

ブレイク・クラウチ、東野 さやか 著
早川書房

町を外界と隔てるゲートが開け放たれた。異形の生き物が群れをなしてなだれ込み、人びとに襲いかかる。イーサンは住民を組織して、怪物や町の創設者に立ち向かうが…。「パインズ」「ウェイワード」に続く三部作の完結篇。

朝日新聞 2017/10/29

2015:8./ 443p
978-4-15-041354-5
本体 ¥980+税



ダーク・マター(ハヤカワ文庫 NV 1419)

ブレイク・クラウチ、東野 さやか 著
早川書房

二流大学で量子力学を教えるジェイソンは、愛妻と息子と幸せな日々を過ごしていた。だが、謎の能面男に暴行され、気絶してから人生が一変、わが家はなくなり、人気科学者としてもはやされる身に…。これまでの人生はどこへ？

朝日新聞 2017/10/29

2017:10./ 518p
978-4-15-041419-1
本体 ¥1,100+税



パリに終わりはこない

エンリーケ・ビラ=マタス、木村 榮一 著
河出書房新社

ヘミングウェイを夢見てパリで作家修業をする「私」は、マルグリット・デュラスの家に下宿しながら処女作を書きあぐねる。現代世界文学の最前衛作家の修業時代をめぐる、パリ文学地図=小説。

朝日新聞 2017/10/29

2017:8./ 299p
978-4-309-20731-5
本体 ¥2,400+税



幽霊ランナー

岡田 潤 著
金の星社

マラソン大会を3年連続棄権した優。その3回目の大会直後に会った先輩の指導で、優は本格的な走法を身につけていく。そして4度目の大会がやってくる。異世界と現実のシンクロから生まれる、心ゆさぶる物語。

朝日新聞 2017/10/29

2017:8./ 205p
978-4-323-07398-9
本体 ¥1,300+税



宗教の見方〜人はなぜ信じるのか〜

宇都宮 輝夫 著
勁草書房

宗教とは何か、なぜ人は宗教を信じるのか、宗教を信じてどうなるのか。根源的な問いを非宗教的な態度で論じる、新しい宗教学。

朝日新聞 2017/10/29

2012:9./ 7p,244p
978-4-326-10220-4
本体 ¥2,400+税



夜哭烏〜長編時代小説書下ろし〜(祥伝社文庫 い 27-2)

今村 翔吾 著
祥伝社

「八咫烏」の異名を取り、江戸一番の火消加賀鳶を率いる大音勘九郎を非道な畏が襲う。羽州「ぼろ鳶」組は、何者かに標的にされた大音一家を救い、卑劣な敵を止めるため果敢に出張るが…。

朝日新聞 2017/10/29

2017:7./ 372p
978-4-396-34337-8
本体 ¥680+税





丹羽宇一郎 戦争の大問題～それでも戦争を選ぶのか。～

丹羽 宇一郎 著

東洋経済新報社

死亡率 79%のフィリピンから生還した元少年通信兵、元海上自衛隊潜水艦艦長...。元中国大使の著者が、戦争体験者、軍事専門家に聞いてわかった教科書では学べない戦争の真実を綴る。

./ 285p

978-4-492-21234-9

本体 ¥1,500+税



朝日新聞 2017/10/29



ギガマネー 巨大資金の闇～富の支配者たちを狙え～

太田 康夫 著

日本経済新聞出版社

世界の全資産の 45%を支配している富裕層。その資金の知られざる実態を明らかにし、それを取り込もうとするメガバンクなど有力金融機関の戦略、不法な資金隠しを追う規制の動きを解説する。

./ 258p

978-4-532-35739-9

本体 ¥1,800+税



朝日新聞 2017/10/29



大人のための社会科～未来を語るために～

井手 英策、宇野 重規、坂井 豊貴、松沢 裕作 著

有斐閣

GDP、多数決、公正、希望...。気鋭の社会学者が、日本の社会を形づくっている 12 のキーワードを取り上げ、それぞれの意味を根底から吟味。日本社会の「いま」と「これから」を見通す、共通のプラットフォームを提供する。

./ 11p,232p,6p

978-4-641-14920-5

本体 ¥1,500+税



朝日新聞 2017/10/29



旅の民俗シリーズ<第1巻> 生きる

旅の文化研究所 編

現代書館

人はなぜ旅をするのか? 様々な分野で活躍する研究者が、記録や体験者の記憶を収集し、社会変化などを実態的に捉えた、新たな「旅行史」。第1巻は、「行商人の旅」「出稼ぎの旅」「漂泊の民サンカ」など全6編を収録。

./ 251p

978-4-7684-5815-0

本体 ¥2,300+税



朝日新聞 2017/10/29



旅の民俗シリーズ<第2巻> 寿ぐ

旅の文化研究所 編

現代書館

人はなぜ旅をするのか? 様々な分野で活躍する研究者が、記録や体験者の記憶を収集し、社会変化などを実態的に捉えた、新たな「旅行史」。第2巻は、「聖の旅」「七代目市川團十郎の旅」「女相撲の旅」など全6編を収録。

./ 251p

978-4-7684-5816-7

本体 ¥2,300+税



朝日新聞 2017/10/29



旅の民俗シリーズ<第3巻> 楽しむ

旅の文化研究所 編

現代書館

人はなぜ旅をするのか? 様々な分野で活躍する研究者が、記録や体験者の記憶を収集し、社会変化などを実態的に捉えた、新たな「旅行史」。第3巻は「自然を愛でる」「探検と冒険」「旅とセクシュアリティ」など全6編を収録。

./ 251p

978-4-7684-5817-4

本体 ¥2,300+税



朝日新聞 2017/10/29



一句頂一万句

劉 震雲、水野 衛子 著
彩流社

70年の歳月を隔てた前後篇「出延津記」「回延津記」からなる大河ドラマ。「中国人の「千年の孤独」を描いている」と評され、中国で最も権威ある文学賞のひとつである茅盾文学賞を受賞した、著者最大の代表作。

朝日新聞 2017/10/29

./ 581p
978-4-7791-2381-8
本体 ¥2,800+税



吹奏楽の神様屋比久勲を見つめて～叱らぬ先生の出会いと軌跡～

山崎 正彦 著
スタイルノート

賞をとることよりも、美しい音楽を演奏することが最優先。叱らぬ指導で短期間に優秀な成績を次々と生み出している音楽教師・屋比久勲。その人柄に魅せられた著者が、5年にわたって屋比久を追ったドキュメント。

朝日新聞 2017/10/29

./ 190p
978-4-7998-0163-5
本体 ¥2,000+税



日本ナショナリズムの歴史<1>「神国思想」の展開と明治維新

梅田 正己 著
高文研

「神権天皇制」を軸とした「日本のナショナリズム」の源流から形成・確立期、崩壊、そして復活までの全過程を系統的に明らかにする。1には、「国学」が描く日本像と天皇像「摂関政治と院政時代の天皇」等を収録。

朝日新聞 2017/10/29

./ 368p
978-4-87498-621-9
本体 ¥2,800+税



日本ナショナリズムの歴史<2>「神権天皇制」の確立と帝国主義への道

梅田 正己 著
高文研

「神権天皇制」を軸とした「日本のナショナリズム」の源流から形成・確立期、崩壊、そして復活までの全過程を系統的に明らかにする。2には、「新しい天皇像の創出と廃藩置県」「福沢「天皇制論」成立の軌跡」等を収録。

朝日新聞 2017/10/29

./ 311p
978-4-87498-622-6
本体 ¥2,800+税



中原中也～沈黙の音楽～(岩波新書 新赤版 1673)

佐々木 幹郎 著
岩波書店

詩人であることの幸福と不幸。近代日本を代表する詩人・中原中也の、自らへの自負と揶揄、表現者としての存在の不安がみなぎる作品の数々は、どこからきたのか。詩人でもある著者が、新発見資料から作品誕生の瞬間を読み解く。

朝日新聞 2017/10/29、読売新聞 2017/10/29

2017.8./ 5p,283p,6p
978-4-00-431673-2
本体 ¥900+税



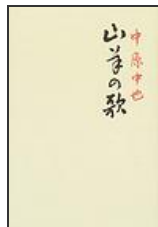
在りし日の歌～中原中也詩集～(角川文庫クラシックス)

中原 中也、佐々木 幹郎 著
角川書店

朝日新聞 2017/10/29、読売新聞 2017/10/29

1997.6./ 252p
978-4-04-117103-5
本体 ¥476+税





山羊の歌

中原 中也 著
日本図書センター

汚れつちまつた悲しみに／今日も小雪の降りかかる／汚れつちまつた悲しみに
／今日も風さえ吹きすぎる 感動を呼ぶ孤独な魂の告白。夭折の天才詩人・中原
中也の第一詩集。初版のデザインを模した装丁で再刊。

./ 166p
978-4-8205-1995-9
本体 ¥2,200+税



朝日新聞 2017/10/29、読売新聞 2017/10/29



いくさの底

古処 誠二 著
KADOKAWA

第二次世界大戦中期、戡定後のビルマの村に警備隊として配属された賀川少尉
一隊。だが、駐屯当日の夜、少尉が殺される。私怨か、内紛か-疑心暗鬼に陥り、
村は分断を余儀なくされていく。『小説すばる』掲載を加筆修正。

2017:8./ 203p
978-4-04-106175-6
本体 ¥1,600+税



東京・中日新聞 2017/10/01



ポピュリズムと「民意」の政治学〜3・11 以後の民主主義〜

木下 ちがや 著
大月書店

この 10 年の政治過程と、3・11 以後の 6 年余りの時間において、数多くの人々が
参与した「進歩と反動」の格闘の力学を描き出す。『現代思想』誌に発表した論文
を中心に単行本化。

2017:7./ 268p
978-4-272-21117-3
本体 ¥2,400+税



東京・中日新聞 2017/10/01



読むオペラ〜聴く前に、聴いたあとで〜(オルフェ・ライブラリー)

堀内 修 著
音楽之友社

歌手が変わり、演出が変わり、上演が変わり、オペラの聴き方・観方も変わった。
世界で日本で人気の 50 作品を取り上げ、上演データやストーリーなどの基本デ
ータを添えて、読み物風に紹介する。『音楽の友』連載に加筆修正。

2017:6./ 221p
978-4-276-37111-8
本体 ¥2,200+税



東京・中日新聞 2017/10/01



少子高齢化時代の私鉄サバイバル〜「選ばれる沿線」になるには〜(交通新聞社新書 113)

森 彰英 著
交通新聞社

世情の大きな変化を受け、事業スタイルの変革を迫られる私鉄。取材歴 30 年以
上のベテラン私鉄ウォッチャーが、定住化促進、子育て支援、学校誘致、宅地開
発といった私鉄沿線の「まちづくり」現場を歩き、その将来像を探る。

2017:8./ 239p
978-4-330-82017-0
本体 ¥800+税



東京・中日新聞 2017/10/01



ブッダの毒舌〜逆境を乗り越える言葉〜

平野 純 著
芸術新聞社

癒されない、慰められない、痛いところを突きまくる。でもクセになる…。人間ブッダ
のナマの人生観を伝える“容赦ない”名言集。逆境を突破し得た者のみが発せら
れる、迫力ある言葉の数々を収録する。

./ 158p
978-4-87586-530-8
本体 ¥1,300+税



東京・中日新聞 2017/10/01



夢と幽霊の書

アンドルー・ラング、ないとう ふみこ 著

作品社

コナン・ドイルらが所属した心霊現象研究協会会長による幽霊譚の古典であり、ロンドン留学中の夏目漱石が愛読し、短篇「琴のそら音」の着想を得た名著を本邦初訳。怪異にまつわる古今東西の実話や伝説が満載。

./ 303p

978-4-86182-650-4

本体 ¥2,400+税



東京・中日新聞 2017/10/01、産経新聞 2017/10/15、読売新聞 2017/10/15



一遍 捨聖の思想(平凡社新書 851)

桜井 哲夫 著

平凡社

中世に巨大な影響力をもった時衆と一遍の思想。その本体を浄土教の歴史の中に位置づけて探る。信をも捨てて念仏へと向かう他力思想。

./ 255p

978-4-582-85851-8

本体 ¥860+税



東京・中日新聞 2017/10/08



蔵書一代〜なぜ蔵書は増え、そして散逸するのか〜

紀田 順一郎 著

松籟社

やむをえない事情から 3 万冊超の蔵書を手放した著者。自らの半身をもぎとられたような痛恨の蔵書処分を契機に、近代日本の出版史・読書文化を振り返りながら、「蔵書」の意義と可能性、その限界を探る。

./ 206p

978-4-87984-357-9

本体 ¥1,800+税



東京・中日新聞 2017/10/08



神秘大通り<上>

ジョン・アーヴィング、小竹 由美子 著

新潮社

人生は衝突コース——道連れは、怪しく美しい美人母娘。メキシコのゴミ捨て場育ちの作家の過去への旅。巨匠アーヴィング、最新長篇！

2017:7./ 406p

978-4-10-519117-7

本体 ¥2,300+税



東京・中日新聞 2017/10/08、産経新聞 2017/10/22、朝日新聞 2017/10/22



神秘大通り<下>

ジョン・アーヴィング、小竹 由美子 著

新潮社

人生は衝突コース——道連れは、怪しく美しい美人母娘。メキシコのゴミ捨て場育ちの作家の過去への旅。巨匠アーヴィング、最新長篇！

2017:7./ 399p

978-4-10-519118-4

本体 ¥2,300+税



東京・中日新聞 2017/10/08、産経新聞 2017/10/22、朝日新聞 2017/10/22



墨の香

梶 よう子 著

幻冬舎

江戸時代後期。嫁ぎ先から理由もなく離縁され、心機一転、筆法指南所(書道教室)を始めた女流書家・岡島雪江。ある日、元夫の森高章一郎が「ある事件」に巻き込まれたことを知り…。『GINGER L.』連載に加筆・修正。

2017:9./ 294p

978-4-344-03177-7

本体 ¥1,700+税



東京・中日新聞 2017/10/15



西郷隆盛～人を相手にせず、天を相手にせよ～(ミネルヴァ日本評伝選)

家近 良樹 著

ミネルヴァ書房

戊辰戦争に勝利するも、新政府で征韓論争に敗れて下野し、郷里で西南戦争の総指揮官に担がれた西郷隆盛。明治維新を成し遂げた英雄とされる一方、多面的な顔をもつその特性と素顔を、主として一次史料に基づいて解明する。

東京・中日新聞 2017/10/15

:/ 23p,567p,12p

978-4-623-08097-7

本体 ¥4,000+税



暴政～20 世紀の歴史に学ぶ 20 のレッスン～

ティモシー・スナイダー、池田 年穂 著

慶應義塾大学出版会

付度による服従はするな。武器を携行するに際しては思慮深くあれ。危険な言葉には耳をそばだてよ…。気鋭の歴史家ティモシー・スナイダーが、現在、世界に台頭する圧政の指導者に正しく抗うための 20 の方法をガイドする。

東京・中日新聞 2017/10/15

:/ 141p

978-4-7664-2438-6

本体 ¥1,200+税



良いテロリストのための教科書

外山 恒一 著

青林堂

ファンスト外山恒一が、近年の“右傾化した若者たち”を主要読者に想定し、左翼とは何か、左翼は何を考えているのかを、初歩から分かりやすく、本質的かつディープに解説する。

東京・中日新聞 2017/10/15

:/ 217p

978-4-7926-0603-9

本体 ¥1,200+税



松本清張の葉脈

南 富鎮 著

春風社

清張文学を一本の樹になぞらえ、主要な特徴を提示する。葉脈とは清張が好んで使う用語で、点と点をつなぐ線(葉脈)の意味にもなる。

東京・中日新聞 2017/10/15

:/ 370p,4p

978-4-86110-557-9

本体 ¥2,700+税



勿体なや祖師は紙衣の九十年～大谷句仏～(中公叢書)

山折 哲雄 著

中央公論新社

東本願寺第二十三世法主・大谷光演(句仏)は、なぜ俳諧の道を歩むことになったのか。その旺盛な句作活動や、虚子に宛てた書簡等を手がかりに、祖師・親鸞から芭蕉へ、そして句仏へといたる日本精神史の新たな水脈をさぐる。

東京・中日新聞 2017/10/22

2017:9./ 220p

978-4-12-004998-9

本体 ¥1,600+税



回遊人

吉村 萬壺 著

徳間書店

妻子とのやり取りに行き詰まりを感じて出奔した男は、たどり着いたドヤ街で小さな白い錠剤を見つける。死を覚悟してそれを飲むが、目覚めるとそこは 10 年前、結婚前の世界だった。人生を選べる幸せを、男は?み締めるが…。

東京・中日新聞 2017/10/22

2017:9./ 222p

978-4-19-864472-7

本体 ¥1,700+税





兵農分離はあったのか(中世から近世へ)

平井 上総 著

平凡社

中世から近世への社会転換を示す重要要素とされる「兵農分離」。いま、この概念の存在自体が揺らいでいる。時代の変化はどのように訪れるのか。最新の研究成果から、兵農分離の実態に迫る。

./ 309p

978-4-582-47734-4

本体 ¥1,700+税



東京・中日新聞 2017/10/29



戦争育ちの放埒病(銀河叢書)

色川 武大 著

幻戯書房

落伍しないだけだってめっけものだ-。昭和を追うように逝った無頼派作家・色川武大が発表した随筆から、全集および単行本未収録のものを集めた作品集。「転居」「敗戦時の上野」「王子電車」「映画病」など全 86 篇収載。

./ 411p

978-4-86488-129-6

本体 ¥4,200+税



東京・中日新聞 2017/10/29



あゝ、荒野(角川文庫)

寺山 修司 著

角川書店

60 年代の新宿。家出してボクサーになった“バリカン”こと仁木健二と、ライバル新宿新次との青春を軸に、セックス好きの曽根芳子ら多彩な人物を配して繰り広げられる、ネオンの荒野の人間模様。

2009:2./ 363p

978-4-04-131533-0

本体 ¥640+税



読売新聞 2017/10/01



デザインの仕事

寄藤 文平、木村 俊介 著

講談社

好きなことを仕事にするってどういうこと？ 広告から装丁まで、様々な形で活躍するグラフィックデザイナー・寄藤文平。絵を描き始めた子供時代から現在まで、仕事にまつわる経験や考え方を聞き書きの形で伝える。

2017:7./ 201p

978-4-06-220662-4

本体 ¥1,300+税



読売新聞 2017/10/01



カラスヤサトシの日本文学紀行

カラスヤ サトシ 著

講談社

田山花袋が見た車窓の景色、元祖魔性の女・山田順子…。明治・大正・昭和の文士と漫画で出会う日本文学トリップ。日本に「かつてあった世界」をユーモラスに案内する。『小説現代』等掲載を単行本化。本体表紙に漫画あり。

2017:9./ 206p

978-4-06-220753-9

本体 ¥1,200+税



読売新聞 2017/10/01



男おいどん<6>(講談社漫画文庫)

松本零士 著

講談社

読売新聞 2017/10/01

1996:12./ 341p

978-4-06-260291-4

本体 ¥600+税





ピアノの名曲～聴きどころ弾きどころ～(講談社現代新書 2446)

イリーナ・メジューエワ 著

講談社

音楽鑑賞の楽しみが倍增する、クラシック音楽の入門書。代表的なピアノの名曲を取り上げ、プロにしかわからない視点から平易に解説する。アマチュアピアニストへのヒントも満載。

2017:9./ 344p

978-4-06-288446-4

本体 ¥900+税



読売新聞 2017/10/01



十五歳の戦争～陸軍幼年学校「最後の生徒」～(集英社新書 0895)

西村 京太郎 著

集英社

昭和20年、私は陸軍エリート養成機関にいた。「本土決戦になったら、楯になれ」という命令に覚悟を決めて…。戦中派のベストセラー作家が自身の来歴について、初めて書き下ろした自伝的ノンフィクション。

2017:8./ 249p

978-4-08-720895-5

本体 ¥760+税



読売新聞 2017/10/01



あのころのパラオをさがして～日本統治下の南洋を生きた人々～

寺尾 紗穂 著

集英社

日本統治時代のパラオや南洋を知るお年寄りを訪ねて、当時のエピソードを収集する歴史ルポルタージュ。植民地支配の歴史を、そこに暮らした日本人移民と現地島民の「日常」の視点から描き出す。

2017:8./ 219p

978-4-08-771117-2

本体 ¥1,700+税



読売新聞 2017/10/01



太陽の季節 改版(新潮文庫)

石原 慎太郎 著

新潮社

読売新聞 2017/10/01

2010:12./ 349p

978-4-10-111901-4

本体 ¥550+税



南方熊楠菌類図譜

南方 熊楠、萩原 博光、ワタリウム美術館 著

新潮社

鬼才にして奇人、世界にその名を知られた博物学者が、熊野の森で40年間をかけて描き続けた執念のライフワークから120枚を厳選し、「菌類図譜」研究の第一人者、国立科学博物館の萩原博光博士の解説とともに収録。

2007:9./ 135p

978-4-10-305551-8

本体 ¥3,800+税



読売新聞 2017/10/01



軍旗はためく下に 改版(中公文庫)

結城 昌治 著

中央公論新社

読売新聞 2017/10/01

2006:7./ 278p

978-4-12-204715-0

本体 ¥952+税





言わなければよかったのに日記 改版(中公文庫 ふ 2-8)

深沢 七郎 著

中央公論新社

正宗白鳥、武田泰淳、井伏鱒二ら、畏敬する作家たちとの奇妙でおかしな交流を綴る抱腹絶倒の文壇登場日記。他に「思い出の記」「十五のポルカ」を収める。武田百合子との単行本未収録対談を掲載。

2017:8./ 289p

978-4-12-206443-0

本体 ¥740+税



読売新聞 2017/10/01



いきどまり鉄道の旅(河出文庫 き 10-1)

北尾 トロ 著

河出書房新社

わたらせ渓谷鐵道、大井川鐵道、東武佐野線…。線路はつづかないよ、どこまでも。目的なんか無いけれど、とりあえず行っただけ行ってみた「いきどまり駅」への鐵道紀行。

2017:8./ 278p

978-4-309-41559-8

本体 ¥780+税



読売新聞 2017/10/01



ユダヤ人の起源～歴史はどのように創作されたのか～(ちくま学芸文庫 サ 38-1)

シュロモー・サンド 著

筑摩書房

〈ユダヤ人〉はいかなる経緯をもって成立したのか。歴史記述の精緻な検証によって実像に迫り、そのアイデンティティを根本から問う画期的歴史試論。

2017:7./ 609p,42p

978-4-480-09799-6

本体 ¥1,800+税



読売新聞 2017/10/01



ブラック・フラッグス～「イスラム国」台頭の軌跡～<上>

ジョビー・ウォリック、伊藤 真 著

白水社

ザルカウィの生い立ちからバグダディのカリフ制宣言まで、IS の変遷と拡大の背景を、人物像に焦点を当てて描いたピューリッツァー賞受賞作。

./ 255p,5p

978-4-560-09561-4

本体 ¥2,300+税



読売新聞 2017/10/01



ブラック・フラッグス～「イスラム国」台頭の軌跡～<下>

ジョビー・ウォリック、伊藤 真 著

白水社

ザルカウィの生い立ちからバグダディのカリフ制宣言まで、IS の変遷と拡大の背景を、人物像に焦点を当てて描いたピューリッツァー賞受賞作。

./ 264p,6p

978-4-560-09562-1

本体 ¥2,300+税



読売新聞 2017/10/01



デザイン歴史百科図鑑

エリザベス・ウィルハイド 編

角 敦子 著

原書房

工業生産の黎明期から現在にいたるまで、世界中のデザインの重要な鍵となる発展や運動とそれにかかわった人々をとりあげた歴史百科図鑑。年代順の構成で、主要な作品とデザインに関する画期的な出来事を写真とともに解説する。

./ 576p

978-4-562-05415-2

本体 ¥8,000+税



読売新聞 2017/10/01



「米中経済戦争」の内実を読み解く(PHP 新書 1105)

津上 俊哉 著

PHP研究所

中国経済の的確な見立てに定評のある著者が、「中国は「経済核爆弾」を使えない」などの見通しをもとに米中の今後を読み解く。90年代の日本と似た状況にある中国経済、中央財政赤字の急増など、中国経済の今も分析する。

./ 248p

978-4-569-83651-5

本体 ¥860+税



読売新聞 2017/10/01



軍法会議のない「軍隊」～自衛隊に軍法会議は不要か～

霞 信彦 著

慶應義塾大学出版会

はたして我々は軍法会議、軍の司法制度の正確な知識をもっているだろうか？憲法改正が議論される現在にこそ、軍の司法制度に関する、偏ることのない客観的かつ正確な情報を提示し、軍と司法の関係を問う。

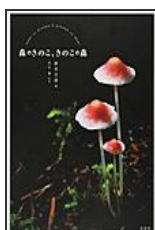
./ 3p,184p

978-4-7664-2453-9

本体 ¥1,800+税



読売新聞 2017/10/01



森のきのこ、きのこの森

新井 文彦、白水 貴 著

玄光社

北海道・阿寒の原生林、あるいは東北地方の白神山地のブナ原生林で、著者が出会ったきのこたちの姿を、そのきのこたちが生きている素晴らしい環境を含めて紹介する。きのこガイド付き。

./ 141p

978-4-7683-0781-6

本体 ¥2,000+税



読売新聞 2017/10/01



分裂と統合の日本政治～統治機構改革と政党システムの変容～

砂原 庸介 著

千倉書房

選挙制度改革と地方分権という政治改革によって、今日の閉塞感漂う政治不信の要因となっていることを明らかにする。

./ 204p

978-4-8051-1112-3

本体 ¥3,600+税



読売新聞 2017/10/01



苔とあるく

田中 美穂、伊沢 正名 著

WAVE出版

すぐ、そばにある、きれいでおもしろいもの...それは、苔!「苔好きの古本屋さん」が、苔の観察方法を写真を交えて丁寧に紹介。ルーペひとつで、お金もかけず、「いつもとはちょっと違う世界」を覗いてみませんか。

./ 135p

978-4-87290-320-1

本体 ¥1,600+税



読売新聞 2017/10/01



きのこ漫画名作選(テキスト)

飯沢耕太郎 著

Pヴァイン

読売新聞 2017/10/01

./

978-4-907276-59-1

本体 ¥3,200+税





『写真週報』とその時代<上> 戦時日本の国民生活

玉井 清 著

慶應義塾大学出版会

昭和 13 年 2 月?昭和 20 年 7 月に発行された国策グラフ雑誌『写真週報』の画像を紹介しつつ、そこから読み取れる当時の政策、国民の生活や意識を立体的に描き出す。上は、国民生活を中心に構成する。

:/ 12p,353p

978-4-7664-2435-5

本体 ¥3,400+税



読売新聞 2017/10/01、朝日新聞 2017/10/08



『写真週報』とその時代<下> 戦時日本の国防・対外意識

玉井 清 著

慶應義塾大学出版会

昭和 13 年 2 月?昭和 20 年 7 月に発行された国策グラフ雑誌『写真週報』の画像を紹介しつつ、そこから読み取れる当時の政策、国民の生活や意識を立体的に描き出す。下は、国防・対外意識を中心に構成する。

:/ 11p,359p

978-4-7664-2436-2

本体 ¥3,400+税



読売新聞 2017/10/01、朝日新聞 2017/10/08



その日の後刻に

グレイス・ペイリー、村上 春樹 著

文藝春秋

アメリカ文学シーンのカリスマ的存在として現在も尊敬を集める作家の最後の短篇集を村上春樹が翻訳。「庭の中で」「物語を聴く人」など全 17 篇のほか、エッセイ、貴重なロングインタビューも併録する。

2017:8./ 338p

978-4-16-390703-1

本体 ¥1,850+税



読売新聞 2017/10/01、毎日新聞 2017/10/08



秋田實笑いの変遷

藤田 富美恵 著

中央公論新社

左翼活動や小説家からの転進…。新資料により戦前・戦中・戦後の活動が明らかに。「萬歳」から「漫才」に昇華させた上方漫才の父・秋田實の生涯を、長女が回想・活写する決定版評伝。

2017:9./ 285p

978-4-12-005001-5

本体 ¥1,850+税



読売新聞 2017/10/01、毎日新聞 2017/10/15



21 世紀の民俗学

畑中 章宏 著

KADOKAWA

自撮り棒、宇宙葬、ホメオパシー、アニメ聖地巡礼…。最新テクノロジーが神仏・祭り・習俗と絡みあう新世紀のリアルとは? 21 世紀に起こった事象を民俗学を切り口に読み解く。『WIRED.jp』連載をもとに書籍化。

2017:7./ 238p

978-4-04-400205-3

本体 ¥1,800+税



読売新聞 2017/10/01、毎日新聞 2017/10/22



13・67

陳 浩基、天野 健太郎 著

文藝春秋

“天眼”と呼ばれた香港警察きつての名刑事クワンと愛弟子のロー。雨傘革命前夜の 2013 年から反英暴動が勃発した 1967 年へ。名刑事の事件簿と香港現代史の闇を逆年代記で描く。

2017:9./ 493p

978-4-16-390715-4

本体 ¥1,850+税



読売新聞 2017/10/01、毎日新聞 2017/10/29



日本の歴史を旅する(岩波新書 新赤版 1676)

五味 文彦 著

岩波書店

日本各地には遺跡や文化財をはじめ、歌や祭、食など、その地に営まれる生活の諸側面に、長く育まれてきた<地域の力>が息づいている。歴史家が地方を訪ねる旅の中で出会い、見た歴史の足跡を追う。

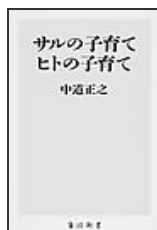
2017:9./ 7p,248p

978-4-00-431676-3

本体 ¥860+税



読売新聞 2017/10/08



サルの子育てヒトの子育て(角川新書 K-150)

中道 正之 著

KADOKAWA

赤ん坊が母にしがみつく行動は、霊長類が生き残るためにとても大事な行動であり、能力である。進化の隣人を通して、人間の親子関係を考える。サル研究 40年、日本霊長類学会会長による、子育て「抱っこ」論。

2017:8./ 280p

978-4-04-082131-3

本体 ¥820+税



読売新聞 2017/10/08



拡大自殺〜大量殺人・自爆テロ・無理心中〜(角川選書 590)

片田 珠美 著

KADOKAWA

大量殺人、自爆テロ、無理心中…。これらに通じるのが絶望感と復讐心である。強い自殺願望に突き動かされ、誰かを道連れにせずにはいられない拡大自殺の根底に潜む病理を分析する。

2017:8./ 211p

978-4-04-105165-8

本体 ¥1,700+税



読売新聞 2017/10/08



昭和と師弟愛〜植木等と歩いた 43 年〜

小松 政夫 著

KADOKAWA

運転手兼付き人から始まり、43 年にも及んだ植木等との師弟関係。今年 75 歳を迎えた小松政夫が、テレビ黎明期のきらびやかな芸能界の話を交えつつ、“親父”と呼んだ植木等の思い出を語り尽くす。

2017:9./ 222p

978-4-04-893350-6

本体 ¥1,400+税



読売新聞 2017/10/08



江戸しぐさの正体〜教育をむしばむ偽りの伝統〜(星海社新書 52)

原田 実 著

星海社

「江戸しぐさ」とは、現実逃避から生まれた架空の伝統であり、実際の江戸時代の風俗からかけ離れたものである。教育現場で道德教育の教材として用いられるまでになった「江戸しぐさ」を徹底検証し、その正体を見極める。

2014:8./ 222p

978-4-06-138555-9

本体 ¥820+税



読売新聞 2017/10/08



戦いすんで日が暮れて(講談社文庫 さ6-5)

佐藤 愛子 著

講談社

ボンクラ亭主が拵えた山のような借金。妻はそれを肩代わりして、憤りに燃えながらも休む間もなく奮闘する。表題作のほか、「ひとりぼっちの女史」「田所女史の悲恋」など全 8 篇を収録。

2017:9./ 292p

978-4-06-293773-3

本体 ¥640+税



読売新聞 2017/10/08



遮那王義経源平の合戦<29>(講談社コミックス KCGM1473)

沢田 ひろふみ 著

講談社

時は平安時代末。旅芸人の少年・漂太は自分と外見が瓜二つの牛若丸(源義経)の身代わりを依頼された。二人をめぐる数奇な運命、ついに終幕!!

読売新聞 2017/10/08

2015:6./ 243p

978-4-06-371473-9

本体 ¥480+税



産霊山(むすびのやま)秘録(集英社文庫)

半村 良 著

集英社

読売新聞 2017/10/08

2005:11./ 518p

978-4-08-747887-7

本体 ¥781+税



教場<2>

長岡 弘樹 著

小学館

“退校”宣告から執行までのタイムリミットは 1 週間。風間教場に編入された不運を呪いながら、己と闘え! スリリングにしてミステリアスな“警察学校”小説。『STORY BOX』掲載に大幅な加筆改稿を行い単行本化。

読売新聞 2017/10/08

2016:2./ 254p

978-4-09-386435-0

本体 ¥1,500+税



教場<0> 刑事指導官・風間公親

長岡 弘樹 著

小学館

「こんな謎も解けないなら、交番勤務からやり直せ」極悪人も新米刑事も震え上がる鬼教官・風間が、殺人現場に臨場! “警察学校”小説。『STORY BOX』掲載に大幅な加筆改稿を行い単行本化。

読売新聞 2017/10/08

2017:9./ 254p

978-4-09-386478-7

本体 ¥1,400+税



教場(小学館文庫 な 17-2)

長岡 弘樹 著

小学館

希望に燃え、警察学校初任科第 98 期短期課程に入校した生徒たち。彼らを迎えるのは冷厳な白髪教官・風間。彼に睨まれれば即日退校という結果が待っている。半年にわたり過酷な訓練と授業が続き…。 “既視感ゼロ”の警察小説。

読売新聞 2017/10/08

2015:12./ 324p

978-4-09-406240-3

本体 ¥630+税



影武者徳川家康<上巻>(新潮文庫)

隆 慶一郎 著

新潮社

読売新聞 2017/10/08

1993:8./ 544p

978-4-10-117415-0

本体 ¥790+税



影武者徳川家康<中巻>(新潮文庫)

隆 慶一郎 著

新潮社

読売新聞 2017/10/08

1993:8./ 564p

978-4-10-117416-7

本体 ¥840+税



	影武者徳川家康<下巻>(新潮文庫) 隆 慶一郎 著 新潮社 読売新聞 2017/10/08	1993:8./ 535p 978-4-10-117417-4 本体 ¥790+税  * 9 7 8 4 1 0 1 1 7 4 1 7 4 *
	花咲舞が黙ってない(中公文庫 い 125-1) 池井戸 潤 著 中央公論新社 東京第一銀行に激震が走った。頭取から発表されたライバル行との合併。生き残りを懸けた交渉が進む中、臨店指導グループの跳ねっ返り・花咲舞は、行内に巣食う巨大な不正に巻き込まれることに! 『読売新聞』掲載を書籍化。	2017:9./ 428p 978-4-12-206449-2 本体 ¥740+税  * 9 7 8 4 1 2 2 0 6 4 4 9 2 *
	省筆論~「書かず」と書くこと~ 田村 隆 著 東京大学出版会 書かれなかったことから見えてくる逆転の文学論。『源氏物語』を中心に、レトリックにより深まる文章表現の技に光をあてる。	2017:7./ 7p,284p,4p 978-4-13-083073-7 本体 ¥2,900+税  * 9 7 8 4 1 3 0 8 3 0 7 3 7 *
	高い城の男(ハヤカワ文庫 SF) フィリップ・K・ディック、浅倉 久志 著 早川書房 第二次世界大戦が枢軸国側の勝利に終わってから 15 年、世界はいまだに日独二国の支配下にあった。現実と虚構との間の微妙なバランスを、緻密な構成と迫真の筆致で描いた、D・K・ディックの最高傑作!	1984:7./ 399p 978-4-15-010568-6 本体 ¥900+税  * 9 7 8 4 1 5 0 1 0 5 6 8 6 *
	マインドハンター~FBI 連続殺人プロファイリング班~(ハヤカワ文庫 NF 508) ジョン・ダグラス、マーク・オルシェイカー、井坂 清 著 早川書房 常識では到底考えられない残忍で異常な性犯罪。彼等を触発するものは何か、被害者はどんな態度に出たので殺されたのか。凶悪犯を面接しそのパーソナリティを研究した伝説的プロファイラーが再現する、彼らの犯行と心理。	2017:9./ 375p 978-4-15-050508-0 本体 ¥960+税  * 9 7 8 4 1 5 0 5 0 5 0 8 0 *
	走る?(文春文庫 ひ 27-51) 東山 彰良、中田 永一、柴崎 友香 著 文藝春秋 あなたは走っていますか? 人生には、走るシーンがつきものだ。中田永一、東山彰良、柴崎友香など、十四人の多彩な作家が腕を競う異色のラン小説アンソロジー。	2017:8./ 260p 978-4-16-790912-3 本体 ¥700+税  * 9 7 8 4 1 6 7 9 0 9 1 2 3 *



<政治>の危機とアーレント～『人間の条件』と全体主義の時代～

佐藤 和夫 著

大月書店

近代の根本問題と格闘した思想家アーレントの主著「人間の条件」成立の背景を読み解くとともに、今日の世界における深刻な政治危機と、文明的転換の必要を読み解く鍵として、アーレントの思想を位置づけ直す。

2017:8./ 279p

978-4-272-43101-4

本体 ¥2,800+税



読売新聞 2017/10/08



悪の歴史<東アジア編上> 隠されてきた「悪」に焦点をあて、真実の人間像に迫る

鶴間 和幸 著

清水書院

歴史の教科書に登場する人物の「裏の顔」とは。表の歴史では語られることのない側面から切り込むことで、歴史における彼らの素顔を立体的に解き明かす。東アジア編上は、孔子、始皇帝、劉邦、則天武后、楊貴妃らを取り上げる。

2017:9./ 331p

978-4-389-50063-4

本体 ¥2,400+税



読売新聞 2017/10/08



歯切れよく生きる人～知的な健康生活～(祥伝社黄金文庫 G と 4-1)

外山 滋比古 著

祥伝社

年を重ねるほどますます元気! 足で歩き、目でスポーツ観戦、手は家事、口でおしゃべり、頭は起床時間をフル活用…。知の巨人・外山滋比古が実践している、心身壮健のちょっとした習慣を紹介する。

2017:8./ 219p

978-4-396-31715-7

本体 ¥570+税



読売新聞 2017/10/08



偽書「東日流外三郡誌」事件(新人物文庫)

齊藤 光政 著

新人物往来社

読売新聞 2017/10/08

2009:12./ 447p

978-4-404-03782-4

本体 ¥762+税



思考の整理学

外山 滋比古 著

筑摩書房

長く読まれた本を、大きな活字に! アイディアを軽やかに離陸させ思考をのびのびと飛行させる方法を、シャープな論理で知られる著者が明解に提示する。

2017:1./ 223p

978-4-480-01701-7

本体 ¥1,000+税



読売新聞 2017/10/08



人間の条件(ちくま学芸文庫)

ハンナ・アレント、志水 速雄 著

筑摩書房

本書は、全体主義の現実的基盤となった大衆社会の思想的系譜を明らかにしようとした、アレントの主著のひとつである。

1994:10./ 549p

978-4-480-08156-8

本体 ¥1,500+税



読売新聞 2017/10/08



黒死館殺人事件～「新青年」版～

小栗 虫太郎、松野 一夫、山口 雄也 著

作品社

小栗虫太郎の探偵小説「黒死館殺人事件」の『新青年』連載版を単行本化。松野一夫による初出時の挿画、豊富な語註、著者の手稿と照合した校異、作品連載時の江戸川乱歩・甲賀三郎によるエッセイ、解題、解説も収録。

./ 479p

978-4-86182-646-7

本体 ¥6,800+税



読売新聞 2017/10/08



イエス全史～天上のプロGRESSIV・ロックバンド、その構造と時空～

マーティン・スコセッシ、川村 まゆみ 著

DU BOOKS

プロGRESSIV・ロックバンドとして高い人気を誇るイエスのヒストリー・ブック。ソロ・アルバムやコラボレーション作品も取り上げ、当事者や関係者の証言を年代順に記す。著者選ディスコグラフィも掲載。

./ 365p

978-4-86647-002-3

本体 ¥2,800+税



読売新聞 2017/10/08



歳のことなど忘れなさい。～いつまでも自分らしく生きるために～

加藤 恭子 著

出版芸術社

時にはつまずいたり、転んだりすることがあっても、それは決して年齢のせいではない! 御年 88 歳。いまだに教壇に立ち、執筆を続ける著者が、自らの半生を顧みつつ、底抜けに明るく「老い」を笑い飛ばす痛快エッセイ。

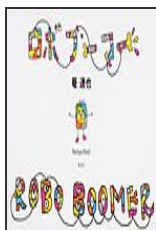
./ 189p

978-4-88293-502-5

本体 ¥1,400+税



読売新聞 2017/10/08



ロボブーマー

菰 連也 著

風濤社

ポップで明るい色づかいで描かれたロボットたちが、ユーモアたっぷりに動きだす! 出産直後から難病「高 IgD 症候群」を発病し、闘病しながら絵を描き続けている著者の作品集。

./ 63p

978-4-89219-437-5

本体 ¥1,400+税



読売新聞 2017/10/08



CRISPR 究極の遺伝子編集技術の発見

ジェニファー・ダウドナ、サミュエル・スターンバーク、櫻井 祐子 著

文藝春秋

ヒトラーが押し進めた優生学の復権か? 遺伝病に苦しむ人たちへの福音か? ヒトゲノムを構成する 32 億文字のなかから、たった一文字の誤りを探し出し修正するという技術を生んだ女性科学者の手記。

2017:10./ 333p

978-4-16-390738-3

本体 ¥1,600+税



読売新聞 2017/10/08、毎日新聞 2017/10/15



月の満ち欠け

佐藤 正午 著

岩波書店

自分が命を落とすようなことがあったら、もういちど生まれ変わる-。この娘が、いまは亡き我が子? いまは亡き妻? いまは亡き恋人? そうでないなら、はたしてこの子は何者なのか。さまよえる魂と数奇なる愛の物語。

2017:4./ 322p

978-4-00-001408-3

本体 ¥1,600+税



読売新聞 2017/10/15



広辞苑 第6版普通版

新村 出 著
岩波書店

完成記念特別定価(提供期限 2008 年 6 月 30 日迄)提供期限以降 定価 8,400 円(本体 8,000 円)

2008:1./ 3,074p
978-4-00-080121-8
本体 ¥8,000+税



読売新聞 2017/10/15



ヤクザと介護～暴力団離脱者たちの研究～(角川新書 K-157)

廣末 登 著

KADOKAWA

暴排運動は更なる高まりを見せているが、暴力団離脱者の社会復帰は相変わらずまったく手当されていない。介護施設で働く暴力団離脱者の事例を紹介し、切実な離脱の実情を明かす。

2017:9./ 280p
978-4-04-082133-7
本体 ¥820+税



読売新聞 2017/10/15



中学生棋士(角川新書 K-162)

谷川 浩司 著

KADOKAWA

日本全土がフィーバーに沸いた中学生棋士・藤井聡太四段の登場と破竹の 29 連勝。中学生棋士はこれまで 5 人現れ、その全員がトップ棋士として活躍した。早熟な才能の謎に、自らも「中学生棋士」だった著者が迫る。

2017:9./ 217p
978-4-04-082174-0
本体 ¥800+税



読売新聞 2017/10/15



夏の流れ～丸山健二初期作品集～(講談社文芸文庫)

丸山 健二 著

講談社

読売新聞 2017/10/15

2005:2./ 297p
978-4-06-198396-0
本体 ¥1,350+税



未完の贈り物～娘には目も鼻もありません～(小学館文庫 く14-1)

倉本 美香 著

小学館

繰り返される顔面の大手術。入れても入れても落ちてしまう目の玉…。順風満帆の人生の中で、信じられない障害を背負って生まれた長女。異国の地で障害とともに生きる母子の 8 年間の壮絶記録。

2017:9./ 365p
978-4-09-406450-6
本体 ¥670+税



読売新聞 2017/10/15



遠野物語(新潮文庫 や-15-1)

柳田 国男 著

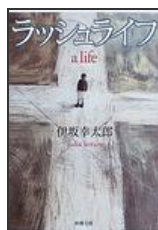
新潮社

雪女、天狗、オシラサマ、オクナイサマ、ザシキワラシ…。遠野郷の伝説を流麗な文体で綴った、柳田国男の愛と情熱が行間にあふれる民俗洞察の名著。山本健吉、吉本隆明、三島由紀夫による解説も収録。折り込みの地図付き。

2016:6./ 158p
978-4-10-104706-5
本体 ¥430+税



読売新聞 2017/10/15



ラッシュライフ(新潮文庫)

伊坂 幸太郎 著

新潮社

読売新聞 2017/10/15

2005:4./ 469p

978-4-10-125022-9

本体 ¥710+税



* 9 7 8 4 1 0 1 2 5 0 2 2 9 *



重力ピエロ(新潮文庫)

伊坂 幸太郎 著

新潮社

読売新聞 2017/10/15

2006:6./ 485p

978-4-10-125023-6

本体 ¥670+税



* 9 7 8 4 1 0 1 2 5 0 2 3 6 *



望むのは

古谷田 奈月 著

新潮社

歳を取るのが怖い、15 歳の小春。同じ年の歩くんは誇り高きバレエダンサーなのに、私はまだ、何ものでもなくて…。風変わりな隣人や愛すべき友との日々を描いた青春小説。『小説新潮』掲載に書き下ろしを加えて書籍化。

2017:8./ 205p

978-4-10-334913-6

本体 ¥1,500+税



* 9 7 8 4 1 0 3 3 4 9 1 3 6 *

読売新聞 2017/10/15



池袋ウエストゲートパーク

石田 衣良 著

文芸春秋

刺す少年、消える少女、潰しあうギャング団。池袋西口公園にたむろするハイティーンたちを主人公に、ストリートの「今」を鮮烈に描く青春群像。オール読物推理小説新人賞受賞作。

1998:9./ 329p

978-4-16-317990-2

本体 ¥1,619+税



* 9 7 8 4 1 6 3 1 7 9 9 0 2 *

読売新聞 2017/10/15



カシス川

萩野 アンナ 著

文芸春秋

彼と父を見送った私に癌が見つかった。ともに暮らす画家の母は要介護 4。老いる母、癌の私、ふたりが生きる彼岸の現実…。一卵性母子による愛と涙の闘病記。『文藝春秋』掲載を書籍化。

2017:10./ 203p

978-4-16-390734-5

本体 ¥1,500+税



* 9 7 8 4 1 6 3 9 0 7 3 4 5 *

読売新聞 2017/10/15



歴史・時代小説縦横無尽の読みくらべガイド(文春文庫 お 72-1)

大矢 博子 著

文芸春秋

書店の店頭にあふれる時代小説、歴史小説。でも次に何を読めば? 時代小説を愛する書評家が、176 人の作家の、488 作品を紹介する。文芸春秋『本の話WEB』連載に加筆・再構成。

2017:10./ 315p

978-4-16-790934-5

本体 ¥730+税



* 9 7 8 4 1 6 7 9 0 9 3 4 5 *

読売新聞 2017/10/15



鬼はもとより(徳間文庫 あ 63-1)

青山 文平 著

徳間書店

戦のない時代、最大の敵は貧しさ。食えずに人が死んでゆく最貧小藩の経済立て直しは可能なのか？ 表向きは万年青売りの浪人、実はフリーの藩札コンサルタントの抄一郎が命を懸けて藩経済の立て直しに挑む。

2017:10./ 380p

978-4-19-894265-6

本体 ¥670+税



読売新聞 2017/10/15



リリース

古谷田 奈月 著

光文社

男女同権が実現し、同性愛者がマジョリティとなった世界。異性愛者のエリート男子大学生、タキナミ・ボナは精子バンクを占拠し、衝撃の演説を始める。理想郷をゆるがすテロリストたちの哀しき陰謀とは!?

2016:10./ 316p

978-4-334-91128-7

本体 ¥1,600+税



読売新聞 2017/10/15



ブレグジット秘録～英国が EU 離脱という「悪魔」を解き放つまで～

クレイグ・オリヴァー、江口 泰子 著

光文社

2016 年 6 月 23 日、英国の EU 離脱の是非を問う国民投票が行われた。当時首相付き政務広報官を務めた著者が、国民投票までの 6 カ月間に舞台裏で繰り広げられた人間ドラマを、政権内部から明らかにする。

2017:9./ 660p

978-4-334-97953-9

本体 ¥3,000+税



読売新聞 2017/10/15



死ぬほど読書(幻冬舎新書 に-5-1)

丹羽 宇一郎 著

幻冬舎

人生を面白くするには、本がうってつけだ。ただし、読み方にはコツがある。伊藤忠商事前会長、元中国大使でビジネス界きっての読書家が、本の選び方、読み方、活かし方、楽しみ方を縦横無尽に語り尽くす。

2017:7./ 183p

978-4-344-98462-2

本体 ¥780+税



読売新聞 2017/10/15



奇跡の島・西表島の動物たち～イリオモテヤマネコとその仲間たちの知られざる生態～

鈴木 直樹 著

誠文堂新光社

川を泳ぐイリオモテヤマネコ、カンムリワシの捕食、リュウキュウイノシシの子育て...。ロボットカメラによって鮮やかに映し出された、西表島の動物たちの知られざる生態を収めた写真集。

2017:8./ 127p

978-4-416-61766-3

本体 ¥3,500+税



読売新聞 2017/10/15



アンドルー・ラング世界童話集<第 12 巻> ふじいろの童話集

アンドルー・ラング 著

東京創元社

ヴィクトリア朝の英国で、民俗学者で作家、編集者でもあるアンドルー・ラングが世界各地の伝承文学からよりすぐりの作品を編纂した古典童話集。第 12 巻は「いたずら妖精」「泉の貴婦人」など 22 編を収録。

2009:9./ 360p,3p

978-4-488-01867-2

本体 ¥1,900+税



読売新聞 2017/10/15



ずるいえいご(日経ビジネス人文庫 あ 5-1)

青木 ゆか、ほしの ゆみ 著

日本経済新聞出版社

単語やフレーズがわからないという理由で英会話が続かないのは、「英語の正解はひとつしかない」と思い込んでいるから! 今ある英語をいかに使いこなして話すかというノウハウを、イラストを交えて紹介する。書き込み欄あり。

./ 200p

978-4-532-19832-9

本体 ¥650+税



読売新聞 2017/10/15



やばい老人になろう〜やんちゃでちょうどいい〜

さだ まさし 著

PHP研究所

永六輔、井伏鱒二、黒柳徹子、瀬戸内寂聴、安岡章太郎…。著者・さだまさしがこれまでに出会った「じい」や「ばあ」たちの、「圧倒的な生き様」や「やばい老人力」を伝える。

./ 211p

978-4-569-83604-1

本体 ¥1,100+税



読売新聞 2017/10/15



こわいもの知らずの病理学講義

仲野 徹 著

晶文社

大阪大学医学部で教鞭をとる著者が、学生相手に行っている「病理学総論」の内容を、「近所のおっちゃん・おばちゃん」に読ませるつもりで書き下ろした病理学講義。雑談を交えながら、病気のしくみを笑いとともに解説する。

./ 373p

978-4-7949-6972-9

本体 ¥1,850+税



読売新聞 2017/10/15



メイキング〜人類学・考古学・芸術・建築〜

ティム・インゴルド、金子 遊、水野 友美子、小林 耕二 著

左右社

人類学と考古学、芸術、建築を、世界を探究する技術として捉えなおしたら、どんな風景が広がるのか。石器を試作し、浜辺を歩き、1 体の彫像を 1 週間観察する、そんな授業を続けてきたインゴルドによる、文化人類学の冒険の書。

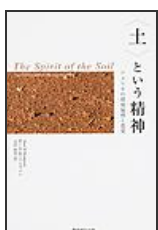
./ 304p,25p

978-4-86528-179-8

本体 ¥3,100+税



読売新聞 2017/10/15



<土>という精神〜アメリカの環境倫理と農業〜

ポール・B.トンプソン 著

農林統計出版

生産至上主義、スチュワードシップ、経済学、全体論という規範から哲学的アプローチを行い、環境における農業の重要性を問う。産業思想による農業の支配への警鐘へと導く<農>の思想の確立を主張する、環境倫理学の導きの書。

./ 18p,344p

978-4-89732-369-5

本体 ¥3,700+税



読売新聞 2017/10/15



リスクと生きる、死者と生きる

石戸 諭 著

亜紀書房

東日本大震災、原発事故をテーマに取材を続けてきた若き記者が、震災や原発事故を自分のこととして捉え、考えている人たちの声に近づき、彼らの揺らぎに接近する。『BuzzFeed News』掲載を大幅に加筆。

./ 279p

978-4-7505-1520-5

本体 ¥1,700+税



読売新聞 2017/10/15、朝日新聞 2017/10/29



失せる故郷

倉橋 健一 著

思潮社

空ぜんたいが摺りガラスに変わると 罅割れる音も無数に銚し だのに地上に立ち
すくむ私のもとには 雨のひと雫すらなつて落ちてこない(「地変私変」より) 詩集。

読売新聞 2017/10/17

./ 109p

978-4-7837-3579-3

本体 ¥2,400+税



ひとりごとの翁

田中 さとみ 著

思潮社

そのときだ 丸太であたまをいきおいよく殴りつけろ 己にくずおれたっていい 更
地を奏でる おと 聞いて ひきあてる(「ひとりごとの翁」より) 奔放な荒らぶるカミの
悲しみ、そして生きる強い意志の力が漲る詩集。

読売新聞 2017/10/17

./ 150p

978-4-7837-3583-0

本体 ¥2,500+税



ニューシーズンズ

中堂 けいこ 著

思潮社

いつのまにかみぞおちに カナリアを飼っている ときおり腹部が熱くなるのは カ
ナリアがうたいだがつているからだ(「とりのうた」より) 表題作を含む全 23 編の詩を
収録。

読売新聞 2017/10/17

./ 85p

978-4-7837-3586-1

本体 ¥2,400+税



愛の縫い目はここ

最果 タヒ 著

リトル・モア

美しく光っている体が、また、目覚めて私になる。(「12 歳の詩」より) 雑誌等掲載
作品に書き下ろしを加えた、全 43 篇を収録。「死んでしまう系のぼくらに」「夜空は
いつでも最高密度の青色だ」に連なる詩集 3 部作、完結。

読売新聞 2017/10/17

./ 93p

978-4-89815-464-9

本体 ¥1,200+税



月桃夜(新潮文庫 nex と-28-1)

遠田 潤子 著

新潮社

虐げられた禁断の愛に、神の裁きが下される。その時、2 人は時空を超えた-。苛
酷な薩摩支配下の奄美に生きた、兄と妹の永遠の想い。奄美大島の伝説を圧倒
的な構想力で甦らせた禁断のファンタジー。

読売新聞 2017/10/22

2015.12./ 343p

978-4-10-180052-3

本体 ¥630+税



十六夜荘ノート(中公文庫 ふ 48-1)

古内 一絵 著

中央公論新社

大祖母から高級住宅街にある古い洋館を遺された雄哉。思わぬ遺産に飛びつく
が、なぜか屋敷は「十六夜荘」という共同住宅になっていた。「十六夜荘」を大伯
母はなぜ、雄哉に託したのか。そして、屋敷に隠された秘密とは?

読売新聞 2017/10/22

2017.9./ 341p

978-4-12-206452-2

本体 ¥680+税





妖櫻記<上>(河出文庫 み 29-3)

皆川 博子 著

河出書房新社

動乱と呪法邪法に満ちた室町時代。赤松満祐が將軍を暗殺し、満祐の側室・野分がもう一人の側室・玉琴を惨殺した夜から運命が動き出す。南朝の血を引く少年・阿麻丸は神器奪還の戦いに巻き込まれ、玉琴の怨念は活傀儡と化し…。

2017:8./ 462p

978-4-309-41554-3

本体 ¥1,200+税



読売新聞 2017/10/22



妖櫻記<下>(河出文庫 み 29-4)

皆川 博子 著

河出書房新社

動乱と呪法邪法に満ちた室町時代。阿麻丸と桜姫は京に近江に流転、野分は長い眠りにつき、玉琴の遺児・清玄は立川流修法のために桜姫の髑髏を求める。一同が離合集散する中、吉野の御所に戦火が上がり…。

2017:8./ 507p

978-4-309-41555-0

本体 ¥1,300+税



読売新聞 2017/10/22



雪の鉄樹(光文社文庫 と 22-2)

遠田 潤子 著

光文社

母は失踪。祖父と父に育てられた庭師の雅雪は、両親を失った少年・遼平の世話をしてきた。しかし遼平の祖母は雅雪に冷たく当たり…。耐え続ける男と少年の交流を軸に、「償いと報い」を正面からとらえたサスペンス。

2016:4./ 461p

978-4-334-77273-4

本体 ¥820+税



読売新聞 2017/10/22



オブリヴィオン

遠田 潤子 著

光文社

娘の目の前で妻を殺した森二が、刑期を終えたとき、彼の「奇跡」と「罪」が結びつける2人の<兄>が待っていた。憎しみと欲望が、森二の廻りを渦巻き、暴走する。森二は人と自分を救う「奇跡」を起こせるのか!?

2017:10./ 374p

978-4-334-91187-4

本体 ¥1,600+税



読売新聞 2017/10/22



幕末武士の京都グルメ日記～「伊庭八郎征西日記」を読む～(幻冬舎新書 や-12-2)

山村 竜也 著

幻冬舎

池田屋事件が起きた1864年。殺伐とした時代に京都を訪れ、呑気なグルメ日記を残した武士がいた-。「伊庭八郎征西日記」の全文を現代語訳し、詳細な解説を加える。幕末京都を訪れた幕臣のリアルな日常が実感できる一冊。

2017:7./ 213p

978-4-344-98465-3

本体 ¥780+税



読売新聞 2017/10/22



答えのない世界を生きる

小坂井 敏晶 著

祥伝社

異質性との出会いから生まれる驚き、感動、迷い…。パリの大学で心理学を教える著者が紡ぐ、考えるための道しるべ。フランスでの生活を省みるとともに、異邦人や少数派が果たす役割を掘り下げ、開かれた社会の意味を考察する。

2017:8./ 357p

978-4-396-61617-5

本体 ¥1,800+税



読売新聞 2017/10/22



動物写真家という仕事

前川 貴行 著

新日本出版社

自然がいいと思った。そう決めたとなん、未知なる新しい世界への旅立ちに心が震えた。動物写真家の若き旗手、前川貴行は、いかにして今のような写真家になったのか。その軌跡を自らのことばと写真で紡ぐフォトエッセイ。

2017:9./ 191p

978-4-406-06162-9

本体 ¥2,600+税



読売新聞 2017/10/22



屍人荘の殺人

今村 昌弘 著

東京創元社

神紅大学ミステリ愛好会の葉村譲と明智恭介は、曰くつきの映画研究部の夏合宿に加わるため、紫湛荘を訪ねた。その夜、想像しえない事態に遭遇し紫湛荘に立て籠もった彼らだが、翌日部員の1人が密室で死体となって発見され...

2017:10./ 316p

978-4-488-02555-7

本体 ¥1,700+税



読売新聞 2017/10/22



月の部屋で会いましょう(創元 SF 文庫 SF ウ 14-1)

レイ・ヴクサヴィッチ、岸本 佐知子、市田 泉 著

東京創元社

不思議なバカンスの?末、肌が宇宙服になって飛んでゆく奇病に引き裂かれる恋人たち、彼女の手編みセーターの中で迷子になる男...とびきり奇妙だけれど優しく切ない、奇想 SF 短編集。本邦初訳の短編1編を追加して文庫化。

:/ 365p

978-4-488-76801-0

本体 ¥1,100+税



読売新聞 2017/10/22



家族をテロリストにしないために～イスラム系セクト感化防止センターの証言～

ドゥニア・ブザール、児玉 しおり 著

白水社

多くの若者が、ネット動画を通じて過激思想に洗脳され、取り込まれていく。フランスで実際に起きているインターネットによる若者の<ジハーディスト>参加現象の一面を解き明かす。

:/ 148p,5p

978-4-560-09577-5

本体 ¥1,500+税



読売新聞 2017/10/22



だてだてのおばあさん

佐野 洋子 著

フレーベル館

「だてわたしはおばあちゃんだもの」それが口ぐせのおばあさん。しかし、99歳の誕生日にろうそくが5本しかなかったことから、おばあさんの口ぐせが変わり...。おばあさんと猫の絆をやさしく描く。

:/ 32p

978-4-577-03649-5

本体 ¥1,200+税



読売新聞 2017/10/22



愛されすぎたぬいぐるみたち

マーク・ニクソン、金井 真弓 著

オークラ出版

何十年もいっしょに過ごすうちに、かなりぼろぼろになってしまったぬいぐるみたち。U2 のボノやミスター・ビーンのカマなど、愛の重みを一身に受けたぬいぐるみたちの姿を、笑いや涙の思い出が詰まった文章とともに紹介する。

:/ 130p

978-4-7755-2669-9

本体 ¥1,700+税



読売新聞 2017/10/22



子どもが生まれても夫を憎まずにすむ方法

ジャンシー・ダン、村井 理子 著

太田出版

崖っぷちにある結婚生活を、出産前の状態に戻すことはできないか? セックス・セラピスト、カップル・セラピスト、友人、子を持つ親、FBI の人質解放交渉人に教えるを請い、夫婦再生プロジェクトに取り組んだ記録。

:/ 415p

978-4-7783-1596-2

本体 ¥1,800+税



読売新聞 2017/10/22



やさしいロシア語で読む罪と罰

ドストエフスキー、ユーリア・ストノーギナ 著

IBCパブリッシング

ロシアの世情を知り、そこで苦しむ一人の若者を通して我々に語りかける命や愛についての葛藤をわかりやすいロシア語で。

:/ 141p

978-4-7946-0372-2

本体 ¥1,500+税



読売新聞 2017/10/22



もりのなか(世界傑作絵本シリーズ)

マリイ・ホール・エッツ、まさき るりこ 著

福音館書店

一日の最後に読んで、安心してねむることのできる絵本。しずかであたたかい絵柄は、モノクロで一見大人向けなのに、子どもたちはこの絵本がだいすきです。「ぼく」がもりのなかへ入っていくと、そこにはいろんな仲間たちがいて...

:/

978-4-8340-0016-0

本体 ¥1,000+税



読売新聞 2017/10/22



希望を蒔く人〜アグロエコロジーへの誘い〜

ピエール・ラビ、天羽 みどり 著

コモンズ

自然と向き合い、耕し、簡素に生き、地球の未来のために活動する。いのちと生態系を守るアグロエコロジー(農生態学)の第一人者が、生い立ち、エコロジー、現代の時事問題のとらえ方などをインタビュー形式で語る。

:/ 253p

978-4-86187-141-2

本体 ¥2,300+税



読売新聞 2017/10/22



小さな旅国東半島物語

通正 知秀 著

海鳥社

仏の里には不朽なる物語がある。平六どんの池、無伝尼公の夢、半蔵が淵…。曹洞宗寺院住職の著者が“説話”を通し、祈りと信心が千年の時を超えて残るふると・大分県の国東半島を案内する。

:/ 261p

978-4-86656-013-7

本体 ¥1,700+税



読売新聞 2017/10/22



うしろめたさの人類学

松村 圭一郎 著

ミシマ社

市場、国家、社会…。断絶した世界が「つながり」を取り戻す可能性を構築人類学の手法で追求。他者への共感や「うしろめたさ」の中に世界を再構築するヒントを見出す。ウェブ雑誌『みんなのミシマガジン』連載をもとに書籍化。

:/ 189p

978-4-903908-98-4

本体 ¥1,700+税



読売新聞 2017/10/22



横丁の引力(イースト新書 093)

三浦 展 著

イースト・プレス

社会デザイン研究者にして「街歩きの達人」である著者が、横丁の現代的意義を徹底分析する。NPO 法人「ハモニカ横丁東京」製作の冊子記事も一部掲載。建築家・隈研吾との対談も収録。昭和時代の横丁地図付き。

./ 269p

978-4-7816-5093-7

本体 ¥861+税



読売新聞 2017/10/22、産経新聞 2017/10/29



オーケストラ解体新書

読売日本交響楽団 編

中央公論新社

常に最高のパフォーマンスを目指し、音楽の喜びを伝えることに情熱を注ぐオーケストラ。指揮者、楽団員、事務局員は日頃何を考えているのか。読売日本交響楽団を俎上に載せ、<感動>の舞台裏に秘められたドラマを明かす。

2017:9./ 8p,246p

978-4-12-005007-7

本体 ¥1,400+税



読売新聞 2017/10/22、毎日新聞 2017/10/29



風刺画とアネクドットが描いたロシア革命

若林 悠、桑野 隆 著

現代書館

風刺画・コマ割りまんがとアネクドット(ロシアンジョーク)で、ボルシェビキの権力闘争、社会主義国家の建設、トロツキー追放からスターリン独裁まで、ロシア革命・新生ソヴィエトを読み解く。

./ 214p

978-4-7684-5813-6

本体 ¥2,200+税



読売新聞 2017/10/22、毎日新聞 2017/10/29



現代語訳東海道中膝栗毛<上>(岩波現代文庫)

十返舎 一九 著

岩波書店

遊び人弥次郎兵衛と、その食客北八の江戸っ子 2 人組が、借金取りから逃れるため、東海道を辿る旅に出る。江戸期のベストセラーを原作のリズムを伝える現代語訳で収録。上は、江戸から桑名までの旅路を収める。

2014:7./ 11p,284p

978-4-00-602242-6

本体 ¥980+税



読売新聞 2017/10/29



現代語訳東海道中膝栗毛<下>(岩波現代文庫)

十返舎 一九 著

岩波書店

遊び人弥次郎兵衛と、その食客北八の江戸っ子 2 人組が、借金取りから逃れるため、東海道を辿る旅に出る。江戸期のベストセラーを原作のリズムを伝える現代語訳で収録。下は、桑名から京都までの旅路を収める。

2014:8./ 9p,287p

978-4-00-602243-3

本体 ¥980+税



読売新聞 2017/10/29



物を売るバカ~売れない時代の新しい商品の売り方~(角川 one テーマ 21 D-24)

川上 徹也 著

KADOKAWA

売れない時代に物やサービス売るためには、物ではなく物語を語ること。「独自化」「差別化」していくこと。「物を売らず物語を売る」方法を、ストーリーブランディングの第一人者である著者が伝授する。

2014:5./ 207p

978-4-04-101567-4

本体 ¥800+税



読売新聞 2017/10/29



颯風の王

河崎 秋子 著

KADOKAWA

馬も人も、生き続けている——。東北と北海道を舞台に、馬とかかわる数奇な運命を持つ家族の、明治から平成まで6世代の歩みを描いた感動巨編。酪農家でもある新人がおくる北の大地の物語。三浦綾子文学賞受賞作。

読売新聞 2017/10/29

2015:7./ 244p

978-4-04-102961-9

本体 ¥1,600+税



* 9 7 8 4 0 4 1 0 2 9 6 1 9 *



日本の新宗教(角川選書 591)

島田 裕巳 著

KADOKAWA

民衆は何を信じてきたのか。天理教、大本、生長の家、PL 教団、創価学会、真如苑…。戦前の新宗教に大きな影響を与えた国家神道から戦後のカルト的な教団まで、近代社会を揺るがした日本の新宗教の全貌に迫る。

読売新聞 2017/10/29

2017:9./ 310p

978-4-04-105252-5

本体 ¥1,700+税



* 9 7 8 4 0 4 1 0 5 2 5 2 5 *



新編中原中也全集<別巻>(新編中原中也全集)

中原中也、大岡昇平 著

角川書店

読売新聞 2017/10/29

2004:11./ 2冊

978-4-04-574006-0

本体 ¥13,000+税



* 9 7 8 4 0 4 5 7 4 0 0 6 0 *



時代小説で旅する東海道五十三次(講談社+α 文庫 E59-1)

岡村 直樹 著

講談社

江戸・日本橋から京・三条大橋まで、それぞれの町を舞台にした時代・歴史小説のあらすじや読みどころを解説しながら、東海道五十三次をガイド。宿場町の名所・旧跡・名物についても、写真入りで紹介する。

読売新聞 2017/10/29

2017:8./ 539p

978-4-06-281726-4

本体 ¥1,200+税



* 9 7 8 4 0 6 2 8 1 7 2 6 4 *



『快樂の園』を読む〜ヒエロニムス・ボスの図像学〜(講談社学術文庫 2447)

神原 正明 著

講談社

500 人を超す裸体像、植物のような建築、シュールな生き物たち…。ルネサンスの奇想の画家ボスが描いた「快樂の園」。その絵に深く分け入り、溢れる象徴と寓意を様々な角度から読み解く。作品を掲載した折り込みページ付き。

読売新聞 2017/10/29

2017:9./ 349p

978-4-06-292447-4

本体 ¥1,150+税



* 9 7 8 4 0 6 2 9 2 4 4 7 4 *



奇跡の歌〜戦争と望郷とペギー葉山〜

門田 隆将 著

小学館

ペギー葉山の代表曲「南国土佐を後にして」のルーツは、戦争中に中国戦線の兵隊たちによってつくられた「南国節」にさかのぼる。高知県生まれの著者が取材をもとに、戦争と望郷が生んだ奇跡の歌の物語を辿る。

読売新聞 2017/10/29

2017:7./ 381p

978-4-09-379893-8

本体 ¥1,600+税



* 9 7 8 4 0 9 3 7 9 8 9 3 8 *



なぜ君は絶望と闘えたのか〜本村洋の3300日〜(新潮文庫)

門田 隆将 著

新潮社

読売新聞 2017/10/29

2010:8./ 348p

978-4-10-123142-6

本体 ¥550+税



小林秀雄全作品<27> 本居宣長(上)

小林 秀雄 著

新潮社

小林秀雄の全作品を網羅し、計約 730 篇を発表年月順に配列した第 6 次小林秀雄全集。本文はすべて新字体・新かなづかい。全作品に、人名・書名・難語等を解説する脚注付き。第 27 巻は、昭和 52 年の作品を収録。

2004:12./ 370p

978-4-10-643567-6

本体 ¥2,000+税



読売新聞 2017/10/29



鎖と罟〜皆川博子傑作短篇集〜(中公文庫 み 17-4)

皆川 博子 著

中央公論新社

41 歳の女性が 61 歳の母親を殺そうとした。平凡な母娘の過去に一体なにがあったのか...。「疫病船」ほか「水底の祭り」「鎖と罟」など、著者の初期の傑作全 10 篇を収録した短篇集。

2017:7./ 441p

978-4-12-206431-7

本体 ¥820+税



読売新聞 2017/10/29



浮世の画家(ハヤカワepi文庫)

カズオ・イシグロ 著

早川書房

戦時中、日本精神を鼓舞する画風で名をなした芸術家の小野。老画家は過去を回想しながら、みづから貫いてきた信念と新しい価値観のはざまに揺れる一ウィットブレッド賞に輝く著者の出世作。解説:小野正嗣

2006:11./ 319p

978-4-15-120039-7

本体 ¥740+税



読売新聞 2017/10/29



ゲームの王国<上>

小川 哲 著

早川書房

ポル・ボトの隠し子であるソリヤと天賦の智性を持つ神童ムイタック。運命のふたりは砲声に震える 1975 年のカンボジアで出会う。秘密警察、恐怖政治、テロ、虐殺...全ての不条理はあたかもゲームのように進行し...。SF 巨篇。

2017:8./ 391p

978-4-15-209679-1

本体 ¥1,800+税



読売新聞 2017/10/29



ゲームの王国<下>

小川 哲 著

早川書房

訣別から半世紀。ソリヤは理想とする<ゲームの王国>を実現すべく、権力の頂点を目指す。一方でムイタックは自身の渴望を完遂するため、脳波測定を利用したゲームの開発を、早熟な少年アルンと共に進めていた...。SF 巨篇。

2017:8./ 365p

978-4-15-209701-9

本体 ¥1,800+税



読売新聞 2017/10/29



安楽死で死なせて下さい(文春新書 1134)

橋田 壽賀子 著

文藝春秋

人に迷惑をかける前に、死に方とその時期くらい自分で選びたい。安楽死が選択肢のひとつとして、ごく自然にあったらいいな、と思う。92歳、「渡る世間は鬼ばかり」の人気脚本家が、究極の往生論を語る。

2017:8./ 208p

978-4-16-661134-8

本体 ¥800+税



読売新聞 2017/10/29



舞うひと〜草刈民代×古典芸能のトップランナーたち〜

草刈 民代、浅井 佳代子 著

淡交社

踊ることは生きること。元バレリーナの草刈民代が、日本舞踊・藤間勘十郎、能楽・観世清和から舞踏・鷹赤兒まで、古典芸能のトップランナー12人と存分に「踊り」の話をした対談集。『なごみ』連載に加筆訂正し書籍化。

2017:9./ 205p

978-4-473-04194-4

本体 ¥1,800+税



読売新聞 2017/10/29



**マネジャーの教科書〜ハーバード・ビジネス・レビューマネジャー論文ベスト11〜
(Harvard Business Review)**

ハーバード・ビジネス・レビュー編集部 編

DIAMOND ハーバード・ビジネス・レビュー編集部 著

ダイヤモンド社

上司・部下のコミュニケーション円滑化、生産性向上、働き方改革の推進…。『ハーバード・ビジネス・レビュー』掲載論文から、「マネジャーが読むべきもの」として厳選した11本の論文を収録する。

2017:9./ 248p

978-4-478-10337-1

本体 ¥1,800+税



読売新聞 2017/10/29



伝わる人は「1行」でツカむ(PHP文庫 か80-1)

川上 徹也 著

PHP研究所

「1行でツカむ」基本ルールを知れば、ビジネスとプライベートで結果が出る! 「言い切る」「問いかける」「数字を使う」「比喻や名言を使う」など、短く的確な言葉で人の気持ちを惹きつける39の基本ルールを伝授する。

./ 285p

978-4-569-76686-7

本体 ¥680+税



読売新聞 2017/10/29



トラウマの過去〜産業革命から第一次世界大戦まで〜

マーク・ミカーリ、ポール・レルナー 編

みすず書房

「トラウマ」概念はいかにして生まれ、社会に浸透したのか。トラウマ研究の決定版にして新たな端緒となる、分野を超越した重要文献。

./ 6p,320p,91p

978-4-622-08623-9

本体 ¥6,800+税



読売新聞 2017/10/29



闘いを記憶する百姓たち〜江戸時代の裁判学習帳〜(歴史文化ライブラリー 454)

八鍬 友広 著

吉川弘文館

江戸時代、実力行使から訴訟へという紛争解決法の転換期に、民衆はいかに先人の記憶を受け継ぎ、学び、権力と闘う力を得たのか。百姓一揆の訴状をもとにした読み書き教材「目安往来物」を取り上げ、民衆の知恵と努力を論じる。

./ 6p,194p

978-4-642-05854-4

本体 ¥1,700+税



読売新聞 2017/10/29



リーダーシップの探求～変化をもたらす理論と実践～

スーザン・R.コミベズ、ナンス・ルーカス、ティモシー・R.マクマホン、日向野 幹也、泉谷 道子、丸山 智子、安野 舞子 著

早稲田大学出版部

リーダーシップに権限やカリスマ性はいらない！ いま社会が求める、他者との関係性を活用しながら自分を認識し開発する「関係性」リーダーシップを、初心者にもわかりやすく解説する。

./ 510p

978-4-657-17010-1

本体 ¥2,800+税



読売新聞 2017/10/29



言葉の羅針盤

若松 英輔 著

亜紀書房

わたしを導く言葉は、わたしのなかにあった。手紙、夢、仕事、幸福、魂、旅... 日々の出来事、記憶から想起する言葉に、本で出会った文章をそえて語る。静かな励ましに満ちたエッセイ集。

./ 155p

978-4-7505-1517-5

本体 ¥1,500+税



読売新聞 2017/10/29



井筒俊彦の学問遍路～同行二人半～

井筒 豊子 著

慶應義塾大学出版会

1959 年、ロックフェラー基金で海外研究生生活をはじめた井筒俊彦。それ以降 20 年に及ぶ海外渡航での研究者との出会い、マギル大学、エラノス学会、イラン王立哲学アカデミー等での研究と生活を、妻の豊子が語る。

./ 205p

978-4-7664-2465-2

本体 ¥4,000+税



読売新聞 2017/10/29



鴛鴦～福田俊司写真集～

福田 俊司 著

文一総合出版

ロシア・シベリアで数々のワイルドライフを撮り続けて四半世紀。辿りついたのは、原点ともいえる日本の鴛鴦だった...。天敵との遭遇や恋の駆け引き、巣立ちの瞬間など、謎の多い鴛鴦の特異な生態を捉えた写真集。

./ 111p

978-4-8299-7911-2

本体 ¥3,700+税



読売新聞 2017/10/29



最難関のリーダーシップ～変革をやり遂げる意志とスキル～

ロナルド・A.ハイフェッツ、マーティ・リンスキー、アレクサンダー・グラショウ、水上 雅人 著

英治出版

傍観者、反対派、権威者...あらゆる人々をまとめ、どんな状況下においても「適応を促す作業」をリードするのに役立つ考え方、リソース、実践方法、事例を紹介。変革を推進するための具体的な実践演習も収録する。

./ 463p

978-4-86276-223-8

本体 ¥2,400+税



読売新聞 2017/10/29



ジハード主義～アルカイダからイスラーム国へ～(岩波現代全書 106)

保坂 修司 著

岩波書店

ジハードの名のもとに行われるテロや暴力。「ジハード主義」の基本的な考え方をわかりやすく解き明かし、そのイデオロギーのもとになった思想の誕生から、現在までの歴史的な変質の過程をたどり、現代社会の抱える病巣を探る。

日本経済新聞 2017/10/07

2017:8./ 13p,234p,8p

978-4-00-029206-1

本体 ¥2,200+税



網野善彦著作集<第 14 巻> 中世史料学の課題

網野 善彦 著

岩波書店

日本史像を大胆に革新した研究活動の全貌を体系的に提示すべく、著者の主要な著書・論文を選び、テーマ別に編成のうえ収録。第 14 巻は、「日本中世史料学の課題」に収録された論文を中心に、史料に関する諸論考を収める。

日本経済新聞 2017/10/07

2009:6./ 481p

978-4-00-092654-6

本体 ¥4,500+税



きけわだつみのこえ～日本戦没学生の手記～ 新版(岩波文庫)

日本戦没学生記念会 著

岩波書店

日本経済新聞 2017/10/07

1995:12./ 521p,2p

978-4-00-331571-2

本体 ¥940+税



漱石先生の手紙が教えてくれたこと(岩波ジュニア新書 858)

小山 慶太 著

岩波書店

漱石の書き残した若い人への手紙は、小説とは違った感慨を読む者に与え、綴られる励まし、ユーモア、人としての深さは、今を生きる人にとっても温かなエールとなる。示唆に富む手紙から、文豪・漱石の新たな一面に迫る。

日本経済新聞 2017/10/07

2017:8./ 10p,209p

978-4-00-500858-2

本体 ¥880+税



山本直純と小澤征爾(朝日新書 632)

柴田 克彦 著

朝日新聞出版

「男はつらいよ」などのテーマ曲を手掛け、音楽を大衆に伝え続けた山本直純。単身日本を飛び出し、クラシック界の頂点へ駆け上がる小澤征爾。日本クラシック音楽の基礎を築いた 2 人の波乱万丈な人生をダイナミックに描く。

日本経済新聞 2017/10/07

2017:9./ 247p

978-4-02-273732-8

本体 ¥780+税



虞美人草 改版(角川文庫 な 1-4)

夏目 漱石 著

KADOKAWA

美しいが私の強い藤尾と清楚な小夜子との間で揺れる小野。藤尾の許嫁・宗近、藤尾の異母兄の甲野、宗近の妹・糸子。6 人の複雑な思いが錯綜する中、小野が出した答えとは…。漱石文学の転換点となる初の悲劇作品。

日本経済新聞 2017/10/07

2017:6./ 462p

978-4-04-400284-8

本体 ¥560+税





わが師わが友(講談社学術文庫)

朝永振一郎 著

講談社

日本経済新聞 2017/10/07

1991:4./ 110p

978-4-06-158055-8

本体 ¥485+税



アメリカを動かす「ホワイト・ワーキング・クラス」という人々～世界に吹き荒れるポピュリズムを支える“真・中間層”の実体～

ジョーン・C.ウィリアムズ、山田 美明、井上 大剛 著

集英社

トランプ政権誕生の原動力となった白人労働者層、ホワイト・ワーキング・クラスのエリートへの恨み、怒りと絶望。新たな視点でアメリカ社会の問題を解説し、世界中に広がるポピュリズムと深刻化する格差問題の根本に切り込む。

2017:8./ 238p

978-4-08-786090-0

本体 ¥1,800+税



日本経済新聞 2017/10/07



それでも、日本人は「戦争」を選んだ(新潮文庫 か-77-1)

加藤 陽子 著

新潮社

普通によき日本人が、世界最高の頭脳たちが、「もう戦争しかない」と思ったのはなぜか? 日清戦争から太平洋戦争まで、戦争の根源的な特徴、戦争が地域秩序や国家や社会に与えた影響と変化などを、中高生への講義を元に解説。

2016:7./ 497p

978-4-10-120496-3

本体 ¥750+税



日本経済新聞 2017/10/07



ルビンの壺が割れた

宿野 かほる 著

新潮社

「突然のメッセージで驚かれたことと思います。失礼をお許しください」-送信した相手は、かつての恋人。SNS での邂逅から始まったぎこちないやりとりは、徐々に変容を見せ始め…。覆面作家によるデビュー作。

2017:8./ 156p

978-4-10-351161-8

本体 ¥1,000+税



日本経済新聞 2017/10/07



田舎暮らしと哲学

木原 武一 著

新潮社

街を出よ、森に住もう! 何気ない毎日は、発見の喜びと思索の源泉に満ちている。田舎に暮らして 40 年の著者が、学びの刺激に溢れた日々の暮らしを綴る。

2017:9./ 254p

978-4-10-437302-4

本体 ¥1,700+税



日本経済新聞 2017/10/07



「公益」資本主義～英米型資本主義の終焉～(文春新書 1104)

原 丈人 著

文藝春秋

「会社は株主のもの」という英米流「株主資本主義」では、株主だけが潤い、会社は資金と研究開発力を奪われ、従業員の賃金は下げられる。「会社は社会の公器」という資本主義の新たなあり方、「公益資本主義」を提唱する。

2017:3./ 246p

978-4-16-661104-1

本体 ¥820+税



日本経済新聞 2017/10/07



忘れられた花園<上>(創元推理文庫 Mモ 8-1)

ケイト・モートン、青木 純子 著

東京創元社

1913 年、オーストラリアの港にたったひとり取り残されていた少女。名前もわからない少女をある夫婦がネルと名付けて育て上げた。21 歳の誕生日に事実を告げられたネルは、その日から過去の虜となり...

2017:5./ 403p

978-4-488-20205-7

本体 ¥980+税



日本経済新聞 2017/10/07



忘れられた花園<下>(創元推理文庫 Mモ 8-2)

ケイト・モートン、青木 純子 著

東京創元社

2005 年、オーストラリアのブリスベンで祖母ネルを看取ったカサンドラは、祖母からイギリス・コーンウォールの崖の上にあるコテージを相続した。イギリスに渡ったカサンドラが見出したものとは...

2017:5./ 402p

978-4-488-20206-4

本体 ¥980+税



日本経済新聞 2017/10/07



アジアの砂漠を越えて<上>(スウェン・ヘディン探検記 1)

スウェン ヘディン 著

白水社

日本経済新聞 2017/10/07

:/ 322p

978-4-560-03125-4

本体 ¥2,330+税



ジョブ理論～イノベーションを予測可能にする消費のメカニズム～

クレイトン・M.クリステンセン、依田 光江 著

ハーパーコリンズ・ジャパン

イノベーションの成否を分けるのは、顧客データやスプレッドシートに現れる数字ではない。鍵は“顧客の片づけたいジョブ”にある。世界で最も影響力のある経営学者が、人がモノを買う行為そのもののメカニズムを解き明かす。

:/ 390p

978-4-596-55122-1

本体 ¥2,000+税



日本経済新聞 2017/10/07



映画とキリスト

岡田 温司 著

みすず書房

リュミエール兄弟、フェリーニ、タルコフスキー、ゴダール...名匠たちはみな、聖書を原風景として作品を生み出してきた。物語・キャラクター・表現手法に息づくキリスト教を多角的に分析し、映画論の盲点を照らし出す。

:/ 346p,22p

978-4-622-08624-6

本体 ¥4,000+税



日本経済新聞 2017/10/07



帝都防衛～戦争・災害・テロ～(歴史文化ライブラリー 452)

土田 宏成 著

吉川弘文館

近代東京の安全を脅かしたものは何だったのか。明治から昭和の敗戦までを分析し、対外戦争、関東大震災、二・二六事件など時代に要請された防衛課題を探ると共に、帝都がいかに守られてきたかを検討し、その社会的影響に迫る。

:/ 6p,229p

978-4-642-05852-0

本体 ¥1,700+税



日本経済新聞 2017/10/07



仕事と家庭は両立できない?～「女性が輝く社会」のウソとホント～

アン＝マリー・スローター、関 美和 著

NTT出版

女性の社会進出先進国と言われるアメリカでも、仕事と家庭の両立を阻む高い壁が存在する。「なぜ女性はすべてを手に入れられないのか」の著者が、仕事と家庭のあいだで悩むすべての人に力強いメッセージを贈る。

./ 4p,333p

978-4-7571-2362-5

本体 ¥2,400+税



日本経済新聞 2017/10/07



大海軍を想う～その興亡と遺産～(光人社 NF 文庫)

伊藤 正徳 著

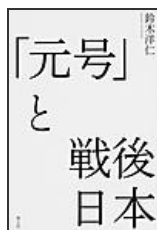
潮書房光人社

日本経済新聞 2017/10/07

./ 542p

978-4-7698-2343-8

本体 ¥952+税



「元号」と戦後日本

鈴木 洋仁 著

青土社

歴史社会学の新鋭による全く新しい元号論。時代をあらわす記号である「元号」が、なぜ近代日本の歴史意識に作用するのか、その作用がいかなるものであるのかを、「戦後」という時代区分との関係性において明らかにする。

./ 298p,4p

978-4-7917-7006-9

本体 ¥1,900+税



日本経済新聞 2017/10/07



ヒトラーとは何か(草思社文庫 ハ1-1)

セバスチャン・ハフナー、瀬野 文教 著

草思社

学歴も職歴も友人もないよるべなき流れ者が、わずか十数年のうちに独裁者への階段をかけあがり、20 世紀、21 世紀の歴史を根底から変えた。なぜそんなことが可能だったのか。稀代のジャーナリストが綴るヒトラー伝。

./ 316p

978-4-7942-2292-3

本体 ¥980+税



日本経済新聞 2017/10/07



スーパー望遠鏡「アルマ」の創造者たち～標高 5000m で動き出した史上最高の“眼”～

山根 一眞 著

日経BPコンサルティング

「東京から大阪の 1 円玉が見える望遠鏡を作ろう!」天文学者から町工場まで、人類最大の望遠鏡「アルマ」の創造者たち 100 人が語った無謀なまでの夢と辛酸、そして歓喜。壮大なプロジェクトを描く大型ノンフィクション。

./ 279p 図版 16p

978-4-86443-042-5

本体 ¥1,500+税



日本経済新聞 2017/10/07



応仁の乱～戦国時代を生んだ大乱～(中公新書 2401)

呉座 勇一 著

中央公論新社

室町後期、諸大名が東西両軍に分かれ、京都市街を主戦場として戦った応仁の乱。なぜ勃発し、どう終結に至ったか。長期化した理由とは。高い知名度とは対照的に、実態は十分知られていない日本史上屈指の大乱を読み解く。

2016.10./ 8p,302p

978-4-12-102401-5

本体 ¥900+税



日本経済新聞 2017/10/07、朝日新聞 2017/10/08



動物の賢さがわかるほど人間は賢いのか

フランス・ドゥ・ヴァール、松沢 哲郎、柴田 裕之 著

紀伊國屋書店出版部

自分の決断を悔やむラット、道具を作るカラス、人間の顔を見分けるタコ…。霊長類の社会的知能研究における第一人者が、驚くべき動物の認知の世界を、自身の手によるイラストとともに鮮やかに描き出す。

2017:8./ 412p

978-4-314-01149-5

本体 ¥2,200+税



日本経済新聞 2017/10/07、朝日新聞 2017/10/08



えほんのせかいこどものせかい(文春文庫 ま 40-1)

松岡 享子 著

文藝春秋

子供の成長における絵本の役割を楽しく教えてくれる絵本ガイド。アメリカと日本の図書館で数多の子供たちと接してきた著者が、読み聞かせのコツや優れた絵本を選ぶポイントを示し、子供が最も喜んだ 34 冊を紹介する。

2017:10./ 237p

978-4-16-790946-8

本体 ¥680+税



日本経済新聞 2017/10/07、朝日新聞 2017/10/22



私のヴァイオリン～前橋汀子回想録～

前橋 汀子 著

早川書房

冷戦下のソ連への留学、ニューヨークでの修行時代、スイスで師シゲティと過ごした日々…。世界的ヴァイオリニストの著者が、演奏活動 55 周年を記念して、いまで語られなかった人生の歩みを振り返る。

2017:8./ 161p

978-4-15-209705-7

本体 ¥1,500+税



日本経済新聞 2017/10/07、東京・中日新聞 2017/10/08



湖畔荘<上>

ケイト・モートン、青木 純子 著

東京創元社

70 年前、コーンウォールの廃墟のような館・湖畔荘から赤ん坊が消え、事件は迷宮入りとなった。捨てられた屋敷に隠された家族の秘密とは？ 問題を抱えたロンドン警視庁の女性刑事が、独自の捜査を始める。

2017:8./ 331p

978-4-488-01071-3

本体 ¥1,900+税



日本経済新聞 2017/10/07、読売新聞 2017/10/15



湖畔荘<下>

ケイト・モートン、青木 純子 著

東京創元社

湖畔荘の謎を探るのはロンドン警視庁の女性刑事。消えた赤ん坊の姉・アリスは高名なミステリー作家となっていた。女性刑事はなんとしてもこの迷宮入りした事件を解きたくなり、アリスに連絡を取る。彼女は何を知っているのか？

2017:8./ 314p

978-4-488-01072-0

本体 ¥1,900+税



日本経済新聞 2017/10/07、読売新聞 2017/10/15



国宝の政治史～「中国」の故宮とパンダ～

家永 真幸 著

東京大学出版会

近代国家「中国」が、どのようにして故宮とパンダを国宝と呼ばれるようにしたのか。その歴史の変遷を考察し、近代国家の「領土」や「国民」の境界線が、いかに固定化され、維持されているのかを解明する。

2017:8./ 9p,310p,27p

978-4-13-026156-2

本体 ¥5,400+税



日本経済新聞 2017/10/07、読売新聞 2017/10/29



町を住みなす～超高齢社会の居場所づくり～(岩波新書 新赤版 1671)

大月 敏雄 著

岩波書店

人びとが住まいに求めるものは、長い人生のステージに合わせて、さまざまに変遷していくことに注目。懐の深い、居場所づくりのユニークな事例を多数紹介し、人口減少社会におけるこれからの住まいのあり方を考える。

2017:7./ 19p,241p,7p

978-4-00-431671-8

本体 ¥860+税



日本経済新聞 2017/10/14



<ひとり死>時代のお葬式とお墓(岩波新書 新赤版 1672)

小谷 みどり 著

岩波書店

「ひとり死」の時代になりつつある今、火葬のみのお葬式や、共同墓や無縁墓などがさらに広まっている。個人は死後のことを悩み、自治体も難題に直面している。海外の最新事情は。具体的な事例とともにこれからを考える。

2017:7./ 4p,214p

978-4-00-431672-5

本体 ¥780+税



日本経済新聞 2017/10/14



ご冗談でしょう、ファインマンさん<上>(岩波現代文庫)

R.P.ファインマン 著

岩波書店

日本経済新聞 2017/10/14

2000:1./ 343p

978-4-00-603005-6

本体 ¥1,200+税



ご冗談でしょう、ファインマンさん<下>(岩波現代文庫)

R.P.ファインマン 著

岩波書店

日本経済新聞 2017/10/14

2000:1./ 327p

978-4-00-603006-3

本体 ¥1,200+税



江戸時代恋愛事情～若衆の恋、町娘の恋～(朝日選書 960)

板坂 則子 著

朝日新聞出版

いつの時代も「恋愛」は物語の主要テーマ。多数の江戸期小説や春画・春本、浮世絵などをカラー画で示しながら、恋愛がどう描かれたかを丹念に読み解き、江戸の恋愛のかたちを描き出す。

2017:6./ 309p,5p

978-4-02-263060-5

本体 ¥1,700+税



日本経済新聞 2017/10/14



走れメロス～くじけず、めげず、友のために走る!～(10歳までに読みたい日本名作 3)

太宰 治、芥川 龍之介、楠 章子、楠 章子、脚 次郎、脚 次郎、加藤 康子、加藤 康子 著

学研

小学低中学年から楽しめる! オールカラーイラストで、さくさく読めちゃう「日本名作」シリーズ第3弾。「走れメロス」(太宰治)、「くもの糸」(芥川龍之介)を収録。正直に生きることの大切さを、伝えます。

2017:6./ 153p

978-4-05-204655-1

本体 ¥940+税



日本経済新聞 2017/10/14



吾輩は猫である<上>(講談社青い鳥文庫 69-5)

夏目 漱石、佐野 洋子 著

講談社

名前をつけられないまま飼い猫になった主人公「吾輩」が観察する、飼い主・珍野苦沙弥先生と、その家に入出入りするおかしな人々…。人間の社会を、猫の目をとおしてユーモラスに描く。茂木健一郎の解説付き。

日本経済新聞 2017/10/14

2017:7./ 397p

978-4-06-285621-8

本体 ¥740+税



吾輩は猫である<下>(講談社青い鳥文庫 69-6)

夏目 漱石、佐野 洋子 著

講談社

名前をつけられないまま飼い猫になった主人公「吾輩」が観察する、飼い主・珍野苦沙弥先生と、その家に入出入りするおかしな人々…。人間の社会を、猫の目をとおしてユーモラスに描く。福田清人の解説付き。

日本経済新聞 2017/10/14

2017:7./ 381p

978-4-06-285622-5

本体 ¥740+税



弱虫日記(講談社文庫 あ 136-1)

足立 紳 著

講談社

俺に本当の仲間はいるのか? 誰が自分を信じてくれるだろう。ままならない家庭の事情やシビアな友人関係に翻弄されながら、生きる上で大切なものを手にしようともがく少年の、葛藤と前進を描く。

日本経済新聞 2017/10/14

2017:9./ 256p

978-4-06-293761-0

本体 ¥610+税



都会(マチ)のトム&ソーヤ 3(マガジンエッジ KC)

フクシマ ハルカ/はやみね かおる 著

講談社

「ゲームの館」に隠された伝説のゲーム、ルージュ・レーブをめぐる冒険もいよいよ大詰め。内人と創也は『ルージュ・レーブ』を手に入れられるのか!?そして、ついに明らかになる、天才ゲームクリエイター・栗井栄太の正体とは...!?

日本経済新聞 2017/10/14

2017:4./ 192p

978-4-06-391064-3

本体 ¥620+税



赤毛のアン<上>(小学館ジュニア文庫 ジも-2-1)

L.M.モンゴメリ、対馬 妙、日本アニメーション 著

小学館

プリンス・エドワード島で暮らす兄妹マッシュとマリラは、男の子を引き取ることにした。ところが、やってきたのは赤い髪の毛をした女の子、アン・シャーリー。マリラは、アンを孤児院に送り返そうとしたが…。

日本経済新聞 2017/10/14

2017:9./ 319p

978-4-09-231189-3

本体 ¥750+税



赤毛のアン<下>(小学館ジュニア文庫 ジも-2-2)

L.M.モンゴメリ、対馬 妙、日本アニメーション 著

小学館

アンがマッシュとマリラのもとに引き取られて1年。アンはきょうも空想をふくらませながら、元気に暮らしている。かわいいワンピースが着たいという願いはかなうのか。そして、ライバルだけど気になるギルバートとの関係は…?

日本経済新聞 2017/10/14

2017:9./ 303p

978-4-09-231190-9

本体 ¥750+税





統計は暴走する(中公新書ラクレ 594)

佐々木 弾 著
中央公論新社

あなたは「統計」に操られている。例題とヒントで、隠れた意図を見抜け! ネットや書籍等の形で発表された疑わしい統計記事を、詐欺、窃盗、中傷などの犯罪類型ごとに紹介・講評する。「統計リテラシー」が身につく書。

日本経済新聞 2017/10/14

2017:9./ 254p

978-4-12-150594-1

本体 ¥780+税



死ぬ瞬間～死とその過程について～(中公文庫)

エリザベス・キューブラー・ロス、鈴木 晶 著
中央公論新社

死とは、長い過程であって特定の瞬間ではない。二百人への直接取材で得た「死に至る」人間の心の動きを研究した画期的な書。

日本経済新聞 2017/10/14

2001:1./ 468p

978-4-12-203766-3

本体 ¥1,048+税



黒猫ジュリエットの話(河出文庫 も 11-1)

森 茉莉、早川 茉莉 編
森 茉莉 著
河出書房新社

「私はその頃、ボロアパートと Japo とを愛していた」大きな黒猫 Japo とともに暮らした 14 年間。愛すべき猫たちを、森茉莉言葉で描いたエッセイ集。

日本経済新聞 2017/10/14

2017:10./ 201p

978-4-309-41572-7

本体 ¥740+税



ねじ曲げられた「イタリア料理」(光文社新書 903)

ファブリツィオ・グラッセツリ 著
光文社

「ピッツァ→アメリカ生まれ」「トマトソース→伝統料理にあらず」「オリーブオイル→偽装だらけ」…。日本に蔓延するイタリア料理や食べ物の間違った理解。在日イタリア人の著者が、イタリアの本当の食文化を教えます。

日本経済新聞 2017/10/14

2017:9./ 265p

978-4-334-04309-4

本体 ¥800+税



中国の海洋侵出を抑え込む～日本の対中防衛戦略～

日本安全保障戦略研究所 著
国書刊行会

中国の強引な覇権的拡張主義に、どう対応するか。第一線で活躍してきた上級指揮官と、安全保障・国際法・海洋問題等の専門家達が、アジア太平洋・インド地域を俯瞰して、有効な対中戦略のあるべき態様を大胆かつ率直に論じる。

日本経済新聞 2017/10/14

2017:9./ 372p

978-4-336-06196-6

本体 ¥2,400+税



消費大陸アジア～巨大市場を読みとく～(ちくま新書 1277)

川端 基夫 著
筑摩書房

中国、台湾、タイ、インドネシア…日本企業のアジア進出の裏には、成功と失敗の意外なストーリーが隠されている! 長年の調査による豊富な事例から、アジア進出の成否を左右するアジア市場固有の理論を読み解く。

日本経済新聞 2017/10/14

2017:9./ 222p

978-4-480-06984-9

本体 ¥780+税





夜と霧 新版

ヴィクトール・E. フランクル 著

みすず書房

心理学者、強制収容所を体験する。飾りのないこの原題から、永遠のロングセラーは生まれた。原著の改訂版である 1977 年版にもとづき、新たな訳者で新編集。人間の偉大と悲惨をあますところなく描く。

日本経済新聞 2017/10/14

./ 169p

978-4-622-03970-9

本体 ¥1,500+税



死にゆく過程を生きる～終末期がん患者の経験の社会学～

田代 志門 著

世界思想社

在宅緩和ケアを受け、自宅で最期を迎えたがん患者達の語りから、これまでの生と向き合い、これからの生を選び取るその過程を描き出す。

日本経済新聞 2017/10/14

./ 6p, 264p

978-4-7907-1678-5

本体 ¥2,500+税



大惨事と情報隠蔽～原発事故、大規模リコールから金融崩壊まで～

ドミトリ・チェルノフ、ディディエ・ソネット、橘 明美、坂田 雪子 著

草思社

なぜ<危険>を隠したがるのか。それはどのように想定外の大惨事へと結びついていくのか。原発事故から金融崩壊まで、幅広い分野の事例を検証。それらに共通する人的要因=情報隠蔽の実態を明らかにし、その原因と対策を示す。

日本経済新聞 2017/10/14

./ 552p

978-4-7942-2295-4

本体 ¥2,800+税



「いい会社」ってどんな会社ですか?～社員の幸せについて語り合おう～

塚越 寛 著

日経BP社

外部環境に左右されることなく、毎年少しずつ会社を成長させる「年輪経営」を提唱するカリスマ経営者が、2 人の若きベンチャー起業家と「経営と幸福」の深い関係について語り合う。自身の経営論のエッセンスなども紹介する。

日本経済新聞 2017/10/14

./ 215p

978-4-8222-5954-9

本体 ¥1,500+税



生と死を考える～宗教学から見た死生学～(北大文学研究科ライブラリ 8)

宇都宮 輝夫 著

北海道大学出版会

著者が最近十年ほどの間に書いてきた死生学関連の論文のうち、人間が自己の生活をどのように構成しているかというテーマを扱ったものを収録。「いかに生き、いかに死ぬか」という問題を、死生観と宗教との関係から考察する。

日本経済新聞 2017/10/14

./ 9p, 240p, 2p

978-4-8329-3390-3

本体 ¥2,000+税



東京の夫婦

松尾 スズキ 著

マガジンハウス

夫は、作家で演出家で俳優の 51 歳。妻は、31 歳の箱入り娘。東京で出会って、東京で夫婦になった。松尾スズキがユーモラスに赤裸々に綴る、夫婦の軌跡。『GINZA』連載をもとに加筆・訂正して単行本化。

日本経済新聞 2017/10/14

./ 184p

978-4-8387-2961-6

本体 ¥1,400+税





世界からバナナがなくなるまえに～食糧危機に立ち向かう科学者たち～

ロブ・ダン、高橋 洋 著

青土社

人間が生きる上で欠かすことのできない主食作物が、同時多発的な病原菌や害虫の猛威に襲われたとき、食卓はどうなってしまうのか。大規模なアグリビジネスをもたらした悲劇、作物壊滅の危機に立ち向かう科学者の軌跡をたどる。

:/ 393p,3p

978-4-7917-7005-2

本体 ¥2,800+税



日本経済新聞 2017/10/14、東京・中日新聞 2017/10/22



人口減少と社会保障～孤立と縮小を乗り越える～(中公新書 2454)

山崎 史郎 著

中央公論新社

人口減少や社会の変容により、日本の社会保障が揺らいでいる。地方創生総括官も務めた著者が、現状の問題点を指摘し、孤立を防ぐ方法、高齢者偏重から全世代型への転換など新しい方策を示す。

2017:9./ 4p,271p

978-4-12-102454-1

本体 ¥880+税



日本経済新聞 2017/10/14、読売新聞 2017/10/29



岩波講座日本経済の歴史<1> 中世 11世紀から16世紀後半

深尾 京司、中村 尚史、中林 真幸 編

岩波書店

中世から現代にいたる約 1000 年の日本経済の歩みを、超長期の国内総生産(GDP)の新推定をはじめとする各種データを軸に描く。1 は、本格的な市場経済社会が起こった、11 世紀から 16 世紀後半を取り上げる。

2017:7./ 10p,301p

978-4-00-011401-1

本体 ¥3,800+税



日本経済新聞 2017/10/21



岩波講座日本経済の歴史<2> 近世 16世紀末から19世紀前半

深尾 京司、中村 尚史、中林 真幸 編

岩波書店

中世から現代にいたる約 1000 年の日本経済の歩みを、超長期の国内総生産(GDP)の新推定をはじめとする各種データを軸に描く。2 は、16 世紀後半から 19 世紀前半を取り上げる。

2017:8./ 10p,306p

978-4-00-011402-8

本体 ¥3,800+税



日本経済新聞 2017/10/21



岩波講座日本経済の歴史<3> 近代(1) 19世紀後半から第一次世界大戦

深尾 京司、中村 尚史、中林 真幸 編

岩波書店

中世から現代にいたる約 1000 年の日本経済の歩みを、超長期の国内総生産(GDP)の新推定をはじめとする各種データを軸に描く。3 は、19 世紀後半から第一次世界大戦前(1913)を取り上げる。

2017:9./ 10p,295p

978-4-00-011403-5

本体 ¥3,800+税



日本経済新聞 2017/10/21



ソマリランドからアメリカを超える～辺境の学校で爆発する才能～

ジョナサン・スター、黒住 奈央子、御舩 由美子 著

KADOKAWA

未承認国家ソマリランドに、非イスラム教徒のアメリカ人が私財をなげうち、学校を創った。目的は、世界に挑むエリートを育てること。ハーバード、MIT への進学者を出した、辺境の新設校の物語。

2017:9./ 326p

978-4-04-105566-3

本体 ¥1,600+税



日本経済新聞 2017/10/21



徳川家康<26> 立命往生の巻(山岡荘八歴史文庫)

山岡 荘八 著

講談社

豊臣家滅亡後の家康に残された仕事は幕府永続の礎石固め、すなわち確乎とした泰平の世づくりであった。時代を超えて生きる壮大なロマン完結編。

1988:4./ 510p

978-4-06-195048-1

本体 ¥740+税



日本経済新聞 2017/10/21



屋根屋

村田 喜代子 著

講談社

雨漏りのする屋根の修理にやってきた屋根屋。自在に夢を見られると語る彼の誘いに乗って、「私」は夢のなかの旅へ一緒に出かける。屋根職人と平凡な主婦の奇想天外な空の旅。『群像』連載を単行本化。

2014:4./ 307p

978-4-06-218774-9

本体 ¥1,600+税



日本経済新聞 2017/10/21



銀河鉄道の父

門井 慶喜 著

講談社

岩手県をイーハトヴにし、銀河に鉄道を走らせた宮沢賢治。生涯夢を追い続けた賢治と、父でありすぎた父・政次郎との対立と慈愛の月日を、父の視点から描く。『小説現代』連載に、加筆、修正し単行本化。

2017:9./ 408p

978-4-06-220750-8

本体 ¥1,600+税



日本経済新聞 2017/10/21



怒りを鎮めるうまく謝る～科学の知恵～(講談社現代新書 2444)

川合 伸幸 著

講談社

関係修復に謝罪は重要ではない? 寝転がると怒りを感じない? 怒りを鎮める方法、相手に届く謝り方などを、実験や調査による研究に基づいて解説する。人間関係を円滑にするために知っておきたい科学の最新知見が満載。

2017:9./ 213p

978-4-06-288444-0

本体 ¥760+税



日本経済新聞 2017/10/21



鷲の翼に乗って<上>(集英社文庫)

ケン・フォレット 著

集英社

日本経済新聞 2017/10/21

1986:3./ 372p

978-4-08-760115-2

本体 ¥600+税



くそつたれバッキー・デント(小学館文庫 ト4-2)

デイヴィッド・ドゥカヴニー、高取 芳彦 著

小学館

ヤンキースタジアムでピーナッツ売りをするテッドは、病院からの電話で、母の死後は疎遠になっていた父が末期がんと知る。久しぶりに実家に帰ったテッドは、レッドソックスが勝つと、父の具合が良くなることに気づき...

2017:9./ 455p

978-4-09-406375-2

本体 ¥850+税



日本経済新聞 2017/10/21



もし高校野球の女子マネージャーがドラッカーの『マネジメント』を読んだら(新潮文庫 い-125-1)

岩崎 夏海 著

新潮社

野球部のマネージャーのみなみは、偶然ドラッカーの経営書「マネジメント」に出会う。はじめは難しさとまどろが、野球部を強くするのにドラッカーが役立つことに気づき…。ドラッカーの教えをもとに甲子園を目指す青春物語。

日本経済新聞 2017/10/21

2015:12./ 309p

978-4-10-120221-1

本体 ¥550+税



* 9 7 8 4 1 0 1 2 0 2 2 1 1 *



消されかけた男 改版(新潮文庫)

フリーマントル 著

新潮社

日本経済新聞 2017/10/21

2007:10./ 351p

978-4-10-216501-0

本体 ¥670+税



* 9 7 8 4 1 0 2 1 6 5 0 1 0 *



再び消されかけた男(新潮文庫)

フリーマントル 著

新潮社

日本経済新聞 2017/10/21

1981:10./ 328p

978-4-10-216504-1

本体 ¥590+税



* 9 7 8 4 1 0 2 1 6 5 0 4 1 *



第三双生児<上巻>(新潮文庫)

ケン・フォレット 著

新潮社

日本経済新聞 2017/10/21

1997:9./ 395p

978-4-10-235812-2

本体 ¥590+税



* 9 7 8 4 1 0 2 3 5 8 1 2 2 *



第三双生児<下巻>(新潮文庫)

ケン・フォレット 著

新潮社

日本経済新聞 2017/10/21

1997:9./ 416p

978-4-10-235813-9

本体 ¥629+税



* 9 7 8 4 1 0 2 3 5 8 1 3 9 *



唄めぐり

石田 千 著

新潮社

なぜ民謡は人を元気にするのだろう……北海道から沖縄まで全国の唄い手たちを訪ね歩き、根底に流れる情念をすくった滋味豊かな紀行。

日本経済新聞 2017/10/21

2015:4./ 401p

978-4-10-303453-7

本体 ¥2,300+税



* 9 7 8 4 1 0 3 0 3 4 5 3 7 *



スタートアップ～アイデアから利益を生み出す組織マネジメント～

ダイアナ・キャンダー、牧野 洋 著

新潮社

起業を果たしたオーエンだが、事業はあえなく失敗。彼がおかした致命的なミスとは？ 従来型の起業手法ではなぜうまくいかないのか？ 最低限のコストで効率的に起業するためのマネジメント手法を、ストーリー形式で解説する。

日本経済新聞 2017/10/21

2017:8./ 350p

978-4-10-507041-0

本体 ¥1,700+税



* 9 7 8 4 1 0 5 0 7 0 4 1 0 *



坂の上の雲<8> 新装版(文春文庫)

司馬 遼太郎 著

文芸春秋

日本経済新聞 2017/10/21

1999:2./ 397p

978-4-16-710583-9

本体 ¥700+税



* 9 7 8 4 1 6 7 1 0 5 8 3 9 *



キャパへの追走(文春文庫 さ2-20)

沢木 耕太郎 著

文芸春秋

戦場写真家ロバート・キャパが切り取った現代史の重要場面の現場を訪れ、そこでの経験をキャパの人生と絡めながら綴る。キャパの写真と、同じようなアングルで撮った写真も掲載。「キャパの十字架」の姉妹編。

2017:10./ 383p

978-4-16-790947-5

本体 ¥800+税



* 9 7 8 4 1 6 7 9 0 9 4 7 5 *

日本経済新聞 2017/10/21



遺族外来～大切な人を失っても～

大西 秀樹 著

河出書房新社

最愛の人と死別した悲しみ、苦しみを抱えて「遺族外来」を訪れた患者さんがやがて新しい世界に適応していく姿を描いた医師の記録。

2017:6./ 238p

978-4-309-24810-3

本体 ¥1,600+税



* 9 7 8 4 3 0 9 2 4 8 1 0 3 *

日本経済新聞 2017/10/21



小説の言葉尻をとらえてみた(光文社新書 910)

飯間 浩明 著

光文社

小説の筋を追うだけでなく、その中の日本語に注目すると、ことばの思いがけない面白さに気づく。「三省堂国語辞典」編集委員のガイドで、物語の中で語られることばの魅力に迫る、異色の小説探検。『小説宝石』連載を加筆修正。

2017:10./ 256p

978-4-334-04316-2

本体 ¥780+税



* 9 7 8 4 3 3 4 0 4 3 1 6 2 *

日本経済新聞 2017/10/21



経営の哲学～いま何をなすべきか～(ドラッカー名言集)

P. F. ドラッカー、上田 惇生 著

ダイヤモンド社

激変する経営環境のなかで、経営者とマネジャーが身につけるべき不変の原則は何か。事業の定義、戦略計画、コア・コンピタンス、マーケティング、人のマネジメント、目標管理、社会的責任など、マネジメントの要諦を精選する。

2003:7./ 221p

978-4-478-33102-6

本体 ¥1,400+税



* 9 7 8 4 4 7 8 3 3 1 0 2 6 *

日本経済新聞 2017/10/21



宮沢賢治コレクション<6> 春と修羅

宮沢 賢治 著

筑摩書房

生前唯一刊行された『心象スケッチ 春と修羅』七十篇に補遺篇九篇、さらに、その後の作品に発展していく要素を多く内包した短唱「冬のスケッチ」併せて収録。

2017:8./ 374p

978-4-480-70626-3

本体 ¥2,500+税



* 9 7 8 4 4 8 0 7 0 6 2 6 3 *

日本経済新聞 2017/10/21



宮沢賢治コレクション<7> 春と修羅 第2集

宮沢 賢治 著

筑摩書房

序文の草稿まで書き上げながら、未刊であった幻の詩集『春と修羅 第二集』百十四篇に補遺篇十二篇を収録、また口語詩稿の中から関連する五篇も併せて収録。

2017:9./ 350p

978-4-480-70627-0

本体 ¥2,500+税



日本経済新聞 2017/10/21



働き方改革の経済学～少子高齢化社会の人事管理～

八代 尚宏 著

日本評論社

広範な人事管理の裁量性を持っている人事部が変われば、日本の働き方を変えることができる。日本の経済成長に及ぼす労働市場の役割から、解雇の金銭解決ルール、同一労働同一賃金改革、企業の人事制度改革までを考察する。

./ 16p,168p

978-4-535-55887-8

本体 ¥1,700+税



日本経済新聞 2017/10/21



ロンドン大火～歴史都市の再建～

大橋 竜太 著

原書房

史上最大規模の大災害、大都市ロンドンを焼きつくした 1666 年の大火、そしてゼロからの都市再建までを、同時代の日本も参照しつつ、建築史の視点から詳細に分かりやすく紹介。図版も多数収録。参考文献、索引付き。

./ 284p,26p

978-4-562-05423-7

本体 ¥2,800+税



日本経済新聞 2017/10/21



トップスケーターのすごさがわかるフィギュアスケート(ポプラ新書 132)

中野 友加里 著

ポプラ社

五輪や世界選手権でメダルの期待がかかるフィギュアスケート。トップスケーターとして活躍した著者が、点数のつけ方、平昌五輪代表選考の舞台裏や有力選手の素顔など、フィギュアスケート観戦が面白くなる知識を紹介する。

./ 254p

978-4-591-15583-7

本体 ¥800+税



日本経済新聞 2017/10/21



チーズはどこへ消えた?

スペンサー・ジョンソン 著

扶桑社

「迷路」の中に住み、「チーズ」を探す二人と二匹の物語。時代や状況の急激な変化にいかに対応すべきかといった、人生の様々な局面を象徴している。世界のトップ企業が研修テキストに採用している寓話。(ソフトカバー)

./ 94p

978-4-594-03019-3

本体 ¥838+税



日本経済新聞 2017/10/21



日本キリスト教史～年表で読む～

鈴木 範久 著

教文館

キリスト教が日本にもたらしたものは何か。国家の宗教政策との関係と、文化史的・社会的な影響とを両軸に据え、総合的に明らかにする。後ろから読む、詳細なキリスト教史年表(1490?2017 年)も収録。

./ 377p,125p

978-4-7642-7419-8

本体 ¥4,600+税



日本経済新聞 2017/10/21



宇宙ビジネス入門～NewSpace 革命の全貌～

石田 真康 著

日経BP社

小型衛星コンステレーション、宇宙旅行、資源探査など、世界の起業家が壮大なビジョンを掲げ、宇宙を目指している。世界と日本の宇宙ビジネスの全貌を、第一人者が体系的に解説する。『ITmedia』連載に加筆し書籍化。

日本経済新聞 2017/10/21

./ 246p

978-4-8222-5504-6

本体 ¥1,800+税



箸もてば

石田 千 著

新講社

ひとくちめのビールが喉もとすぎる。会えなくなったひとにも会える。食べることは日々の命の賛歌。食べ物を巡る、四季折々の恵みの出会いと喜びを、滋味深い文章で綴る。『清流』『OriOri』連載他を書籍化。

日本経済新聞 2017/10/21

./ 205p

978-4-86081-555-4

本体 ¥1,700+税



イスラームの歴史～1400 年の軌跡～(中公新書 2453)

カレン・アームストロング 著

中央公論新社

世界的宗教学者がイスラーム 1400 年の歴史を概観。誕生から近代化、世俗化との葛藤までを、宗教運動や思想的背景とともに解説し、西洋がつくり、文明の敵とみなしてきた歪んだイスラーム像の修正を迫る。

日本経済新聞 2017/10/21、朝日新聞 2017/10/22、読売新聞 2017/10/22

2017:9./ 9p,318p

978-4-12-102453-4

本体 ¥900+税



ゴッホの耳～天才画家最大の謎～

バーナデット・マーフィー、山田 美明 著

早川書房

1888 年、南フランスのアール。画家のフィンセント・ファン・ゴッホは自らの片耳を切り落とした。彼はなぜこんな事件を引き起こしたのか？ 新発見資料を通して、ゴッホの知られざる一面をあぶり出す。

日本経済新聞 2017/10/21、東京・中日新聞 2017/10/29

2017:9./ 406p

978-4-15-209713-2

本体 ¥2,200+税



私たちの星で

梨木 香歩、師岡 カリーマ・エルサムニー 著

岩波書店

世界への絶えざる関心をペンにして、綴られ、交わされた 20 通の書簡。端正な作品で知られる作家と多文化を生きる類い稀なる文筆家。2 人の邂逅から生まれた、人間の原点に迫る対話。『図書』連載を加筆修正。

日本経済新聞 2017/10/28

2017:9./ 6p,168p

978-4-00-061217-3

本体 ¥1,400+税



珈琲の世界史(講談社現代新書 2445)

旦部 幸博 著

講談社

コーヒーブームを生んだのはナポレオン!? モカ港はなぜ衰退した? 日本最大のブームはいつ? 先史時代から現代に至るまで、コーヒーが辿った歴史を、起源に関する最新仮説等も交えながらわかりやすく紹介する。

日本経済新聞 2017/10/28

2017:10./ 254p

978-4-06-288445-7

本体 ¥800+税





ボージャングルを待ちながら

オリヴィエ・ブルドー、金子 ゆき子 著

集英社

現実を笑い飛ばす、3 人家族の破天荒な日常。でも、その暮らしは永遠には続かなかった。息子である「ぼく」の視点から描く、ある夫婦のおかしくて、悲しくて、せつない愛の物語。

日本経済新聞 2017/10/28

2017:9./ 197p

978-4-08-773490-4

本体 ¥1,700+税



青い花〜瀬戸内寂聴少女小説集〜

瀬戸内 寂聴 著

小学館

先生はまだ、あのことをおぼえていらして下さいますでしょうか。瀬戸内寂聴がデビュー前に書いた幻の作品や、書き下ろしなど、全 8 作を収録した少女小説集。三島由紀夫との思い出を綴ったエッセイも掲載。

日本経済新聞 2017/10/28

2017:9./ 253p

978-4-09-388554-6

本体 ¥1,400+税



重力波発見!〜新しい天文学の扉を開く黄金のカギ〜(新潮選書)

高橋 真理子 著

新潮社

重力波がどんなものかが分かれば、宇宙の成り立ちが理解できてくる! 熟達科学記者が、重力波発見にいたる物語から時空間の本質までを分かりやすく説く。

日本経済新聞 2017/10/28

2017:9./ 271p

978-4-10-603816-7

本体 ¥1,300+税



新しい分り方

佐藤 雅彦 著

中央公論新社

メディアの枠を超え、常に新しいコミュニケーションデザインを提案してきた佐藤雅彦が、想像のはるか上を行く「分かる」「伝える」を作品とともに伝える。解説としての意味もある珠玉の随筆付き。

日本経済新聞 2017/10/28

2017:9./ 265p

978-4-12-005008-4

本体 ¥1,900+税



ケインズとその時代を読む〜危機の時代の経済学ブックガイド〜

加藤 晋 編

東京大学出版会

市場経済の危機の時代であったケインズの生きた時代を中心に、経済理論の古典を紹介・解説したブックガイド。

日本経済新聞 2017/10/28

2017:7./ 4p,263p

978-4-13-043038-8

本体 ¥3,000+税



舞台の上のジャポニスム〜演じられた幻想の<日本女性>〜(NHK ブックス 1247)

馬淵 明子 著

NHK出版

世紀末バリ、オペラ座で演じられた NIPPON とはなんだったのか? ジャポニスムと日本文化の関係性を、19 世紀末バリで上演された舞台を素材に問い直し、ジャポニスムの実像を解き明かす。

日本経済新聞 2017/10/28

2017:9./ 279p

978-4-14-091247-8

本体 ¥1,600+税





夜来たる(ハヤカワ文庫)

アイザク・アシモフ、美濃透 著

早川書房

日本経済新聞 2017/10/28

1986:11./ 324p

978-4-15-010692-8

本体 ¥544+税



誰も書かなかった武豊 決断(徳間文庫 し 40-1)

島田 明宏 著

徳間書店

武豊は、なぜプレッシャーに負けないのか? 王座から陥落して何を考えたか? 20年来の“心友”作家が、天才の苦悩、逆境、確執を初めて明かす。どん底から這い上がった天才の「こころの葛藤」全記録。文庫版特別章を追加。

2017:10./ 317p

978-4-19-894259-5

本体 ¥670+税



日本経済新聞 2017/10/28



企業の理論

ソースタイン・バンディ・ヴェブレ、小原敬士 著

勁草書房

日本経済新聞 2017/10/28

2002:11./ 322, p

978-4-326-50011-6

本体 ¥4,000+税



ヤナマール～セネガルの民衆が立ち上がるとき～

ヴュー・サヴァネ、バイ・マケベ・サル、真島 一郎、中尾 沙季子 著

勁草書房

セネガルのヒップホップグループ「クルギ」が率いた社会運動体「ヤナマール(もううんざりだ)」の概要を収録。ジャーナリストによる運動の記録の他、クルギのインタビュー、監訳者の解説付き。

2017:8./ 34p,167p

978-4-326-65401-7

本体 ¥2,500+税



日本経済新聞 2017/10/28



素晴らしき洞窟探検の世界(ちくま新書 1282)

吉田 勝次 著

筑摩書房

狭い、暗い、死ぬほど危ない! それでも未踏の世界を見たくて洞窟に潜る探検家・吉田勝次が、世界中の洞窟と洞窟探検の魅力を語りつくす。美しい写真口絵、ラスコーなどの洞窟壁画をめぐる五十嵐ジャンヌとの対談も収録。

2017:10./ 253p

978-4-480-06997-9

本体 ¥920+税



日本経済新聞 2017/10/28



ケインズ全集<第2巻> 平和の経済的帰結

ジョン・メーナード・ケインズ、中山伊知郎 著

東洋経済新報社

日本経済新聞 2017/10/28

./ 242p

978-4-492-81142-9

本体 ¥5,049+税





ケインズ全集<第 21 巻> 世界恐慌と英米における諸政策

ドナルド・モグリッジ 編

ケインズ 著

東洋経済新報社

イギリスの王立経済学会がケインズの功績をたたえてまとめた全集。第 21 巻には、「貨幣論」「一般理論」が発刊された 1930 年代のケインズの多彩な諸活動を記録した論文・書簡等を収録。

./ 17p,717p,39p

978-4-492-81329-4

本体 ¥15,000+税



日本経済新聞 2017/10/28



健康格差～不平等な世界への挑戦～

マイケル・マーモット、栗林 寛幸、野田 浩夫 著

日本評論社

健康は所得ではなく教育や環境などの社会的要因 (SDH) で決まる。そのエビデンスと処方箋を第一人者がユーモアたっぷりに紹介。

./ 8p,365p,48p

978-4-535-55880-9

本体 ¥2,900+税



日本経済新聞 2017/10/28



21 世紀の資本

トマ・ピケティ 著

みすず書房

民間財産に基づく市場経済は、放置するなら、強力な収斂の力を持っている。だが一方で、格差拡大の強力な力もそこにはある。18 世紀以来の富と所得の分配動学をめぐる歴史的知識の現状を明らかにし、今後の教訓を示す。

./ 15p,608p,98p

978-4-622-07876-0

本体 ¥5,500+税



日本経済新聞 2017/10/28



雇用・利子および貨幣の一般理論(まんがで読破 MD134)

ケインズ、Team バンミカス、トーエ・シンメ 著

イースト・プレス

日本経済新聞 2017/10/28

./ 382p

978-4-7816-1338-3

本体 ¥900+税



中国「絶望」家族～「一人っ子政策」は中国をどう変えたか～

メイ・フォン、小谷 まさ代 著

草思社

急激な高齢化、歪んだ男女関係、人身売買と 1300 万人の無戸籍者、家族も蓄えも失った老人の群れ…。世界に類を見ない過激な政策、中国の一人っ子政策を深く掘り下げ、その隠された真相を暴いた渾身のレポート。

./ 367p

978-4-7942-2297-8

本体 ¥2,400+税



日本経済新聞 2017/10/28



うたかたの日々

岡崎 京子、ボリス・ヴィアン 著

宝島社

日本経済新聞 2017/10/28

./ 204p

978-4-7966-3275-1

本体 ¥1,600+税





東アジアの社会大変動～人口センサスが語る世界～

末廣 昭、大泉 啓一郎 著

名古屋大学出版会

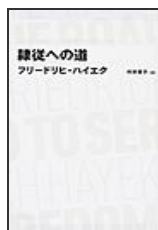
少子化と高齢化の同時進行、メガリージョンの形成、労働者の越境など、アジアは大変動の真ただ中にある。各国データの徹底分析により急速な変貌を浮き彫りにすると共に、人口センサスでは捉えきれない問題にも光を当てる。

日本経済新聞 2017/10/28

:/ 5p,343p

978-4-8158-0884-6

本体 ¥5,400+税



隷従への道(NIKKEI BP CLASSICS)

フリードリヒ・ハイエク、村井 章子 著

日経BP社

20 世紀を代表する経済学者ハイエクの社会主義批判。ナチスと闘った英国人に、「法の支配」に基づく自由民主主義がいかに大切か、社会主義を含む集産主義がなぜ全体主義に行き着くのかを説いた自由主義のバイブル。

日本経済新聞 2017/10/28

:/ 532p

978-4-8222-5173-4

本体 ¥2,800+税



気まぐれ消費者～最高の体験と利便性を探求するデジタル時代の成長戦略～

テオ・コレイア、関 一則、月沢 李歌子 著

日経BP社

気まぐれでつかみどころがない「液状消費者」。そんな新時代の消費者が市場を圧倒し、今後の消費動向のカギを握る。「液状消費者」の行動特性・心理特性を深く捉え、企業経営やブランディングに及ぼす影響と対応を提言する。

日本経済新聞 2017/10/28

:/ 293p

978-4-8222-5530-5

本体 ¥1,800+税



対中外交の蹉跌～上海と日本人外交官～

片山 和之 著

日本僑報社

戦前期上海、当時の日本人外交官はなぜ軍部の横暴を防げなかったのか。上海で活躍した代表的な外交官の足跡を辿り、彼らが果たした役割と限界、挫折など現代の日中関係に通じる教訓と視座を提示する。

日本経済新聞 2017/10/28

:/ 332p

978-4-86185-241-1

本体 ¥3,600+税



経済学の本質と意義(近代社会思想コレクション 15)

ライオネル・ロビンズ 著

京都大学学術出版会

経済学は国民の幸福、物質的な富に関わるという古典的定義を脱し、初めて対象ではなく目的・手段に関わる人間行動という機能の視点から経済学の本質を提示する。現代経済学を創った名著の新訳。

日本経済新聞 2017/10/28

:/ 8p,218p

978-4-87698-885-3

本体 ¥2,400+税



洋子さんの本棚(集英社文庫 お 67-4)

小川 洋子、平松 洋子 著

集英社

少女時代の思い出から抱腹絶倒の人生の極意まで。同郷で同世代で名前も同じ。作家・小川洋子とエッセイスト・平松洋子が、本と人生を名著と共に読みほどこき、語り尽くす、滋味あふれる対話集。

日本経済新聞 2017/10/28、朝日新聞 2017/10/29

2017/10/ 269p

978-4-08-745650-9

本体 ¥580+税





トラクターの世界史～人類の歴史を変えた「鉄の馬」たち～(中公新書 2451)

藤原 辰史 著

中央公論新社

19 世紀末にアメリカで発明されたトラクターは、20 世紀以降、人類に何をもたらしたか。アメリカ、ナチス・ドイツ、ソ連、中国、日本など、国家・民度・文化が絡んだ発展の軌跡を描く。

2017:9./ 7p,270p

978-4-12-102451-0

本体 ¥860+税



日本経済新聞 2017/10/28、東京・中日新聞 2017/10/29



視覚の生命力～イメージの復権～

柏木 博 著

岩波書店

われわれは、何を、どう見ているのか。文学からグラフィック・デザイン、現代美術、マンガまでを対象に、視覚の持つ力=視覚の生命力を浮かび上がらせる。カメラ・記憶・夢を手掛かりに腑分けした「視覚の解剖図」。

2017:8./ 7p,298p

978-4-00-061215-9

本体 ¥2,800+税



毎日新聞 2017/10/01



AX

伊坂 幸太郎 著

KADOKAWA

「兜」は一流の殺し屋だが、家では妻に頭が上がらない恐妻家。引退を考えながらも爆弾職人を軽々と始末した兜は、意外な人物から襲撃を受け…。全 5 篇を収めた連作集。『小説野性時代』ほか掲載に書き下ろしを加えて単行本化。

2017:7./ 307p

978-4-04-105946-3

本体 ¥1,500+税



毎日新聞 2017/10/01



日本文化の形成(講談社学術文庫)

宮本 常一 著

講談社

毎日新聞 2017/10/01

2005:7./ 250p

978-4-06-159717-4

本体 ¥930+税



星界の報告(講談社学術文庫 2410)

ガリレオ・ガリレイ 著

講談社

わずか数カ月で当時最高の性能をもつ望遠鏡の製作に成功したガリレオ・ガリレイ。彼がレンズの先に目にした宇宙の姿とは? 月の表面から天の川、木星の衛星まで、人類初の詳細な天体観測の貴重な記録を新訳。

2017:5./ 120p

978-4-06-292410-8

本体 ¥600+税



毎日新聞 2017/10/01



ガダルカナル戦記<1>(講談社文庫 か 129-5)

亀井 宏 著

講談社

第二回講談社ノンフィクション賞受賞作

毎日新聞 2017/10/01

2015:6./ 663p

978-4-06-293096-3

本体 ¥1,050+税





ガダルカナル戦記<2>(講談社文庫 か 129-6)

亀井 宏 著
講談社
第二回講談社ノンフィクション賞受賞作

毎日新聞 2017/10/01

2015:6./ 635p
978-4-06-293097-0
本体 ¥1,050+税



* 9 7 8 4 0 6 2 9 3 0 9 7 0 *



ガダルカナル戦記<3>(講談社文庫 か 129-7)

亀井 宏 著
講談社
第二回講談社ノンフィクション賞受賞作

毎日新聞 2017/10/01

2015:7./ 622p
978-4-06-293098-7
本体 ¥1,050+税



* 9 7 8 4 0 6 2 9 3 0 9 8 7 *



ガダルカナル戦記<4>(講談社文庫 か 129-8)

亀井 宏 著
講談社
第二回講談社ノンフィクション賞受賞作

毎日新聞 2017/10/01

2015:7./ 601p
978-4-06-293099-4
本体 ¥1,050+税



* 9 7 8 4 0 6 2 9 3 0 9 9 4 *



領土

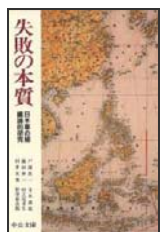
諏訪 哲史 著
新潮社
またひとつ秋の深い裾野が、その金色の領土を広げ始めた。記憶の底の懐かしい風景に未知の光が降り注ぐ…。小説の可能性を拓き続ける著者の変幻自在な小説集。『新潮』掲載を単行本化。

毎日新聞 2017/10/01

2011:11./ 333p
978-4-10-331381-6
本体 ¥2,300+税



* 9 7 8 4 1 0 3 3 1 3 8 1 6 *



失敗の本質～日本軍の組織論的研究～(中公文庫)

戸部 良一 著
中央公論新社
大東亜戦争での諸作戦の失敗を、組織としての日本軍の失敗ととらえ直し、これを現代の組織一般にとつての教訓とした戦史の初めての社会科学的分析。

毎日新聞 2017/10/01

2000:4./ 413p
978-4-12-201833-4
本体 ¥762+税



* 9 7 8 4 1 2 2 0 1 8 3 3 4 *



ストラディヴァリとガールネリ～ヴァイオリン千年の夢～(文春新書 1132)

中野 雄 著
文藝春秋
1714 年製ストラディヴァリ<ドルフィン>、1740 年製ガールネリ<イザイ>。頂点に位置するヴァイオリンを軸に、なぜ、これほどまでに高価なのか、なぜ、これほどまでに美しい音色なのか、その謎と神秘に迫る。

毎日新聞 2017/10/01

2017:7./ 254p
978-4-16-661132-4
本体 ¥920+税



* 9 7 8 4 1 6 6 6 1 1 3 2 4 *



デカメロン<上>(河出文庫 ホ 6-1)

ボッカッチョ、平川 祐弘 著
河出書房新社
ペストが蔓延する 14 世紀フィレンツェ。郊外に逃れた男女 10 人が 10 日の間語りあう 100 の物語。不滅の大古典の全訳版、第 1 弾。

毎日新聞 2017/10/01

2017:3./ 555p
978-4-309-46437-4
本体 ¥1,000+税



* 9 7 8 4 3 0 9 4 6 4 3 7 4 *



デカメロン<中>(河出文庫 ホ 6-2)

ボッカッチョ、平川 祐弘 著

河出書房新社

ペストの恐怖から逃れた男女 10 人が語りあうお話は、今日も続く。生と性の 100 の物語。物語文学の最高傑作の全訳決定版、第 2 弾。

毎日新聞 2017/10/01

2017:4./ 557p

978-4-309-46439-8

本体 ¥1,000+税



デカメロン<下>(河出文庫 ホ 6-3)

ボッカッチョ、平川 祐弘 著

河出書房新社

「百の物語には生命力がみなぎり、読者の五感を楽しませ、一つとして退屈な話はない」(解説より)。大古典の全訳決定版、完結編。

毎日新聞 2017/10/01

2017:5./ 533p

978-4-309-46444-2

本体 ¥1,000+税



火星に住むつもりかい?

伊坂 幸太郎 著

光文社

住民が相互に監視し、密告する。危険人物とされた人間は、ギロチンにかけられる。身に覚えがなくとも。こんな暴挙が許されるのか? 全身黒ずくめで、謎の武器を操る「正義の味方」が、「平和警察」の前に立ちはだかる!

毎日新聞 2017/10/01

2015:2./ 400p

978-4-334-92989-3

本体 ¥1,600+税



せつない動物図鑑

ブルック・バーカー、服部 京子 著

ダイヤモンド社

トカゲは自分のしっぽを食べる、シマウマはひとりで寝られない、カバは好きな子におしっこをかける、アリが寝るのは 1 日に 16 分間だけ…。動物たちの「せつない真実」をイラストとともに紹介する。

毎日新聞 2017/10/01

2017:7./ 183p

978-4-478-10213-8

本体 ¥1,000+税



フランス現代史隠された記憶～戦争のタブーを追跡する～(ちくま新書 1278)

宮川 裕章 著

筑摩書房

1 億発の不発弾と大量の兵士の遺体で住めない村、レジスタンスの虚構、ユダヤ人への迫害…。第一次世界大戦から現在まで、華やかに語られることが多いフランスが歴史に苦悩する姿を、多くの証言から紐解く。

毎日新聞 2017/10/01

2017:9./ 270p

978-4-480-06980-1

本体 ¥860+税



禁書～グーテンベルクから百科全書まで～

マリオ・インフェリーゼ、湯上 良 著

法政大学出版局

近代ヨーロッパ世界の形成過程で、異端思想を取り締まる禁書目録のシステムはどのように作られ、機能し、消滅したのか。書物発禁や検閲の内情、人々の抵抗の実態をたどり、出版の自由が実現されるまでの歴史を解き明かす。

毎日新聞 2017/10/01

:/ 10p,183p,10p

978-4-588-35233-1

本体 ¥2,500+税





香月泰男 凍土の断層～「シベリア・シリーズ」を読み解く～

安井 雄一郎 著

東京美術

応召、敗戦、シベリア抑留、帰国…。洋画家・香月泰男が従軍と抑留の体験を描いた「シベリア・シリーズ」全 57 点を、体験の時系列に沿って紹介。1 点ごとにメインの作品図版および解説文、香月の自筆解説文などを掲載する。

./ 255p

978-4-8087-1089-7

本体 ¥3,200+税



毎日新聞 2017/10/01



ことばだけでは伝わらない～コミュニケーションの文化人類学～

西江 雅之 著

幻戯書房

世界各地の言語に親しんだ文化人類学者によるコミュニケーション入門。「伝え合い」という考え方で言語と非言語の働きを捉え、見た目や伝え方だけではない、コミュニケーションの 7 つの要素を論じる。『考える人』連載に加筆。

./ 221p

978-4-86488-128-9

本体 ¥2,200+税



毎日新聞 2017/10/01



完本春の城

石牟礼 道子 著

藤原書店

天草生まれの著者が、十数年かけた徹底した取材調査ののち完成させた、天草・島原の乱を描いた最高傑作「春の城」。取材紀行文「草の道」、多彩な執筆陣による解説、地図、年表、登場人物紹介、系図、関係図等を附した完全版。

./ 899p

978-4-86578-128-1

本体 ¥4,600+税



毎日新聞 2017/10/01



岩塩の女王

諏訪 哲史 著

新潮社

その女は裸体のまま突き出た岩のうえに横たわると身体から石綿に似た白糸をひき、それで自分を覆いはじめ…。表題作をはじめ、緻密で典雅な言葉が紡ぐ 6 篇の異空間。独自の文学世界を構築する記念碑的小説集。

2017:8./ 205p

978-4-10-331382-3

本体 ¥2,100+税



毎日新聞 2017/10/01、朝日新聞 2017/10/08



ホワイトラビット～a night～

伊坂 幸太郎 著

新潮社

その夜、街は静かだった。高台の家で、人質立てこもり事件が起こるまでは-。仙台で発生した人質立てこもり事件。SIT に所属、宮城県警を代表する優秀な警察官も現場に急行し、交渉を始めるが…。予測不能の籠城ミステリー。

2017:9./ 269p

978-4-10-459607-2

本体 ¥1,400+税



毎日新聞 2017/10/01、読売新聞 2017/10/15



本気になって何が悪い～新鉄客商売～

唐池 恒二 著

PHP研究所

世界一の列車「ななつ星」を生み出し、JR 九州を株式上場にまで導いたカリスマ経営者・唐池恒二。鉄道経営の常識を破った経営手腕の極意に迫る。デザイナー・水戸岡鋭治との対談も収録。

./ 367p

978-4-569-83858-8

本体 ¥1,700+税



毎日新聞 2017/10/01、日本経済新聞 2017/10/14



ホワイトハウスのピアニスト～ヴァン・クライバーンと冷戦～

ナイジェル・クリフ、松村 哲哉 著

白水社

第一回チャイコフスキー国際コンクールで優勝し、彼を記念したコンクールに名を残すピアニストの、数奇な生涯を初めて明らかにする。

毎日新聞 2017/10/01、日本経済新聞 2017/10/14、産経新聞 2017/10/15、東京・中日新聞 2017/10/22

./ 487p, 67p 図版 16p

978-4-560-09567-6

本体 ¥4,800+税



阪堺電車 177 号の追憶(ハヤカワ文庫 JA 1296)

山本 巧次 著

早川書房

阪堺電車の現役最古のモ 161 形 177 号は、大阪の街を 85 年間見つめつづけてきた。昭和 8 年から平成 29 年まで、阪堺電車で働く人々、沿線住人が遭遇した事件を鮮やかに描く連作短編集。

毎日新聞 2017/10/07

2017:9./ 292p

978-4-15-031296-1

本体 ¥640+税



署長・田中健一の幸運

川崎 草志 著

光文社

警察庁本部で窓際を決め込もうとしていた田中健一が、京都で署長になることに。趣味の戦艦プラモを作りたいのに、事件解決の手がかりが勝手に降ってきて…。「署長・田中健一の憂鬱」の続編。『小説宝石』掲載を単行本化。

毎日新聞 2017/10/07

2017:9./ 293p

978-4-334-91185-0

本体 ¥1,900+税



ブルーノート・レコード～史上最強のジャズ・レーベルの物語～(朝日文庫)

リチャード・クック 著

朝日新聞社

毎日新聞 2017/10/08

2002:12./ 402p

978-4-02-261394-3

本体 ¥800+税



闘う文豪とナチス・ドイツ～トーマス・マンの亡命日記～(中公新書 2448)

池内 紀 著

中央公論新社

ナチス台頭から終焉、終戦後までの激動の時代を、どう見つめ、記録したか。ナチスに国外追放され、アメリカを拠点にヒトラー打倒を訴え続けたドイツ人作家トーマス・マン。遺された日記から浮かび上がる闘いの軌跡を追う。

毎日新聞 2017/10/08

2017:8./ 5p, 226p

978-4-12-102448-0

本体 ¥820+税



河出世界文学全集<第 18 巻> ブッデンブローク家の人々

河出書房新社

毎日新聞 2017/10/08

1989:10./ 448p

978-4-309-61068-9

本体 ¥3,847+税





世界最高額の切手「ブルー・モーリシャス」を探せ!〜コレクターが追い求める「幻の切手」の数奇な運命〜

ヘレン・モーガン 著

光文社

世界中の切手コレクターたちが追い求める世界一有名な切手「ブルー・モーリシャス」。1枚1億円という高値がついた切手に集まる人々の思惑と駆け引き。世界最高の切手がたどった歴史を、詳細なデータをもとに追う。

毎日新聞 2017/10/08

2007:12./ 334p
978-4-334-96201-2

本体 ¥1,800+税



* 9 7 8 4 3 3 4 9 6 2 0 1 2 *



小林一三は宝塚少女歌劇にどのような夢を託したのか

伊井 春樹 著

ミネルヴァ書房

阪急電鉄の経営にたずさわった小林一三は、箕面動物園などさまざまな娯楽で鉄道事業を成功に導こうとした。宝塚少女歌劇にいたるまでの沿線開発の歩みを当時の世相と共にたどり、明治・大正の文化史の一場面を活写する。

毎日新聞 2017/10/08

:/ 14p, 268p, 13p

978-4-623-07998-8

本体 ¥2,800+税



* 9 7 8 4 6 2 3 0 7 9 9 8 8 *



ベトナム戦争に抗した人々(世界史リブレット 125)

油井 大三郎 著

山川出版社

米国史上初めての「敗戦」となったベトナム戦争。米国内の反戦運動は「冷戦の論理」を乗り越え、徐々に幅広い統一を実現し一定の役割を果たした。この反戦運動の紆余曲折の過程を概観する。

毎日新聞 2017/10/08

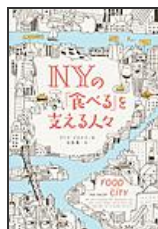
:/ 115p

978-4-634-34963-6

本体 ¥729+税



* 9 7 8 4 6 3 4 3 4 9 6 3 6 *



NYの「食べる」を支える人々

アイナ・イエロフ、石原 薫 著

フィルムアート社

料理長、ラインコック、レストランオーナー、卸商、パン職人、寿司職人、露天商、施設の食事担当者…。比類なき街・ニューヨークの食の世界を支える人々が、自分の言葉で自分語りをするオーラルヒストリー。

毎日新聞 2017/10/08

:/ 445p

978-4-8459-1621-4

本体 ¥2,300+税



* 9 7 8 4 8 4 5 9 1 6 2 1 4 *



成功する子失敗する子〜何が「その後の人生」を決めるのか〜

ポール・タフ、高山 真由美 著

英治出版

誰が成功し、誰が失敗するのか? よく育つ子供と道を踏みはずす子供がいるのはなぜか? 子供を失敗から遠ざけ成功に向かわせるために何ができるのか? 最新科学から導き出した、ひとつの考え方を提示する。

毎日新聞 2017/10/08

:/ 293p

978-4-86276-166-8

本体 ¥1,800+税



* 9 7 8 4 8 6 2 7 6 1 6 6 8 *



私たちは子どもに何ができるのか〜非認知能力を育み、格差に挑む〜

ポール・タフ、高山 真由美 著

英治出版

子どもの貧困は、一生の財産になる非認知能力を獲得する機会を奪い取ってしまう。ではどうしたら良いのか? やり抜く力、好奇心、自制心など、人生の成功を左右する力の育み方を、最新の科学的根拠と先進事例から解き明かす。

毎日新聞 2017/10/08

:/ 171p

978-4-86276-246-7

本体 ¥1,600+税



* 9 7 8 4 8 6 2 7 6 2 4 6 7 *



世界鉄道切手夢紀行(切手ビジュアルトラベル・シリーズ)

櫻井 寛 著

日本郵趣出版

ドーバー海峡を渡るユーロスター、豪華列車オリエント急行、豪州の大陸横断列車ザ・ガン…。92 カ国の鉄道に乗った鉄道写真家が、各国の切手に描かれた列車の魅力を写真とともに語る。世界の食堂車と駅弁ベスト 20 も掲載。

./ 126p

978-4-88963-810-3

本体 ¥1,700+税



毎日新聞 2017/10/08



遅れ時計の詩人～編集工房ノア著者追悼記～

涸沢 純平 著

編集工房ノア

表現者たちとの熱い交わり模様、亡き文人たちを語る惜別のことば…。関西で唯一の文芸専門出版社「編集工房ノア」の主が綴る出版物語。ノアの略年史も収録する。

./ 287p

978-4-89271-281-4

本体 ¥2,000+税



毎日新聞 2017/10/08



国境鉄路～<紀行写真集>-「満鉄」の遺産 7本の橋を訪ねて～

小竹 直人 著

えにし書房

中国の SL を撮り続ける著者が、中国と北朝鮮間にかかる 7 本の橋(橋脚のみも含む)と北朝鮮とロシア間の鉄道橋を訪ねた紀行写真集。鉄道地図にもない幻の橋を含む約 70 点の写真を収録する。鉄路地図も掲載。

./ 143p

978-4-908073-43-4

本体 ¥3,700+税



毎日新聞 2017/10/08



アメリカン・ウォー<上>(新潮文庫 エ-8-1)

オマル・エル=アッカド 著

新潮社

2075 年、環境破壊のために沿岸地域が水没しつつあるアメリカ。南部三州が独立を宣言、合衆国は内戦に陥った。家族の大黒柱をテロで失った南部の貧しい一家の娘サラットは、難民キャンプへ避難するが…。

2017:9./ 312p

978-4-10-220131-2

本体 ¥630+税



毎日新聞 2017/10/08、朝日新聞 2017/10/22



アメリカン・ウォー<下>(新潮文庫 エ-8-2)

オマル・エル=アッカド 著

新潮社

北部民兵による難民キャンプでの大虐殺で母親を失った傷心の一家は、故郷へと帰還するが、サラットの心だけは内戦の前線地帯でわだかまっていた。しかし、ある日突然、彼女はテロ容疑で戦犯収容所に拘留されてしまう。

2017:9./ 319p

978-4-10-220132-9

本体 ¥630+税



毎日新聞 2017/10/08、朝日新聞 2017/10/22



荷車と立ちん坊～近代都市東京の物流と労働～

武田 尚子 著

吉川弘文館

明治のはじめ、荷車の技術的変革は東京の経済発展に大きく貢献した。人力輸送の補助力として不可欠な「立ちん坊」とはどのような人たちだったのか。運輸や労働の視点から明治社会を掘り起こし、物流問題の実態に迫る。

./ 10p,210p

978-4-642-08324-9

本体 ¥2,400+税



毎日新聞 2017/10/08、東京・中日新聞 2017/10/15



魅了されたニューロン〜脳と音楽をめぐる対話〜

ピエール・ブーレーズ、ジャン＝ピエール・シャンジュー、フィリップ・マヌリ、笠羽映子 著
法政大学出版局
作曲家・指揮者が音楽を創造するとき、彼らの脳内ではどのような生物学的プロセスが生じているのか？ 現代音楽界の巨匠ブーレーズとフランスを代表する神経生物学者シャンジュー、作曲家マヌリによる刺激的な対話を収録。

./ 345p,5p
978-4-588-41032-1
本体 ¥3,600+税
* 9 7 8 4 5 8 8 4 1 0 3 2 1 *

毎日新聞 2017/10/08、日本経済新聞 2017/10/14



文明としての徳川日本〜一六〇三〜一八五三年〜(筑摩選書 0149)

芳賀 徹 著
筑摩書房
日本列島という一地域に限定されて、ゆっくりと営まれ熟成しやがて崩れていった、みごとに完結した独特の文明体-それが徳川日本というものにほかならない。その文化的達成を多様性と深さに即して一望する。

2017:9./ 391p,6p
978-4-480-01646-1
本体 ¥1,800+税
* 9 7 8 4 4 8 0 0 1 6 4 6 1 *

毎日新聞 2017/10/08、日本経済新聞 2017/10/21



眠れる海〜歌集〜(現代歌人シリーズ 17)

野口 あや子 著
書肆侃侃房
きみのコートのファーがもうすぐ触れなくなってやたらとのどが渴いて 雨脚は交差しながらベランダに名前の書かれた如雨露もぬれて 2012 年から 2017 年までに詠んだ作品を収めた歌集。

./ 161p
978-4-86385-276-1
本体 ¥2,200+税
* 9 7 8 4 8 6 3 8 5 2 7 6 1 *

毎日新聞 2017/10/09



時刻表 2 万キロ(角川文庫)

宮脇 俊三 著
角川書店
毎日新聞 2017/10/15

1984:11./ 297p
978-4-04-159801-6
本体 ¥620+税
* 9 7 8 4 0 4 1 5 9 8 0 1 6 *



遊びと人間(講談社学術文庫)

ロジェ・カイヨワ 著
講談社
毎日新聞 2017/10/15

1990:4./ 389p
978-4-06-158920-9
本体 ¥1,230+税
* 9 7 8 4 0 6 1 5 8 9 2 0 9 *



ジャズ・アンバサダーズ〜「アメリカ」の音楽外交史〜(講談社選書メチエ 649)

齋藤 嘉臣 著
講談社
冷戦下、国務省はアメリカの優位性を発信すべく、最高のミュージシャンを「ジャズ大使」として世界各地に派遣した。熱い自由のリズムはやがて抵抗と連帯のパワーへと転じてゆく…。20 世紀後半の国際政治を音楽から探る。

2017:5./ 365p
978-4-06-258652-8
本体 ¥2,000+税
* 9 7 8 4 0 6 2 5 8 6 5 2 8 *

毎日新聞 2017/10/15



最長片道切符の旅 改版(新潮文庫)

宮脇 俊三 著

新潮社

毎日新聞 2017/10/15

2008:9./ 434p

978-4-10-126802-6

本体 ¥630+税



マレー蘭印紀行 改版(中公文庫)

金子 光晴 著

中央公論新社

毎日新聞 2017/10/15

2004:11./ 184p

978-4-12-204448-7

本体 ¥648+税



仮面の解釈学

坂部 恵 著

東京大学出版会

語源説、精神分析そして現象学の手法を駆使して、新たな言語思想をめざした名著に解題を付し、改めて読み直す。

2009:10./ 242p

978-4-13-013091-2

本体 ¥2,800+税



毎日新聞 2017/10/15



寒い国から帰ってきたスパイ(ハヤカワ文庫 NV 174)

ジョン・ル・カレ 著

早川書房

ベルリンの壁を境に展開される英独諜報部の熾烈な暗闘を息づまる筆致で描破! 英国推理作家協会賞、アメリカ探偵作家クラブ賞両賞を獲得したスパイ小説の金字塔!

1978:5./ 382p

978-4-15-040174-0

本体 ¥900+税



毎日新聞 2017/10/15



グレアム・グリーン全集<24> 名誉領事

グレアム・グリーン 著

早川書房

毎日新聞 2017/10/15

1980:3./ 287p

978-4-15-200324-9

本体 ¥2,136+税



がんになる前に乳房を切除する～遺伝性乳がん治療の最前線～

小倉 孝保 著

文藝春秋

1992年、世界に先駆けて健康な自らの乳房にメスを入れた英国の女性、ウェンディ。がんの遺伝など非常識だった時代に、世間の偏見と闘った彼女の姿を紹介する。欧米より遅れている日本での遺伝性乳がん治療の現状も報告。

2017:9./ 261p

978-4-16-390727-7

本体 ¥1,600+税



毎日新聞 2017/10/15



美術ってなに? ~ “なぜ?”から広がるアートの世界 ~

スージー・ホッジ、小林 美幸、クレア・ゴープル 著

河出書房新社

「目も鼻もない棒みたいな人の絵がなんでアートなの?」「美術作品ってどうしてものがすごく値段が高いの?」「なぜ?」という疑問を通して美術作品を解き明かしていく入門書。

2017:9./ 95p

978-4-309-27831-5

本体 ¥1,900+税



毎日新聞 2017/10/15



終着駅(河出文庫 み 4-5)

宮脇 俊三 著

河出書房新社

『時刻表2万キロ』と『最長片道切符の旅』の間に執筆されていた幻の連載「終着駅」を含む、宮脇俊三最後の随筆集。解説：高山文彦。

毎日新聞 2017/10/15

2012:1./ 232p

978-4-309-41122-4

本体 ¥680+税



モードの迷宮(ちくま学芸文庫)

鷺田清一 著

筑摩書房

毎日新聞 2017/10/15

1996:1./ 230p

978-4-480-08244-2

本体 ¥900+税



古都の占領～生活史からみる京都 1945-1952～

西川 祐子 著

平凡社

講和条約発効迄の七年間は休戦であり終戦後ではない。かすかな記憶をつなぎ合わせ、国全体が忘却したがる歴史を明かす意欲作。

毎日新聞 2017/10/15

:/ 507p

978-4-582-45451-2

本体 ¥3,800+税



経済成長なき幸福国家論～下り坂ニッポンの生き方～

平田 オリザ、藻谷 浩介 著

毎日新聞出版

低成長の「下り坂」の時代も、見方を変えれば「成熟した国家の高原状態」。潜在力をうまく活用すれば、活力のある社会は実現可能である。成長はしないけど貧乏にはならない方策について、平田オリザ、藻谷浩介が語り尽くす。

毎日新聞 2017/10/15

:/ 187p

978-4-620-32449-4

本体 ¥1,000+税



金子光晴の唄が聞こえる

松本 亮 著

めこん

流浪の詩人金子光晴の最良の評伝。最も親しかった著者の遺作でもある。

毎日新聞 2017/10/15

:/ 229p

978-4-8396-0303-8

本体 ¥2,500+税



「旅ことば」の旅

中西 進 著

ウェッジ

巡礼、遊子、ひだる神、高原列車、秘境駅、旅だより…。旅に関連する 88 のことばについて綴る。日本人にとっての「たび」の意味が見えてくる一冊。『ひととき』連載に書き下ろしを加えて単行本化。

毎日新聞 2017/10/15

:/ 197p

978-4-86310-187-6

本体 ¥2,778+税





男らしさの歴史<1> 男らしさの創出

G.ヴィガレロ 編

藤原書店

西ヨーロッパを中心に、「男らしさ」とその変容を描いた歴史書。1 は、「男らしさ」がいかんにして創出されたのか、古代ギリシアから 18 世紀の啓蒙時代までを扱う。カラー口絵も豊富に収録。

./ 788p 図版 48p

978-4-86578-097-0

本体 ¥8,800+税



毎日新聞 2017/10/15



男性支配(Bourdieu Library)

ブルデュー、坂本 さやか、坂本 浩也 著

藤原書店

20 世紀後半のフランスを代表する社会学者ブルデューが、ジェンダーの問題を本格的に扱った唯一の著作。なぜ男性を女性の優位におく社会秩序が根強く残るのか、独自の概念を用いて分析する。

./ 234p

978-4-86578-108-3

本体 ¥2,800+税



毎日新聞 2017/10/15



男らしさの歴史<2> 男らしさの勝利

A.コルバン 編

藤原書店

西ヨーロッパを中心に、「男らしさ」とその変容を描いた歴史書。2 は、「男らしさ」の美德が最大限に影響力をふるった、民主化と産業化と近代性の時代である 19 世紀を扱う。カラー口絵も豊富に収録。

./ 658p

978-4-86578-120-5

本体 ¥8,800+税



毎日新聞 2017/10/15



男らしさの歴史<3> 男らしさの危機?

J.-J.クルティエヌ 編

藤原書店

西ヨーロッパを中心に、「男らしさ」とその変容を描いた歴史書。3 は、「男らしさ」が粉碎され、分析され、脱神話化された 20 世紀から 21 世紀までを扱う。カラー口絵も豊富に収録。完結。

./ 748p 図版 16p

978-4-86578-131-1

本体 ¥8,800+税



毎日新聞 2017/10/15



港の人

北村 太郎 著

港の人

暑い朝 たくさんの観念が 鼠いろになって目の前を通りすぎていく それらは とも淋しい響きを残すわけでもないのに(「港の人」より) 表題作のほか、「少年の夢」「ある男の肖像」など単行本未収録詩も収めた詩集。

./ 135p

978-4-89629-331-9

本体 ¥2,200+税



毎日新聞 2017/10/15



台湾人の歌舞伎町～新宿、もうひとつの戦後史～

稲葉 佳子、青池 憲司 著

紀伊國屋書店出版部

日本の統治下にあった台湾から日本へやってきて、戦後、外国人として裸一貫で放り出された彼らは、ヤミ市で財をなし、焼け野原に構想された興行街・歌舞伎町を目指した。台湾人に焦点を当て、歌舞伎町の戦後史を綴る。

2017/9./ 249p

978-4-314-01151-8

本体 ¥1,800+税



毎日新聞 2017/10/15、日本経済新聞 2017/10/21



片白草～句集～

大西 朋 著
ふらんす堂

風邪はやりはじめの町のぬるき風 みづうみの向かうより雨蓮の花 ブリュウゲルの
卵走りし厄日かな 片白草魚に声のなかりけり 枯芒バイクぶるんと止まりけり 第 1
句集。

./ 173p

978-4-7814-0995-5

本体 ¥2,500+税



毎日新聞 2017/10/16



ガリア戦記(カエサル戦記集)

カエサル、高橋 宏幸 著
岩波書店

ガイウス・ユリウス・カエサルによるガリア遠征を描いた歴史書の新訳。最新の
成果に基づいた地図・索引などの資料も収録する。「カエサル戦記集」の第 1 弾。

2015:2./ 10p,352p,29p

978-4-00-061016-2

本体 ¥3,000+税



毎日新聞 2017/10/22



日本を捨てた男たち～フィリピンに生きる「困窮邦人」～(集英社文庫 み 49-1)

水谷 竹秀 著
集英社

フィリピンで、困窮生活を送る何百人もの日本人男性がいる。所持金ゼロ、住む家
もない彼ら「困窮邦人」に手を差し伸べるのは、フィリピンの貧しい人々だった…。
男たちのすさまじい生き様を通して現代日本の問題をあぶり出す。

2013:11./ 303p

978-4-08-745138-2

本体 ¥600+税



毎日新聞 2017/10/22



だから、居場所が欲しかった。～バンコク、コールセンターで働く日本人～

水谷 竹秀 著
集英社

遠く離れたバンコクの高層ビルで、一斉に電話を受ける日本人たちがいる。非正
規労働者、借金苦、風俗にハマる女、LGBT の男女。生きづらい日本を離れ、行
き着いた先は…。『kotoba』連載を加筆・修正。

2017:9./ 283p

978-4-08-781633-4

本体 ¥1,600+税



毎日新聞 2017/10/22



僕らが愛した手塚治虫<1>(小学館文庫 に 1-1)

二階堂 黎人 著
小学館

漫画の神様・手塚治虫の足跡を追ううちに、長じてミステリー作家となった著者が、
溢れ出る手塚への愛と造詣を綴った自伝的探究記。1 は、1970 年代前半までを
扱う。全集未収録の原画やカットも掲載。

2016:11./ 428p

978-4-09-406356-1

本体 ¥1,000+税



毎日新聞 2017/10/22



僕らが愛した手塚治虫<2>(小学館文庫 に 1-2)

二階堂 黎人 著
小学館

漫画の神様・手塚治虫の足跡を追ううちに、長じてミステリー作家となった著者が、
溢れ出る手塚への愛と造詣を綴った自伝的探究記。2 は、1971 年前後を主体に
扱う。全集未収録の原画やカットも掲載。

2016:12./ 428p

978-4-09-406382-0

本体 ¥1,000+税



毎日新聞 2017/10/22



あなたの脳のはなし～神経科学者が解き明かす意識の謎～

デイヴィッド・イーグルマン、大田 直子 著

早川書房

誰もが関心を持ちながら、脳ほど誤解されているものもない。脳神経科学の世界的権威である著者が、自ら監修・出演したテレビ番組の豊富な図版・写真を駆使して、心と意識をめぐる驚きの事実を講義形式でわかりやすく説く。

2017:9./ 282p

978-4-15-209706-4

本体 ¥1,800+税



毎日新聞 2017/10/22



ブラックボックス

伊藤 詩織 著

文藝春秋

信頼していた人物からの、思いもよらない行為。しかし、その事実を証明するには、あらゆるところに“ブラックボックス”があった…。レイプ被害に遭ったジャーナリストが、自ら被害者を取り巻く現状に迫るノンフィクション。

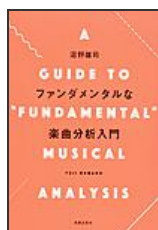
2017:10./ 255p

978-4-16-390782-6

本体 ¥1,400+税



毎日新聞 2017/10/22



ファンダメンタルな楽曲分析入門

沼野 雄司 著

音楽之友社

クラシック音楽を対象とした楽曲分析の入門書。とりわけ「音楽形式」に関する分析について、差異よりも共通点を足がかりにファンダメンタル(原理的)な次元で考える。楽曲の細部にこだわる一方で、幅広い分析視点を提供する。

2017:9./ 171p

978-4-276-13204-7

本体 ¥2,000+税



毎日新聞 2017/10/22



ニューロラカン～脳とフロイト的無意識のリアル～

久保田 泰考 著

誠信書房

真にフロイトへの回帰を志向するなら、その神経学的基盤にも回帰せざるを得ない。精神分析と神経科学の交錯から明らかになるフロイト的無意識のリアルとは？これまで暗黙のタブーだった脳を語るラカニアン登場。

2017:9./ 4p,232p

978-4-414-41630-5

本体 ¥3,000+税



毎日新聞 2017/10/22



ドイツ修道院のハーブ料理～中世の聖女、ヒルデガルトの薬草学をひもとく～

野田 浩資 著

誠文堂新光社

12 世紀ドイツの修道女で、医学、薬草学に基づいた数々の健康料理を指南したヒルデガルト・フォン・ビンゲン。そのハーブレシピを、日本の家庭でも作りやすいように再現。現代の健康医学につながるエピソードも満載。

2016:1./ 143p

978-4-416-71527-7

本体 ¥1,800+税



毎日新聞 2017/10/22



洋食物語大全(ちくま文庫 こ 51-1)

小菅 桂子 著

筑摩書房

ライスカレー、牛肉・豚肉、西洋野菜、アイスクリーム、牛乳…。素材・料理法からテーブルマナー、はては食堂車まで、日本人は如何にして西洋食を取り入れ、日本独自の食文化「洋食」として育て上げたのかを解説する。

2017:8./ 424p

978-4-480-43465-4

本体 ¥950+税



毎日新聞 2017/10/22



早稲田文学増刊女性号

川上 未映子 著

筑摩書房

「女性」というものと「書く」という表現はどのような関係にあるのか。「女性について書く」「それらを読む」という行為にどのような抑圧と解放と変化があったのか。過去から現在までのさまざまな女性たちの作品を収録する。

2017:9./ 552p

978-4-480-99312-0

本体 ¥2,200+税



毎日新聞 2017/10/22



写本の文化誌～ヨーロッパ中世の文学とメディア～

クラウドピア・プリンカー・フォン・デア・ハイデ、一條 麻美子 著

白水社

本が一点物だった時代、本の書写、テキストの制作、パトロンによる発注は、どのような意味をもっていたのか。印刷以前の書籍文化誌。

:/ 258p,37p

978-4-560-09559-1

本体 ¥3,300+税



毎日新聞 2017/10/22



中東世界データ地図～歴史・宗教・民族・戦争～

ダン・スミス、龍 和子 著

原書房

中東はいかにして現在の立ち位置にいたったか。オスマン帝国の時代に始まり、ヨーロッパの帝国拡大、アラブ世界のナショナリズム、アルカイーダ、アラブの春、ISIS まで、170 点以上の地図、グラフ、年表により解説する。

:/ 177p

978-4-562-05430-5

本体 ¥5,800+税



毎日新聞 2017/10/22



暮らしのなかのニセ科学(平凡社新書 847)

左巻 健男 著

平凡社

水素水、マイナスイオン、デトックス…。その健康法、本当に科学的？ 健康で長生きしたいという願望につけ入るニセ科学を一刀両断。

:/ 271p

978-4-582-85847-1

本体 ¥800+税



毎日新聞 2017/10/22



ビールを<読む>～ドイツの文化史と都市史のはざままで～

森 貴史、藤代 幸一 著

法政大学出版局

500 年近くを経た現在も 1516 年の「ビール純粋条例」が生きている国・ドイツの地ビールを手がかりに、大都市から知られざる小さな町までを取り上げ、その文化と歴史を読み解き味わう。

:/ 267p

978-4-588-27620-0

本体 ¥3,000+税



毎日新聞 2017/10/22



<食>から読み解くドイツ近代史(MINERVA 歴史・文化ライブラリー 25)

南 直人 著

ミネルヴァ書房

<食>を多角的に捉え、新たな近代ドイツ史を描き出す 1 冊。

:/ 5p,262p,34p

978-4-623-07279-8

本体 ¥3,500+税



毎日新聞 2017/10/22



改訂を重ねる『ゴドーを待ちながら』～演出家としてのベケット～

堀 真理子 著

藤原書店

1953 年に初演され、現代演劇に決定的な影響を与えた「ゴドーを待ちながら」。ベケットの遺した「ゴドー」の演出ノートをもとに、作品に秘められた未曾有の仕掛けを解き明かし、今日的な視点から考察する。

./ 280p

978-4-86578-138-0

本体 ¥3,800+税



毎日新聞 2017/10/22



子規はずっとここにいる～根岸子規庵春秋～

さいとう なおこ 著

北冬舎

正岡子規の旧居を維持・保存する「子規庵保存会」理事の著者による、正岡子規をめぐる短文を収録。歌誌『相聞』連載「根岸子規庵」を一冊にまとめる。子規と親交が深かった人物の親族との座談会も収録。

./ 160p

978-4-903792-64-4

本体 ¥1,200+税



毎日新聞 2017/10/22



小説の森散策(岩波文庫 32-718-1)

ウンベルト・エーコ、和田 忠彦 著

岩波書店

作家であり、記号論学者でもあるウンベルト・エーコが、読者は小説をいかに読むべきか、作者は読者にどう読んでほしいと願っているかを、記号論の概念を駆使して解説する刺激的な文学入門。

2013:2./ 305p,33p

978-4-00-327181-0

本体 ¥840+税



毎日新聞 2017/10/29



パウダリーノ<上>(岩波文庫 32-718-2)

ウンベルト・エーコ、堤 康德 著

岩波書店

神聖ローマ皇帝の養子となった農民の子パウダリーノが語り出す数奇な生涯とは…。言語の才に恵まれ、語る?がことごとく真実になってしまう男が繰り広げる、破天荒な冒険ロマン。

2017:4./ 447p

978-4-00-327182-7

本体 ¥920+税



毎日新聞 2017/10/29



パウダリーノ<下>(岩波文庫 32-718-3)

ウンベルト・エーコ、堤 康德 著

岩波書店

皇帝ひきいる軍勢とともに、パウダリーノと仲間たちはいよいよ東方への旅に乗り出すが、待ち受けていたのは思いもかけない運命だった…。史実と伝説とファンタジーを絶妙に織り交ぜた、破天荒な冒険ロマン。

2017:4./ 450p

978-4-00-327183-4

本体 ¥920+税



毎日新聞 2017/10/29



一外交官の見た明治維新<上>(岩波文庫)

アーネスト・メーソン・サトウ、坂田精一 著

岩波書店

毎日新聞 2017/10/29

1960:9./ 290p

978-4-00-334251-0

本体 ¥840+税





一外交官の見た明治維新<下>(岩波文庫)

アーネスト・メーソン・サトウ、坂田精一 著

岩波書店

毎日新聞 2017/10/29

1960:10./ 294p

978-4-00-334252-7

本体 ¥840+税



ルボ沖縄国家の暴力～現場記者が見た「高江 165 日」の真実～

阿部 岳 著

朝日新聞出版

「米軍ヘリパッド」建設に抗議する沖縄市民に、強権発動してまでも抑えつける政府。記者の目に映ったのは、この国の危機の縮図であり、あすの本土の姿だった。現場に通い続けた記者が、沖縄の山奥で起きた 165 日間に迫る。

2017:8./ 207p

978-4-02-251481-3

本体 ¥1,400+税



毎日新聞 2017/10/29



ドキュメント秘匿捜査～警視庁公安部スパイハンターの344日～

竹内 明 著

講談社

命懸けで敵を追いつめる警視庁公安部外事第一課第四係ウラ作業班とは？ ロシア情報機関員にハメられ、搦めとられた自衛隊エリート。追尾から逮捕まで1年間追い続けた「捜査の全貌」を明らかにするノンフィクション。

2009:1./ 309p

978-4-06-215189-4

本体 ¥1,700+税



毎日新聞 2017/10/29



スリーパー浸透工作員(警視庁公安部外事二課 [3])

竹内 明 著

講談社

スリーパーとして日本に潜伏する北のエリート工作員・倉本龍哉と、警察組織に裏切られた外事二課の元エース・筒見慶太郎。激闘の果てに、2 人が辿り着いた驚愕の真実とは。報道記者でもある著者による、リアル諜報ミステリ。

2017:9./ 319p

978-4-06-220818-5

本体 ¥1,600+税



毎日新聞 2017/10/29



ある明治人の記録～会津人柴五郎の遺書～(中公新書)

石光 真人 著

中央公論新社

毎日新聞 2017/10/29

1999:9./ 162p

978-4-12-100252-5

本体 ¥660+税



渡辺京ニコレクション<1史論> 維新の夢(ちくま学芸文庫 W 11-2)

小川 哲生 編

渡辺 京二 著

筑摩書房

毎日新聞 2017/10/29

2011:6./ 503p

978-4-480-09379-0

本体 ¥1,500+税



ザ・フィフティーズ～1950 年代アメリカの光と影～<1>(ちくま文庫 は 46-1)

デイヴィッド・ハルバースタム、峯村 利哉 著

筑摩書房

50年代アメリカでの出来事と価値転換が現代世界を作った。政治、産業から文化、性までを光と影の両面で論じる。巻末対談は越智道雄×町山智浩。

2015:8./ 513p

978-4-480-43285-8

本体 ¥1,200+税



毎日新聞 2017/10/29



ザ・フィフティーズ～1950 年代アメリカの光と影～<2>(ちくま文庫 は 46-2)
デイヴィッド・ハルバースタム 著
筑摩書房
FBIやCIAの暗躍。エルヴィスとディーンが登場。そして公民権をめぐる黒人の戦いなどが描かれる第二巻。巻末対談は越智道雄×町山智浩。

2015:9./ 397p
978-4-480-43286-5
本体 ¥1,100+税
* 9 7 8 4 4 8 0 4 3 2 8 6 5 *

毎日新聞 2017/10/29



ザ・フィフティーズ～1950 年代アメリカの光と影～<3>(ちくま文庫 は 46-3)
デイヴィッド・ハルバースタム 著
筑摩書房
マリリン・モンローからスプートニク、U-2撃墜事件まで。時代は動き、いよいよ60年代の革命が近づいてくる。解説対談は越智道雄×町山智浩

2015:10./ 354p
978-4-480-43287-2
本体 ¥1,100+税
* 9 7 8 4 4 8 0 4 3 2 8 7 2 *

毎日新聞 2017/10/29



ウンベルト・エーコの小説講座～若き作家の告白～
ウンベルト・エーコ、和田 忠彦、小久保 真理江 著
筑摩書房
中世美学研究者にして現代思想家がある日ベストセラー小説家に！ どのような方法で名作は生み出されたのか。『薔薇の名前』作者が創作の全・手のうちを見せる。

2017:7./ 254p
978-4-480-83650-2
本体 ¥2,300+税
* 9 7 8 4 4 8 0 8 3 6 5 0 2 *

毎日新聞 2017/10/29



薔薇の名前<上>
ウンベルト・エーコ 著
東京創元社
毎日新聞 2017/10/29

1990:1./ 413p
978-4-488-01351-6
本体 ¥2,300+税
* 9 7 8 4 4 8 8 0 1 3 5 1 6 *



薔薇の名前<下>
ウンベルト・エーコ 著
東京創元社
毎日新聞 2017/10/29

1990:1./ 426p
978-4-488-01352-3
本体 ¥2,300+税
* 9 7 8 4 4 8 8 0 1 3 5 2 3 *



北京雑城／北京雑城日記(東洋文庫)
柴五郎、大山梓 著
平凡社
毎日新聞 2017/10/29

./ 263p
978-4-582-80053-1
本体 ¥2,300+税
* 9 7 8 4 5 8 2 8 0 0 5 3 1 *



男が痴漢になる理由
斉藤 章佳 著
イースト・プレス
社会では性欲を持て余した男性や、非モテ男性といった誤った“痴漢像”が定着している。性犯罪・依存症の専門家が、“普通の男性”が、不特定多数に痴漢行為を働くことに依存する「痴漢の実態」を解明し、その撲滅を目指す。

./ 279p
978-4-7816-1571-4
本体 ¥1,400+税
* 9 7 8 4 7 8 1 6 1 5 7 1 4 *

毎日新聞 2017/10/29



日本国憲法の理念を語り継ぐ詩歌集

鈴木 比佐雄 編

コールサック社

歌人・俳人・詩人といった短詩系文学者たちは、どのようにして日本国憲法の精神性について表現してきたか。石川啄木、金子兜太、宮沢賢治など 223 名の短歌、俳句、詩を収録する。

./ 319p

978-4-86435-291-8

本体 ¥1,800+税



* 9 7 8 4 8 6 4 3 5 2 9 1 8 *

毎日新聞 2017/10/29